

2 0 0 2

授業概要

【シラバス】

教養科

白梅学園短期大学

SHERAUME GAKUEN COLLEGE

目次(教養科)

現代保育教養教育科目(1年).....	1
ヒューマニズム論.....	3
総合科目・人間.....	4~6
総合科目・生命.....	7
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争).....	8
現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望).....	9
現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命).....	10
人物研究Ⅰ(和泉式部).....	11
人物研究Ⅱ(柳田国男).....	12
人物研究Ⅲ(有島武郎).....	13
心理学入門Ⅰ(心のしくみ).....	14
心理学入門Ⅱ(性格と人間関係).....	15
体の不思議.....	16
生物の世界と人間.....	17
人間と環境.....	18
生と死を考える.....	19
人間の生と性.....	20
生活と健康.....	21
教養体育(実技).....	22~25
教養体育(講義).....	26
外国語Ⅰ、Ⅱ.....	27・28
海外語学研修.....	29
選択外国語 英会話(基礎).....	30
選択外国語 ビジネス英語.....	31
選択外国語 時事英語.....	32
選択外国語 異文化コミュニケーション.....	33
言語とコミュニケーション.....	34
手話入門.....	35
文学芸術・フィクションと人間.....	36
造形美術とイメージーション.....	37
話し言葉の伝承.....	38
絵本・絵巻と物語表現.....	39
源氏物語の世界.....	40
近現代の日本文学.....	41
庶民の生活文化.....	42
現代の文化と風俗.....	43
現代英米の文学.....	44
世界の児童文学.....	45
比較文化論・近代文明と日本人.....	46
国境を越える民俗学.....	47
現代社会と人権.....	48
憲法と私たち(日本国憲法).....	49
日本とアジアの近現代史.....	50
現代社会と教育.....	51
社会福祉の考え方.....	52
男と女・ジェンダーを考える.....	53
現代世界とマイノリティー.....	54
女性労働の問題.....	55
地域生活と家族.....	56

現代保育教養専門科目(1年)	57
基礎ゼミナール	59
日本語の表現	60・61
情報科学(情報処理入門)	62
保育内容・指導法演習	63
現場で学ぶ幼児教育	64
現代教養専門科目(1年)	65
ゼミナールⅠ	67~69
現場で見る文芸	70
歴史・民俗遺跡を歩く	71
博物館の現場(博物館実習)	72
日本語の表現	73・74
ヒューマニズム論	75
総合科目・人間	76~78
総合科目・生命	79
現代とヒューマニズムⅠ(近代国家と戦争)	80
現代とヒューマニズムⅡ(消費社会と欲望)	81
現代とヒューマニズムⅢ(科学技術と生命)	82
人物研究Ⅰ(和泉式部)	83
人物研究Ⅱ(柳田国男)	84
人物研究Ⅲ(有島武郎)	85
情報科学(情報処理入門)	86
コンピュータ基礎演習	87
言語とコミュニケーション	88
外国語Ⅰ、Ⅱ	89~92
海外語学研修	93
選択外国語 英会話(基礎)	94
選択外国語 ビジネス英語	95
選択外国語 時事英語	96
選択外国語 異文化コミュニケーション	97
造形美術とイメージーション	98
手話入門	99
文学芸術・フィクションと人間	100
話し言葉の伝承	101
絵本・絵巻と物語表現	102
源氏物語の世界	103
比較文化論・近代文明と日本人	104
近現代の日本文学	105
現代英米の文学	106
世界の児童文学	107
考古学の世界	108
国境を越える民俗学	109
日本とアジアの近現代史	110
近代女性史	111
社会福祉の考え方	112
家族福祉論	113
地域生活と家族	114
男と女・ジェンダーを考える	115
女性労働の問題	116
現代社会と人権	117
憲法と私たち(日本国憲法)	118

現代世界とマイノリティー	119
現代の企業	120
時事・社会特講	121~123
家庭介護総論	124
家庭介護演習	125
家庭介護実習	126
発達心理学Ⅰ	127
教育学概論	128
庶民の生活文化	129
現代の文化と風俗	130
現代社会と教育	131
博物館を学ぶ	132
心理学入門Ⅰ(心のしくみ)	133
心理学入門Ⅱ(性格と人間関係)	134
体の不思議	135
生物の世界と人間	136
人間と環境	137
生活と健康	138
生と死を考える	139
人間の生と性	140
労働・健康特講	141
教養体育(実技)	142~144
教養体育(講義)	145
教養教育科目(2年)	147
海外語学研修	149
総合英語Ⅱ-1、2	150・151
選択語学Ⅱ-1、2 英語	152・153
選択語学Ⅱ-1、2 独語	154
選択語学Ⅱ-1、2 仏語	155
専門教育科目(2年)	157
教養演習Ⅱ	159~165
卒業研究	166
英会話Ⅱ	167
ビジネス英語(時事英語含む)	168
英語圏の歴史と文化	169
インターネットの英語	170
英米の文学	171
異文化コミュニケーション	172
スポーツ	173
詩歌の鑑賞	174
説話文学	175
平安文学	176
中近世の文学	177
近現代の文学	178
比較文学	179
民俗学	180
中近世の歴史	181
近現代の歴史	182
アジアの歴史	183
日本女性史	184
現代女性論	185

女性労働論	186
現代企業論	187
資格科目 情報科目(2年)	189
情報処理論	191
情報ネットワーク論	192
資格科目 ビジネス実務士科目(2年)	193
ビジネス実務総論	195
ビジネス実務演習	196
オフィス・マネジメント	197
資格科目 博物館科目(2年)	199
博物館実習	201
視聴覚教育メディア論	202
資格科目 司書科目(2年)	203
図書館サービス論	205
情報サービス概説	206
レファレンスサービス演習	207
専門資料論	208
資料特論	209
コミュニケーション論	210
特別選択科目(2年)	211
家庭介護総論	213
家庭介護演習	214
家庭介護実習	215

現代保育教養教育科目（1年）

【授業科目】 ヒューマニズム論	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">「ヒューマニズムは間違っている！」と言う人は多くはないが、 では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。</p> <p>「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は、「世間的通念」に流されているだけなのではないか。「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に我々の「支え」になりうるのか。つまり、「現代に於けるヒューマニズム」は、可能なのか。</p> <p>「ヒューマニズムの精神」は、白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されねばならない。</p> <p>本講では、上記のような問題意識のもと、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点として、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか、何に抗って「人間を大切にする」のか</u>、というアクティブな問題に迫っていきたいと思っている。大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」こと ② 「自己」と「世界」 ③ 何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」 2 我々の状況——近代に於ける「人間」の問題 <ol style="list-style-type: none"> ① 「近代ヒューマニズム」思想と、その問題点 ② アイデンティティと共同体 3 現代の状況と人間 <ol style="list-style-type: none"> ① 「国家」と人間 ② 「資本」と人間 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、最初はメモの要点も指示しながら進める。大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。</p>	

【授業科目】総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
【授業目標】 1 東→中島→佐々の順で講義する。 2 中島担当分について テーマ「経験（自己存在）と言語」	
【テキスト】 プリントを使用	
【参考書】 授業時に紹介	
授 業 計 画	
<p>私たち人間は、他の人に自分のことを伝えたくて仕方がない。それは、自分がこの世界にいることを相手に理解して欲しいからであり、また逆に自分が本当にこの世界に存在していることを相手が反応してくれることによって確認できるからである。</p> <p>しかし、この伝達の問題には</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 伝わる/伝わらない 2) メッセージの真/偽 <p>という大きな問題が絡んでいる。</p> <p>例えば、性の違い、世代の違い、言語の違いによって話は伝わらないこともある。さらに意識しておかなければいけないのは、強い性、強い世代、強い言語によって弱者に沈黙を強いることもあるということだ（1回目）。この沈黙は、意識的なものである場合と、強いトラウマなどによる無意識的なものである場合とがある（2回目）。時には、自分の経験の触れたくない部分には触れないように、意識的に嘘をついたり、またこの嘘が無意識に行われると狂気に陥ることすらあるかもしれない（3回目）。人間の発話、メッセージにはこんなにもいろいろなヴァリエーションがある。が、この発話、メッセージこそが人間を理解する鍵である。そして人そのものと言えるだろう。そこで最後に、言葉を磨くことは自己を磨くことであるとまとめたい。言うまでもなく言語表現の達人は作家。そこで、作家はなぜ書くのかを考えて、自分と比較してみよう（4回目）。以上の内容を具体的に進めるため、次に挙げる文学作品を紹介しながら講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1回目 エイミー・タン『ジョイ・ラック・クラブ』 2回目 トニ・モリソン『ピラウド』 3回目 ウイリアム・スタイロン『ソフィーの選択』 4回目 まとめ（サマセット・モーム『月と六ペンス』を題材に） 	
【評価方法】 前期を通して（三人の教員が各々の担当部分の評価を持ち寄り）全体として評価を出す。 中島担当部分→レポート	

【授業科目】総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】佐々 加代子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日々言語を駆使しながら生活をしている一人の人間である自分から始め、生活のなかで生きていく言語を扱う。さまざまな場面での言語活動の実態から検討し、各人が言語を生かしていく方向を探れるようにする。</p>	
【テキスト】用いない。適宜プリントを配布する。	
<p>-----</p> <p>【参考書】筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、コミュニケーション能力弱者のQOL援助、子どもからの贈りもの、発達臨床相談。</p>	
授 業 計 画	
<p>演習をふまえながら構成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ことばの正体を探る <p>日常のなかでのことばの実態。話しことばから書きことば。世代によることば;位相語。 人間の生活におけることばとそれを生み出す人間</p> 2. 見えないことばを読む <p>広げてみてもことばの世界。 ことばの意味を読みとる、その鍵になる内容</p> 3. ことばを育てる <p>乳幼児、障害児・者、失語症、重症心身障害児など筆者の経験・体験から、その筋道を考える</p> 4. ことばを育む <p>それぞれのプログラム</p> 	
<p>【評価方法】平常点を重視する。 授業内で行うミニレポートとレポートによる評価</p>	

【授業科目】総合科目 生命	【担当者】柳下登・近藤正樹・明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。</p> <p>20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登：プリントを使用 近藤正樹：プリントを使用 明渡陽子：プリントを使用</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p> <p>柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社）</p> <p>近藤正樹：生産の生物学（開成出版）</p> <p>明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命とはなにか：明渡陽子 2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登 3. 地球生物と進化：柳下登 4. 地球生物と環境：近藤正樹 5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹 6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子 7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか（それぞれの専門分野から） 柳下登 近藤正樹 明渡陽子 	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登：出席状況と筆記テスト 近藤正樹：出席状況と筆記テスト 明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズム I	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1 年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>戦争と平和の問題を通じてヒューマニズムについて考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということとはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、昨年9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、その解決に向けての方法は適切であったのかを検討してみることは重要なてがかりとなるだろう。現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題は、そういったこととどのような関係があるのかといった点からも検討を深める必要がある。また、戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇同時多発テロは何故起きたか－歴史的経過を探る意味 ◇報復戦争の意味するもの－テロへの対応は「戦争」か ◇現代の戦争、地域紛争とその原因－民族、宗教、「文明の対立」を検討する ◇国民国家形成とナショナリズム－フランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合 ◇近代の平和思想の歴史－『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜 ◇不戦への挑戦、その可能性は－日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える ◇構造的暴力の問題－貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造 ◇平和への課題－人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ（消費社会と欲望）	【担当者】大岡 聡
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>「最新のファッションに身を包むと、とても気分がいい!」「人が持っていないバッグをもっているとなんだか鼻が高いなあ」「ちょっと食べ過ぎちゃった、ダイエットしなきゃ」「洋服買い過ぎちゃったので、お昼はマクドの半額バーガーで我慢しよう」・・・これらは「豊かな」日本社会に暮らす私たちの日常の一コマ。でも「何だか変だ」と思うことはないですか?。モノに振り回されていませんか?。「豊かな」私たちの一方で、飢えた人もいるのはなぜ?。「地球にやさしい」暮らし方ってなんだろう・・・この講義を通じて消費社会といわれる現代の私たちの暮らしと社会を、反省的に考察してみましよう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いません。毎回プリントを配ります。</p>	
<p>【参考書】 講義中に紹介しますが、とりあえず、上野千鶴子『私探しゲーム』（筑摩書房）、見田宗介『現代社会の理論』（岩波新書）、エリック・シュローサー『ファーストフードが世界を食い尽くす』（草思社）、島村志津『スローフードな人生』（新潮社）、山本・西沢編『百貨店の文化史』（世界思想社）をお薦めします。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>講義では、まず日本における消費社会の形成過程（消費社会化の歴史）をたどることで、現代の消費社会を相対化する歴史的視点の獲得を目指します。それに続き現代の消費社会の特徴や問題点を考察し、あるべき消費社会とかしこい消費者像を展望します。</p> <p>構成は以下の通り。</p> <p>序 消費社会としての現代</p> <p>第一部 消費社会の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) リサイクル社会としての江戸 (2) 百貨店の誕生①—小売業の革新 (3) 百貨店の誕生②—消費社会の演出者 (4) 近代家族と文化生活—消費の主体 (5) 美と健康—消費と身体 (6) 高度成長と消費社会の確立 <p>第二部 消費社会の現在</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 消費社会と現代経済 (2) 記号としての消費 (3) 消費志向型人間—消費社会の人間像 (4) 消費社会と地球—南北問題と環境問題 (5) ファーストフードか、スローフードか (6) かしこい消費者とは?—まとめにかえて 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・レポートにより評価する。</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)	【担当者】 柳下登・明渡陽子
【開講期】 前期	
【授業目標】 高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。	
【テキスト】 柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用	
【参考書】 柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね E. ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。	
授 業 計 画	
以下のテーマに沿って行う予定。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ 	
【評価方法】 柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト	

【授業科目】 人物研究Ⅰ（和泉式部）	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。 和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪の乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。 時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追ひ、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
【テキスト】 プリントを配布	
<p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館 増田繁夫 著 『冥き途一和泉式部伝一』世界文化社 清水好子 著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社 久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 悪女の評判さまざま すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。 2, 実人生を辿る 少女期の環境 最初の結婚と破綻 冷泉皇子兄弟との恋愛と死別 後宮出仕 再婚 娘との死別 3, 実体験から和歌表現へ 4, 恋歌と死の歌のあわい 恋歌を超える眼差し 5, 実存のテーマと方法・ 和歌の時空 「自己客体視」の方法 連作の方法 6, 歌集と日記 7, 仏教的心性の問題 8, 和泉式部和歌の評価をめぐる問題 <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ「柳田国男」	【担当者】東 喜 望
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】柳田(旧姓・松岡)国男<明治8・1875—昭和37・1962>を対象とする。柳田は貧しい医師の子として、兵庫県神崎郡福崎町に生まれた。大学を卒業してのち、彼は、それまで問題にもされなかった民衆の生活とその文化を研究し日本民俗学の基礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。</p>	
【テキスト】資料プリントを配布する。スライド・ビデオ等映像資料を使用する。	
【参考書】牧田茂『柳田国男』(中公新書)・中村哲『柳田国男の思想』(法政大学出版局)・谷川健一『柳田国男の民俗学』(岩波新書)。	
授 業 計 画	
<h3>講義の概要</h3>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生いたち <ul style="list-style-type: none"> ・「日本—小さい家」-----松岡家の一つの不幸 ・利根川畔・布川・徳満寺絵馬の衝撃 2. 就学と詩人松岡国男 <ul style="list-style-type: none"> ・伊良岬への旅と島崎藤村『椰子の実』 3. 民俗学の夜明け <ul style="list-style-type: none"> ・農政学から民俗学へ——『後狩詞記』と『遠野物語』 4. 官界から言論界へ <ul style="list-style-type: none"> ・旅と学問-----大正デモクラシーと民衆文化の発掘 5. 日本民俗学の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・『海上の道』——壮大なる仮説 6. 柳田の学問と思想は「近代」を超えることができる。 	
【評価方法】定期試験時の筆記試験による。配布プリント・ノート・参考書等参照可。	

●2002年度シラバス変更(2)

【授業科目】 人物研究Ⅲ (有島武郎)	【担当者】 高原二郎
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎(ありしまたけお、1878-1923)という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見詰め、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見詰め「新たな人間らしい文明」を求め続けた有島。ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺(心中) = 挫折(玉砕)」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。	
<p>【参考書】 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』(右文書院) 高原二郎著『人と作品・有島武郎』(清水書院)</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> ① 「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。 ② 「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信 ③ 「家」と「国家」——反抗と訣別 2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> ① 「アメリカ=巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧 ② キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成 ③ 中世ヨーロッパと「自由なコンミュニオン」への憧れ 3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> ① 芸術・思想・革命・自由 ② 農場解放の理想と現実 ③ 恋愛と死 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、(予備知識が全く無くても)分かるはずである。大切なことは「知識」や「結論」ではない。興味を持つこと、考えること。有島を通して、諸君の中に「人間」への問題意識を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験(ノート等、何でも参照可)。講義に基づいて書く形式。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅰ（心のしくみ）	【担当者】 専任教員
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学という学問の歩みや基本的な考え方を学びます。また、これから勉強していく心理学の各分野を概観します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>----- 個々の授業の中で紹介します。 -----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 心理学の歴史と基本的立場-----金子</p> <p>2. 知覚心理学-----金子</p> <p>3. 実験心理学-----多喜乃</p> <p>4. 学習心理学-----荻野</p> <p>5. 発達心理学(青年心理学)-----林</p> <p>6. 人格心理学-----金</p> <p>7. 臨床心理学-----林</p> <p>8. 健康心理学-----金</p> <p>9. 生理心理学-----多喜乃</p> <p>10. 社会心理学-----倉澤</p> <p>11. 心理学の研究法-----荻野</p> <p>12. 心理学と社会-----倉澤</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ（性格と人間関係）	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 性格について、今日の心理学の見方を紹介します。	
【テキスト】 なし	
【参考書】 随時紹介します。	
授 業 計 画	
<p>いろいろなタイプの人がありますね。 同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。 どうしてなのでしょうか。 なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経験を重視する (2) ものの見方を重視する (3) 過去の経験、特に幼児期の経験を重視する 2. 「血液型と性格」は？ 3. 今日の性格についての考え方 4. 人間関係について考える <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
【評価方法】 平常点、指定図書レポート、中間試験、期末レポートで評価します。	

【授業科目】 体の不思議	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1) 人間の身体と生命活動に対する知的探求心を喚起し、身体の特徴的なしくみと働き、外界との繋がりに関する基礎知識について理解させる。</p> <p>2) 自らの体の不思議さと巧みさを知ることによって、「生命活動の主体」として自分自身を認識する基盤を形成させる。</p>	
<p>【テキスト】 使用せず</p>	
<p>【参考書】</p> <p>菊池俊英：人間の生物学、理工学社、1976年。 香原姿勢：人類生物学入門、中公新書、1975年。 佐藤方彦：人間と気候、中公新書、1987年。 藤田紘一郎：共生の意味論、講談社ブルーバックス、1997年。 宮城重二：女性はなぜ長生きか、講談社ブルーバックス、1996年。ほか</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今日、いじめや児童虐待、自殺、薬物使用、買春、売春など、他人や自分自身の生命及び健康、人権に関わる諸問題が社会的問題としてクローズアップされてきている。これら背景には様々な事柄が考えられている。その1つとして「自他の体に対する尊厳の念が希薄で、自他の体や命を大切にするという意識が薄れているのではないか」という指摘もされている。</p> <p>教科目「体の不思議」では、人間の体の仕組みと働きの理解を通して、「ヒトの体の不思議さ」や「人間のからだのすばらしさ」に触れる。そして、人間の、自分自身や他人の生命や健康、人権の大切さについて考える契機とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 温度に対する恒常性 <ol style="list-style-type: none"> 1) ソウはなぜ水浴びをするか 2) ヒトはなぜ汗をかくか 3) ヒトはなぜ鳥肌が立つか 2 気候と人類の適応 <ol style="list-style-type: none"> 1) らくだはなぜ砂漠に強いのか 2) ヒトの体温はなぜ37℃か 3) ヒトはなぜ人種によって体型が違うか 3 外敵から体を守るしくみ <ol style="list-style-type: none"> 1) ヒトはなぜばい菌の中で生きていけるか 2) 寄生虫が減ってアレルギーが増えたのはなぜか 3) 心配事があるとなぜ胃が痛むのか 4 男女の不思議 <ol style="list-style-type: none"> 1) 女性はなぜ長生きか 2) なぜ男と女がいるの 3) ヒトはなぜ異性を求めるか 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（2回のペーパーテスト。学習意欲と出席を重視する。）</p>	

【授業科目】 生物の世界と人間	【担当者】 吉川 研二
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 生物の命を育むのは地球の大気、水、土壌環境であり、その環境は生物の働きによって維持されている。地球上には多様な生物が生活している。この生物多様性の世界は長い時間をかけてつくられてきたものであり、多くの生物が様々な関係を持って共存している。ヒトも他の生物が存在することによって生きていけるのであって、生物のひとつひとつの命はかけがえのないものである。今、人間の活動が地球環境システムに急激な変化をおよぼしている。生物多様性にも危機が迫っている。私たちにできることはなんだろうか。生物の世界を知ることは自分の生き方を考え直すことにつながっている。	
【テキスト】 プリント等による。	
【参考書】 書籍、ビデオなど、授業中に適宜紹介する。	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境と生物 環境とは 生物と環境との相互作用 環境の変遷 ・ 生物多様性 種とは 多様性 種の進化 生物の分布 ・ 植物の世界 動物の世界 生産と消費 食べること 増えること 循環すること ・ 種間関係 植物と植物との関係 植物と動物との関係 動物と動物との関係 捕食 共生 寄生 共進化 ・ 種内関係 オスとメス 親と子 ・ 生物群集 食物網 ニッチ ・ 人間と生物 生態系 熱帯林の破壊 大気汚染 水汚染 土壌汚染 	
【評価方法】 平常点＋筆記試験	

【授業科目】 人間と環境	【担当者】 吉川 研二
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 海洋生物学者の Rachel L. Carson は、その著『Silent spring』の中で合成殺虫剤が生物の世界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか。以来30年以上経ったが人工化学物質による環境汚染は地球規模で深刻さを増している。熱帯雨林など地球上の各所では多くの生物が絶滅の危機に直面している。環境の激変と種の消滅は、生態系の単純化につながりヒトの生存を危うくする。環境問題は地球レベルのものから、私たちひとりひとりの生活レベルのものまで深く考えることが必要である。	
【テキスト】 プリントなど	
【参考書】 授業中に適宜紹介する	
授 業 計 画	
1. 環境とは 2. 生態系の構造と機能 2.1 生態系の構造 ・非生物的要素と生物群集 2.2 物質の循環とエネルギーの流れ 3. 地球環境汚染と生態系 3.1 環境ホルモン 食物連鎖 生物濃縮 3.2 森林の破壊 熱帯雨林 生物多様性 3.3 地球温暖化 温室効果ガス 温暖化の影響 3.4 水の汚染 酸性雨 陸水汚染 海洋汚染 3.5 オゾンホール フロン 紫外線と生物 4. 生活の中の環境問題 4.1 資源量、消費量、廃棄物量 4.2 リサイクル 自然生態系と人工生態系 4.3 二つのエコ 4.4 環境倫理	

【授業科目】 生と死を考える	【担当者】 嶋根 久子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】人は死に直面した時、生きているという実感を一層強くむと言われている。しかしながら、核家族化が進行するにつれて、寿命の飛躍的に伸び、加えて病院で死を迎える昨今、我々も死を体験する機会が非常に減少しているといわれる。従って、この講義では、人の持つ「死体験」という能力をフルに活用し、充実した生を目ざして、様々な角度から死について考えてみたいと思います。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】死の社会学(副田義也編)岩波書店、生と死を考へよ(A.ドゥーケン他)春秋社 死の瞬間(フーリアス)読売新聞社、現代、死にふれて生きた。(R. J. リットン)有信堂、 死とは何か(ウイリアム・ジンズバウグ)春秋社</p>	
授 業 計 画	
<p>1) 死の諸相。 a. 病死, b. 事故死, c. 災害に於ける死, d. 自死 e. 自然死</p> <p>2) 家族と看護, あらゆる死の看取り a. 死の諸相=お家族への影響, b. 子供の死, c. 親の死, d. 高齢者の死, e. 配偶者の死</p> <p>3) 死者の年齢別にみた、残された家族の問題 a. 配偶者の死, b. 子供の死, c. 親の死,</p> <p>4) 死の受容の諸形態 a. 死にゆく人, b. 残された家族</p> <p>以上のテーマについて、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進めます。</p>	
<p>【評価方法】 主にレポート</p>	

【授業科目】	人間の生と性	【担当者】	浅井 春夫
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	性を明るく、おおらかに、そして科学的に語れる基礎的な力をつけてもらいたいと願っている。具体的には、①人間の性に関するミニマム・エッセンスを学ぶことを通して、性的自立と性的共生能力をはぐくんでいくことを大切にする。私たちが自分らしく、そしてお互いを大切に生きる上でどのような性行動を選択するかが問われているからである。②セクシュアル・マイノリティの人権の現実を学ぶ。性に関する偏見をなくしていくことは共生の重要な条件であるからである。③タイムリーな性に関する問題を討論できる場を設けたい。この時代に生きる一人ひとりの生と性を見つめ直す機会としたいからである。人間の生と性の科学的な理解と性をめぐる人間関係を真摯に学んでほしい。		
【テキスト】	浅井春夫『セクシュアル・ライツ入門』（十月舎、2000年、2500円）		
【参考書】	浅井春夫・伊藤悟・村瀬幸浩共編『日本の男はどこから来て、どこへ行くのか』（十月舎、2001年、2500円） 浅井春夫『子ども虐待の福祉学』（小学館、2002年、1800円）		
授 業 計 画			
<p>テキストをもとに以下のような計画をたてているが、タイムリーな問題を取りあげて講義することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本授業での問題意識と授業の運営についての共通確認 ② セクシュアリティに関する基本的な用語の説明 ③ マイノリティ（ゲイ、トランス・ジェンダー、インターセックス e t c）のセクシュアル・ライツ—いまも平然と行われる差別と偏見、それは性と政をめぐる問題 ④ 子どものセクシュアル・ライツの現状—わが国と世界の現実から— ⑤ 子どもの性的発達の特徴と性をはぐくむ課題—とくに男性形成の問題を考える ⑥ 性暴力の力学—ドメスティック・バイオレンスにみる女と男の関係学 ⑦ 恋愛のススメ—恋愛の発展プロセスを考える ⑧ 性器の生理学—男と女の性器はもとは同じだった！性器の構造を学ぶ。 ⑨ 性交の人間学—性交は人間にとって、二人の関係にとってどのような意味をもっているのか。二人の関係性を反映した性交の現実を考える。 ⑩ 生殖医療の最前線（体外授精、代理母など）をめぐる討論—あなたは賛成？反対？ ⑪ エイズの政治学—その南北問題としての側面 ⑫ セクシュアリティの過去・現在・未来—性の主体者として生きるために 			
<p>キーワード</p> <p>セクシュアル・ライツ（性的人権）、性における平和と平等、性の多様性、セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）、同性愛、トランス・ジェンダー、グラデーション</p>			
【評価方法】	定期試験		

【授業科目】生活と健康	【担当者】明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康の定義 ② 個人・集団の健康指標 ③ 健康の成立条件：疾病の成り立ちや疾病予防の段階・対策などの理解を通して考える 2. 高齢社会とわが国の健康水準 3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など） ②アレルギー疾患 ③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等） 4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> ① 食事 ② 運動 ③ 休養とストレス ④ 飲酒・喫煙の健康への影響について 5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について） 6. わが国の保健医療体制 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 教養体育（実技） / テニス	【担当者】 池森 隆虎
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主にダブルスのゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲームによる応用技術、戦術の獲得へと移行し、なるべく早い段階からゲームを行いルール、マナーの理解を深めたい。 後半はリーグ戦を行い、より高い技術、戦術の習得とテニスの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ラケット操作に慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) ストローク（フォアハンド&バックハンド）</p> <p>サービス（アンダー&オーバー）</p> <p>ボレー（ロー&ハイ）</p> <p>ロビング、スマッシュ等の基礎技術の練習</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義（応用技術獲得の手がかりとして）</p> <p>(1) ルール、コートマナー、エチケット及び試合の進め方について</p> <p>(2) ダブルスペアの決定</p> <p>4. ゲーム技術の習得（主にダブルスゲーム）</p> <p>(1) スポンジボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践（戦術、ポジション、コンビネーション）</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p> <p>*雨天時には、屋内において軽スポーツを行う場合があります。</p> <p>*ラケットは貸し出しますが、持参してもかまいません。</p>	
<p>【評価方法】 評価点（40点）…実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上（実習初回から終了までの過程における個人の上達度）、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点（60点）…欠席-10点、遅刻（15分まで）-5点、早退-5点</p> <p>なお、開講時間数の1/3以上、欠席がある場合には、単位の取得を認めない。</p>	

【授業科目】教養体育（実技） / バレーボール	【担当者】池森 隆虎
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>6人制のゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲーム、ソフトバレーボール等による応用技術、戦術の獲得へと移行し、早い段階からゲームを行い、ルール、ポジションの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、バレーボールの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ボールに慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) 基本動作の練習 レシーブ（オーバー&アンダー）、スパイク、サービス</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義（応用技術獲得の手がかりとして）</p> <p>(1) ルール、マナー及び試合の進め方について</p> <p>(2) 戦術、ポジショニングの反省</p> <p>4. ゲーム技術の習得（6人制）</p> <p>(1) ソフトバレーボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践（戦術、ポジション、コンビネーション）</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p>	
<p>【評価方法】評価点（40点）... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上（実習初回から終了までの過程における個人の上達度）、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点（60点）... 欠席-10点、遅刻（15分まで）-5点、早退-5点</p> <p>なお、開講時間数の1/3以上、欠席がある場合には、単位の取得を認めない。</p>	

【授業科目】 教養体育（実技） / 卓球	【担当者】 松岡 由紀子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・ 運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
【卓球】 技能練習とゲーム <ol style="list-style-type: none"> 1、ストロークの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォアハンド ・ バックハンド ・ ツツキ ・ カット ・ スマッシュ 2、サービスの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォアハンドロングサービス ・ バックハンドロングサービス 3、レシーブの練習とラリー 4、ゲームとルール、審判法 <ul style="list-style-type: none"> ・ シングルス ・ ダブルス 	
【評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点（出席重視） ・ 授業中に採点する。 	

【授業科目】教養体育（実技） / トランポリン	【担当者】松岡 由紀子
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】 プリントを配布する。	
【参考書】	
授 業 計 画	
【トランポリン】 <ol style="list-style-type: none"> 1、トランポリンを行なう前のルール説明 2、トランポリンの移動方法 3、トランポリンの準備と片付け方（組み立てとたたみ方） 4、トランポリンへの上がり方、降り方 5、トランポリンに慣れるための練習 6、垂直跳び(ストレートバウンス)とジャンプの止め方 (チェックバウンス) 7、技能練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ かかえ跳び ・ 開脚跳び ・ 閉脚跳び ・ 腰落ち (シートドロップ) ・ 開脚跳び一腰落ち ・ ひざ落ち (ニーズドロップ) ・ ひざ落ち一腰落ち ・ 手つきひざ落ち (ハンズアンドニーズドロップ) ・ 手つきひざ落ち一腹落ち ・ 腹落ち (フロントドロップ) ・ 腰落ち一捻り一腰落ち (スイブルヒップス) ・ 前方宙返り一腰落ち 8、連続技の練習 	
【評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点（出席重視） ・ 授業中に採点する。 	

【授業科目】 教養体育（講義）	【担当者】 池森 隆虎
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会における健康問題について幅広い知識を身につけ、氾濫する健康情報、流行に対して真偽を的確に判断する能力、それを活かすことのできる応用力を備えられるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>青年期の健康科学、鈴木 明、共栄出版株式会社</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考図書、文献等は講義のなかで紹介していく。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. あなたの将来は？ —生活習慣病、骨粗鬆症等の予防と対策—</p> <p>2. 薬をじょうずに使いましょう。 —薬の有効な利用法、問題点—</p> <p>3. スマートな健康美人になろう！ —ダイエットの方法、問題点—</p> <p>4. 楽しい海外旅行をするために。 —海外での健康問題、安全対策—</p> <p>5. 他人事？エイズや性病について考えよう。 —性感染症の現状と予防—</p> <p>6. 人が苦しんでいます…。その時、あなたは何ができますか？ —応急処置法、ケガへの対応—</p> <p style="text-align: right;">（順不同）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>小レポート（不定期）および、試験</p>	

【授業科目】 外国語 I・II (英語)	【担当者】 川口 淑子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語で書かれた作品の講読を通し、読解力の向上と応用できる知識を増やすことを目指す。</p>	
<p>【テキスト】 『Strange Stories: British and American』 (三修社, 1700円) 榊井幹生、山口美知代 編注</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の著名な作家の作品を講読することになるが、訳読のみでなく、作品の背景にある文化や習慣、あるいは自然な会話表現などを学ぶ機会としてもらいたい。</p> <p>授業では講読が中心となるが、リスニングや基本的なスピーキングも取り入れ、多角的な取り組みを予定している。</p> <p>作品を楽しみながら幅広い知識を身につけることを目的とするので、積極的な参加を期待する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常的及び学期末試験から総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 外国語 I・II (英語)	【担当者】 長尾 主税
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聞き取りをてがかりに、基本的な英語運用能力を養成しなおす。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>あらためて英語の基本を学んでいただく。切実に英語を学び直したいと願っている人は、積極的に参加していただきたい。最初はわかりきったところからはじめるが、少しずつ難しくなっていくので、気を抜かないこと。</p> <p>最初の数カ月は、基本的な発音、語彙、文法を学び直す。説明されたことを理解したら、その場ですぐに使って覚えていく。指示されたことや思いついたことを口に出していってみる。テープによって、発音や基本的な会話のリズムを確認する。いずれも、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになろう。このようにして基本的な運用能力を高めていく。</p> <p>小テストを行うことによってさらに理解と記憶を確かなものにしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語：英会話（基礎）	【担当者】 サラ・ブロック
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>基本英語を復習し、使えるようにする。 自分のアイデアや意見が言えるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントと英語通信</p>	
<p>【参考書】 英和・和英辞典・電子辞書も本でも可</p>	
授 業 計 画	
<p>前「場面」に合せた文法や会話エクササイズ 期 (Drill-style conversations, variations)</p> <p>「自分」の会話をモデル会話をベースに して作り、書きたて保存する</p> <p>「発表」：×もった会話を再現し、スキットに して皆の前でやる（ホアード）</p> <p>後 自分の会話：決まった質問リストから自由に 期 選択して相手に聞き、その返事によって 自分の質問を作って、インタビュー形式に なれてくる。</p>	
<p>【評価方法】 (前期)：先生の前でホアードの会話発表 (後期)：先生をインタビューするか、先生にインタビュー されるかの選択できるテスト</p>	

●2002年度シラバス変更(3)

【授業科目】 選択外国語：ビジネス英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なビジネス英語を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。 3. 上記を通して21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。 	
<p>【テキスト・参考書】 開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 ビジネスに必要なさまざまな形式の英文を使って、チャンク毎に文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 2. 国際的なビジネス問題の理解 現代世界の経済や政治など時事問題などの英語教材を用いて広い視野で学び、世界のビジネスにおける文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 3. 音声訓練 ビジネスで使う基本的な英会話のパターンに慣れるように音声教材を使いながら、練習をする。 4. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、対話や会議で用いる英語を音声で表現できる力をつける。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスに必要な平易なE-mailの英文の読み方、書き方を学び、実際に送受信してみる。 2. 保育、福祉、一般事務などさまざまな分野の実務的な英会話の基本を学び、訓練する。 3. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 4. 語句や意味の奥にある意味や発想の仕方を理解しながら外国人とのビジネスにおいて基本的に重要なコミュニケーションや異文化理解の方法を学ぶ。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 	
<p>【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点と小テスト、レポートおよび期末テストなどで総合的に評価する。</p>	

●2002年度シラバス変更 (5)

【授業科目】 選択外国語：時事英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活、文化、環境、心理、保育、福祉問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、今後の社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて幅広い人間的な力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 4. 時事英語の英文を用いて速読に慣れるようにする。 	
<p>【テキスト・参考書】 開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造をチャンク毎に理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができる文章の内容理解の方法を学ぶ。 2. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、心理、保育、福祉、平和問題などを取りあげた英語教材を用いて、世界の多くの文化や歴史的背景を理解できる幅広い視野を身につける。 3. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような対話練習を行い、重要表現を習得して、音声による自己表現力もつける。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ、英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. 英字新聞やインターネットでの英文を読解するためのルールを身につける。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 6. 自分でインターネットを使って英文ニュースを作ったり、自己表現文を作って実践的な英語力を身につける。 	
<p>【評価方法】 ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語：異文化コミュニケーション	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期（教養教育科目）	
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 * 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】言語とコミュニケーション	【担当者】佐々 加代子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子、コミュニケーション能力弱者のQOL援助、犀書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、子どもからの贈りもの、発達臨床相談</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語の特性 2. コミュニケーションにおける言語 3. コミュニケーションの基本的過程 ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離—信号行動系 4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた 5. 対象児・者別によるコミュニケーション関係 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人 6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容 7. 両者の関係とQOL 8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと <p>ここでの1-8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。</p>	
<p>【評価方法】平常点を重視する。 最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】 手話入門	【担当者】 細田 恵子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>初級程度の手話技能を修得し、聴覚障害者の生活等を知り、これにより自分の内面を見つめ、一助する。かつ、障害者と共生できる経路作りにより関わり、いっかを模索する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>そのつどプリントを配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対「聴覚障害」として講師との意思疎通を図る方法について 2. 挨拶、自己紹介などの日常よく使用する手話を学ぶ。 3. 聴覚障害問題について学ぶ。 4. 聴覚障害とはどのような障害なのかを亲身体験する(擬似体験) 5. 聴覚障害者と健聴者が共生していくためにはどうしたらいいかの話し合い。もしくは卒業後、どう生かしていくかについて話し合い。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 100px;">授業で学んだこと</div> <p>※ 毎回レポート提出していただきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと授業態度により評価。</p>	

●2002年度シラバス変更(4)

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期 / 1年後期	
<p>【授業目標】 文学作品とは何か、この大きなテーマを作者、テキスト、読者の観点から眺めてみる。 そしてフィクションが生身の人間にどう作用するのかを考えてみよう。</p>	
<p>【テキスト】 プリントを使って講義する。</p>	
<p>【参考書】 必要に応じて講義の中で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品を読むのも人間ならば、その作品を生み出したのも人間である。そして、多くの場合、登場「人物」または主「人」公と呼ばれる存在も人間だ。従って、それらの誰もが「わたし」という思いを持っている。この「わたし」という得体も知れない存在を捉えることからこの講義を始めていく。</p> <p>はじめに「日記」を書いてみよう。これは事実あったこととそれに対する思いだ。もしも未来の日記を書くとしたら、それはフィクションということになってくる。フィクションは願望なのだろうか……？</p> <p>こんなふうに話を進めながら、文学作品(テキスト)と作者、文学作品と読者の関係を紐解いていく。話を具体的にするために、O・ヘンリの短編小説「賢者の贈り物」を細部にこだわりながら読みつつ、次の順で講義を進めていく。</p> <p>「わたし」と他者 視点・語り手 作品内空間(時間、場所) 人物描写(登場人物の性格) プロット(語り手の選択) 物語の蓋然性・フィクション 歴史的背景と作者 テキストと読者(印象批評) 批評と文学史 この世はフィクション?(メタ・フィクション) 「わたし」を構成する他者の言葉・乱読の勧め</p> <p>講義のあと文学作品の読み方がどう変わったか、自分の好きな作品を題材にしてレポートを書いてもらう。</p>	
<p>【評価方法】 レポートに出席点を加味して評価する。</p>	

[授業科目名] 造形美術とイマジネーション	[担当者] 八木 紘一郎
[開講期] 後期	
<p>[授業目標]</p> <p>イマジネーション(想像)をめぐる営みに、造形美術がどのような意味と働きをもっているのかを、実際の事例を通して考えながらイマジネーションの理解と造形美術そのものの理解を深めることを目的にする。</p>	
[テキスト・参考書]	
授 業 計 画	
<p>1) 対象認識の方法としてのイマジネーション 子どもの絵や、太古の時代の洞窟壁画など、具体的な造形美術作品を通して、表現者がイマジネーションをはたらかせてどう対象を捉えようとしているかを具体的に考えてみる。</p> <p>2) アイデアや夢や理想を生み出す方法としてのイマジネーション 創造的な活動に欠かせない豊かなイマジネーションを繰り広げる際に目に見える造形物が果たす役割について理解する。創造的思考の方法である。</p> <p>3) 共生的な人間関係をつくる方法としてのイマジネーション 互いの意思を的確に伝達交流には、イマジネーションを働かせる必要はもちろんだが、そのためには見えない、形のない互いの意思をできるだけ見えるようにする方法として造形美術を活用する知恵を考える。造形美術のコミュニケーションツールとしての側面を探る。</p> <p>4) イマジネーションの産物 乗り物・建築などを通してイマジネーションのはたらきを探る。</p> <p>5) 使用する造形素材がイマジネーションの仕方を左右する 粘土・紙・描画材・ブロックや積み木・空き箱などの廃材 描画材の違いによるイマジネーションの仕方への影響</p> <p>6) リアリティについて 進化するデジタル機器を道具にして広がるイマジネーション世界における現実性、本質性といったリアリティの問題について、目に見える造形美術を通して考える。</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>平常点</p>	

【授業科目】話し言葉の伝承	【担当者】東 喜 望
【開講期】1年 前期 または 後期 (前期と同じ内容)	
【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち、口づてに話し言葉によって語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。日本・沖縄奄美・東南アジアの説話を事例としながら大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。	
【テキスト】『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊) 他に資料プリント配布・スライド等映像資料上映。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<h3>講義の概要</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>序</u> — (1)人文科学の方法 (2)「わが国をニッポンというのはなぜか。」 — 背後に存在する国家「神話」(3)国号と環太平洋の太陽神話。 2. 「<u>神話</u>」・「<u>伝説</u>」・「<u>昔話</u>」とは何か。 3. <u>説話伝承の起源</u> <ol style="list-style-type: none"> (1)自然と人間の意識 (2)信仰と「語り」— 個人・ムラ、レベルから国家レベルへ。 (3)神話の発展— 伝説・昔話へ。 4. <u>伝承文芸の現代的意義</u> 	
【評価方法】定期試験時の筆記試験。(テキスト・ノート等参照可)	

【授業科目】 絵本・絵巻と物語表現	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 前期 金 3	
<p>【授業目標】</p> <p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの〈交響〉が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす〈交響〉が成り立つのか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に指示</p>	
授 業 計 画	
<p>I 次ような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻などを例に 2, 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に 3, お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』などを例に 4, 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『はらぺこあおむし』などを例に 5, 紙芝居 6, アニメーション 高畑・宮崎作品を例に <p>II 上記 I を通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵の視座・物語の視座 2, 絵の空間表現・物語の空間表現 3, 絵の時間表現・物語の時間表現 4, 見聞く人の位置と語り手の位置 <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, 絵・ことばの響き合いについて 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 源氏物語の世界	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、<どう生きるか>に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部に囚われず、『源氏物語』が、`すごい`ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>【参考書】 大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語： 瀬戸内寂聴・田辺聖子・円地文子・谷崎潤一郎・与謝野晶子 橋本治『黛変源氏物語』 源氏物語絵巻・アニメその他のビデオ etc</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1, 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。 2, 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。 3, 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対する女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。 4, 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③浮舟 etc について、それぞれの人物像を探っていく。 5, 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が天皇のようなそうでもないような地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとっていったい何が重要なことなのか、考えたい。 6, 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。 7, 源氏物語の笑いについて考える。 8, 物語表現の美しさについて考える。 9, 源氏物語の古代性と現代性について考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

●2002年度シラバス変更(1)

【授業科目】 近現代の日本文学	【担当者】 高原二郎
【開講期】 1年・前期	
<p>【授業目標】</p> <p>近現代の歴史の流れの中で、文学はどのように責任を果たそうと努めてきたか、現実社会の困難な課題にどのように対応してきたのか。ここでは明治・大正・昭和(戦前・戦後)に渉る重い課題をいくつかとり上げ、作品理解をテコにしてそれぞれの課題について考える。</p> <p>出席者ひとりひとりの心が、どれかひとつの課題に衝突することを以って目標とする。なお、文学史的な流れは展開の中で触れる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>用いない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>展開の中で示すことはあるが、特に指定しない。「読書」は義務とはしない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>ひとまず以下の項目を用意するが、羅列的な講義はしない。出席者の興味・問題意識等を自由に出してもらって、自由に話がかけ巡って飛躍してくればありがたい。疑問、珍問、愚問の中から自分なりの心の衝突が生まれて欲しいのであって、講義はそのためのネタ提供と考えて欲しい。</p> <p>(1)開化と西洋－夏目漱石・永井荷風・有島武郎・高村光太郎 (2)個人・エゴとヒューマニズム－夏目漱石・武者小路実篤・志賀直哉・芥川龍之介 (3)大逆事件と人間－石川啄木・有島武郎 (4)愛と人間苦－自然主義・私小説・有島武郎・太宰治 (5)自然と人間－国木田独歩・有島武郎・宮沢賢治 (6)制度と人間－労働運動と文学 (7)伝統と近代－谷崎潤一郎・川端康成・「近代の超克」(→桑原武夫) (8)科学と人間(戦争と文学)－高村光太郎・峠三吉・井伏鱒二 (9)疎外と人間－石牟礼道子</p> <p>ノートは各項目の中の問題点を中心に要点をメモできるように配慮するが、各自の思考のひらめきによるメモにも期待したい。(項目すべてを消化するとは限らない)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、課題に取り組んで記述テスト。従って普段の展開の中で、何が面白いのか、注視して、できれば整理もつけていって、学期末にそのまま書き出せるようにするとよい。出席点はむろん評価する。</p>	

【授業科目】 庶民の生活文化	【担当者】 高橋 徹
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのだろうか。戦後日本人の生活の歴史を理解し、また、みなさんが自分自身の生活についても、考えるきっかけを得ることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業の中で紹介していきます。</p>	
授 業 計 画	
<p>生活文化といっても、「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、時代をたどりながら、テーマに沿った、古い映画や関連するドラマの一部分、ドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。</p> <p>テーマとしては、次のようなものを予定しています（資料の関係で、変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) イン트로～都市化と大衆文化の誕生 (2) 第二次世界大戦 (3) 戦後復興、民主主義、映画スター (4) 東京オリンピックと大阪万国博 (5) 相撲と野球 (6) 旅行と寅さん (7) テレビとアイドルの時代 (8) テレビゲーム、マンガ、アニメ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポート、期末試験をあわせて評価します。</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	【担当者】 先川 直子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 わが国の文化や風俗には若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションをつくりだしていくようになった。本講義ではその中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものに焦点を当てて、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。	
【テキスト】 使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
【参考書】 小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史－近現代の移り変り－』（光生館）他 その他のものについては、テーマに応じて、必要な都度紹介する。	
授 業 計 画	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義を行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイカラさん－洋風の導入と和風との折衷－ 2. モダンガール 3. あこがれのアメリカ文化－自由で豊かな生活の象徴－ 4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> 団地の誕生と核家族の増加 家庭裁縫から既製服へ 3種の神器と3C－家電製品の普及－ インスタント食品の登場 5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論 6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> ミニスカート－街角から生まれた若者のファッション－ ジーンズ－労働着から反抗・反体制のシンボルへ－ 新人類文化とDCファッション ディスコ文化とボディコン・ギャル コギャル文化と携帯電話の普及 7. 大量生産・大量消費への反省－「もの」とどう向き合うか－ 8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点 	
【評価方法】 学期末のレポート・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価	

【授業科目】現代英米の文学	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】 20世紀以降のイギリス、アメリカの文学作品を分析しながら読み、時には文学の歴史や過去の作品との関係に照らし合わせながらその特徴を引き出し、イギリス、アメリカそれぞれの国民性を理解する。</p>	
<p>【テキスト】 プリント</p>	
<p>【参考書】 授業内で指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>イギリス文学を6回、アメリカ文学を6回、それぞれ具体的な作品を取り上げて分析的に読み込んでみる。その上で、それぞれの作品が出てくる社会的歴史的背景を考え、大きな英米の歴史、文学史を浮かび上がらせる。以下のような順番で講義していくので、できるだけ多くの作品に触れて欲しい。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』 イギリス第2回 D.H.ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第3回 コンラッド『闇の奥』 イギリス第4回 サマセット・モーム『お菓子とビール』 イギリス第5回 グレアム・グリーン『情事の終わり』 イギリス第6回 カズオ・イシグロ『日の名残り』 アメリカ第1回 ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第2回 フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』 アメリカ第3回 ヘミングウェイ『日はまた昇る』 アメリカ第4回 スタインベック『怒りの葡萄』 アメリカ第5回 フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』</p> <p>レポートのため、英米それぞれ最低1冊ずつ読んでおくこと。</p>	
<p>【評価方法】 レポート</p>	

【授業科目】 世界の児童文学（教養教育）	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。	
【テキスト】 「児童文学を英語で読む」（岩波ジュニア新書）	
【参考書】 「英米児童文学の系譜」 こびあん書房	
授 業 計 画	
1. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 2. 作品例として 1) 「不思議の国のアリス」（イギリス） 2) 「あしながおじさん」（アメリカ） 3) 「グリム童話」（ドイツ） 4) 「絵のない絵本」（デンマーク）など	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 比較文化論・近代文明と日本人	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">ペリーの黒船が来て、日本が「開国」してから、およそ150年。 僕は今、53歳。……もう、ペリー以後の歴史の1/3を生きてしまっている！ 「日本の近代」は本当に短い！</p> <p>この150年間、日本人は、欧米の「近代文明」と向き合い苦闘し、その中に呑み込まれてきた。 <u>諸君の生きている「今」も、諸君自身の「人生」も、その文化過程の中に存在している。</u> 「近代文明と日本人」を考えることは、我々が生きている「この、今の日本」を考えることだ。</p> <p>本講では、明治期にアメリカ・ヨーロッパに渡り、「近代文明」との緊張に満ちた出会いを体験した人々を紹介しながら、上記の問題に迫って生きたい。</p>	
【テキスト】 教科書は用いない。必要に応じ、プリントを用意する。	
<p>【参考書】 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカー（どこでもない所）への旅』（右文書院・刊）。 本学図書館にもあります。近所の公立図書館に、どしどしリクエストしよう！</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、 諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「最近150年の日本」をどう見るか。 <ol style="list-style-type: none"> ① 日本の歴史の中でも、8世紀前後と同じくらい「奇妙な時代」。 ② 「巨大な文明」と向きあうこと。 <ol style="list-style-type: none"> a 憧れと恐怖 b 「英語帝国主義」と日本人。 2 「国家的使命感」の中で出会う「近代文明」——「鹿鳴館世代」の欧米体験。 <ol style="list-style-type: none"> ① 内村鑑三・新渡戸稲造とアメリカ ② 森鷗外と「ドイツ帝国」 3 「個人」として出会う「近代文明」——夏目漱石と「日露戦争世代」の欧米体験。 <ol style="list-style-type: none"> ① 夏目漱石のイギリスと、有島武郎のアメリカ ② 日露戦争世代と「古きヨーロッパ」の発見 <ol style="list-style-type: none"> a 永井荷風と「ふらんす」 b 有島武郎と「ゴシック・中世ヨーロッパ」 4 「岡倉天心」という巨人 <ol style="list-style-type: none"> ① 「中国は二つ」——システムとしての文明 ② 「アジアは一つ」——西欧文明を相対化するシステム ③ インドとアメリカ——「日本＝現実」からの亡命先 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば（予備知識が全く無くても）分かるはずである。 大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、 最初はメモの要点も指示しながら進める。</p> <p>大切なことは「知識」や「結論」ではない。 自分自身の「現在」を、大きな「場」の中に置いて考えることだ。 諸君の中に、こうした「自分自身への問題意識」を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。 しっかりノートをとっておくこと。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 国境を越える民俗学	【担当者】 東 喜 望
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らず、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では、古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に今年は、中国や東南アジアの島々、かつての日本の「国境を越えて」生きた人々の生活を重視したい。	
【テキスト】 民俗事例の資料として、『沖縄・奄美の説話と伝承』（おうふう刊）を使用する。	
【参考書】 適宜指示する。映像資料を使用する。	
授 業 計 画	
講義概要	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「伝承」「民俗」とは何か。 2. 西洋民俗学の発生・日本民俗学の発祥と展開 3. 自然と人類 4. 人類の智慧と技術と生活文化（食・住・衣） 5. 国境なき人々の原初の暮らし（非定住の生活） <ol style="list-style-type: none"> (1) 山人——日本の山人（マタギ・サンカなど）、ユーラシア大陸の遊牧民、中国・台湾・東南アジアの狩猟民 (2) 海人——日本の海人と家船・中国の蛋民・東南アジアの漂海民 6. 原初の定住生活——焼き畑農耕から稲作農耕へ。 7. ムラの形成とその基本構造 8. 村落祭祀と民俗行事など。 <p>まとめ——新たな「^カ結い」は可能か。-----「脱国家」の問題</p>	
【評価方法】 定期試験時の筆記試験。テキスト・配布プリント・ノート等参照可。 (追再試験は参照不可)	

【授業科目】 現代社会と人権	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちを取り巻く社会の中で、まだまだ取り払われることなく横たわっている多くの問題、すなわち、不平等や差別、自由を束縛する圧力、暴力といったものについて、その原因を突き詰め、解決策を模索しようとする人権の問題に行き当たる。また、社会福祉の考え方や子どもの権利養護といった問題にも人権意識は欠かせない基本的要素である。しかし、人として生きる権利が人間すべてに生まれながらにそなわっているという考え方が成立したのは、実はそんなに古いことではない。そういった人権思想の歴史にも触れながら、現在の人権意識にかかわる問題を取り上げていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>日本弁護士連合会編『ところで、人権です』岩波ブックレット、など多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>人間として生きる権利を、すべての人が平等に生まれながらにして持っているという考え方がしっかり定着したのはいつかということになると、現在ですら不十分という答えになるかもしれないが、少なくともごく最近であることは確かである。この生存権保障が人権の基本であり、それは国民主権の成り立ちと密接な関係を持っている。また、平和の問題と相互保障的な関係にあるとも言える。この生存権の成り立ちを歴史的に突き止めることからはじめ、それがどのようにして現在の基本的人権の考え方に至ったかを明らかにする。その上で、現在の人権問題の不十分な点、平和との問題で解決しなければならない点、あるいは「知る権利」や環境権のような今日的な新しい権利の問題についても触れていく。</p> <p>以下のような柱立てで進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「人を殺しては何故いけないか」－素朴な疑問が人権意識の基本 ◇「万人対万人の戦争状態」－ホップズ『リヴァイアサン』は主張する ◇アメリカ「独立宣言」とフランス革命「人権宣言」－人権思想の源流 ◇人権としての団結権－「自由人の自由な連合」の主張 ◇社会保険から社会保障へ－「すべての者に人間たるに値する生活を」 ◇民族自決の原則－植民地の人権宣言 ◇女性解放運動と女性の人権－ウルストンクラフトの『エミール』批判 ◇「子どもの権利条約」への道－まずは子どもを育てる母親の権利から ◇平和的生存権の明文－日本国憲法の先駆性 ◇人権の国際化－世界人権宣言から国際人権規約へ 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】 憲法と私たち（日本国憲法）	【担当者】 松田 浩
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、日本国憲法の仕組みと働きの大枠を理解することを目標にします。みなさんがこれから市民として、職業人として生活していくうえで、最低限必要な憲法や法についての基本的な考え方を、この授業を通じて身につけて下さい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>無</p>	
<p>【参考書】</p> <p>さしあたり、芦部信喜『憲法』（岩波書店）。「面白い本」ではありませんが、日本国憲法についてのスタンダードな知識を得たい方は手にするといいでしょう。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、日本国憲法とは何か 2、日本国憲法の基本原則 3、国民主権・天皇制 4、平和主義 5、基本的人権総論 6、精神的自由権 7、経済的自由権 8、人身の自由・国務請求権・参政権 9、社会権 10、統治機構総論・国会 11、内閣・財政・地方自治 12、裁判所・違憲審査制 13、憲法改正 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席）と期末試験で評価</p>	

【授業科目】 日本とアジアの近現代史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現在の日本とアジアの関係を考えるとき、近代以降の歴史的経緯は背景として重要である。韓国、中国の近隣諸国をはじめ、東南アジアの国々に対して、戦前の日本がどのような接し方をしたのか、そのことと日本の近代化とはどのような関係があるのか。これらについて、歴史事実を明らかにしながら検討するとともに、現在のアジアの中の日本の位置を確定していきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>近代化を開始した日本は、その当初から、琉球、台湾、朝鮮半島、そして中国に対して武力による侵略を行った。まだ国内の体制すら整備されていない段階から外に対して兵を送り出したのはなぜなのだろうか。明治維新直後の征韓論に象徴される対外膨張主義の検討からはじめ、最終的に東南アジア地域を含め、インドにまで占領地を拡げていった日本の行動について、その経過を明らかにする。そして、その過程でそれら国々との間にどのような関係ができ、それがまた、現在の日本とアジアとの関係にどのような影響を及ぼしているのかを検証したい。</p> <p>また、その間多くの人々がアジアとの直接的な関係を持ち、多くの悲劇に見舞われ、あるいは加害者としての立場に立ってしまった。その具体像についても、聞き取りや映像資料を用いてできる限り触れていきたい。</p> <p>おおむね以下のような内容で話を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇明治の始まりと「富国強兵」路線－植民地化の危機意識 ◇欧米列強の圧力と日本の選択－外へ外へと矛盾の転嫁 ◇征韓論と台湾出兵－何故、朝鮮半島、台湾への出兵なのか ◇福沢諭吉の果たした役割－「脱亜論」の影響力 ◇「一等国」日本の誕生－アジアへの足場＝韓国併合 ◇関東大震災の時に何が－アジア人に襲いかかる日本人 ◇中国大陸への積極政策－日本軍隊が残した爪痕 ◇大陸を目指す人々－満州移民と大陸の花嫁、そして残留孤児が ◇日本に連行されたアジア人－強制連行の記録は訴える ◇現在の、そしてこれからのアジアと日本の関係－何を語り継ぐか 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】 現代社会と教育	【担当者】 民 叙 言
【開講期】 前期	
【授業目標】 現代社会は、多様な相をみせ、大きく変化してきている。そのなかで私たちは生活するが、充実した毎日を送るためには「教育」は欠かせない。本講では幼児教育(保育)に限定し、社会との関わりを考えていく。	
【テキスト】 平成14年版 ハンドブック 教育・保育・福祉関係法令集 北大路書房	
【参考書】 講義の中で必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって「教育」はどのような意味をもつか 2. 乳幼児期の「教育」としての保育の意味 3. 現代社会の特徴 (1) 家族生活 4. 同 上 (2) 地域生活 5. 現代社会における保育の意味 (1) 幼稚園 6. 同 上 (2) 保育所 7. 同 上 (3) 学童保育所 8. 現代社会における「教育」 (1) 福祉と教育 9. 同 上 (2) 国際化と教育 	
【評価方法】 ペーパーテストと出席点による	

【授業科目】 社会福祉の考え方	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会における「社会福祉」とは何か。日本の社会福祉の特徴と問題点は何か。21世紀の日本型福祉国家はいかに改革されるのか。本講義は、歴史社会学の視点と国際比較の方法によって前述の諸問題を分析する。本講義は①現代日本における社会福祉の成立・発展過程、②日本の社会福祉諸制度の現状と問題点、③日本型福祉国家の特徴とゆくえ、についての理解を深めることを目標とする。本講義の受講によって、学生たちは現代社会における社会福祉の機能及び自分の人生への影響を、複眼的に考察するための基本知識・考え方及び分析能力を身につけることができる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『日本型福祉国家の形成と「十五年戦争」』ミネルヴァ書房、1998年。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>I 社会福祉に関する基礎概念 ①社会福祉／②社会保障／③社会保険／④公的扶助／⑤福祉国家／⑥社会政策</p> <p>II 社会福祉の成立発展の諸背景 ①産業構造・就業構造の変化／②労働運動・「社会主義」／③現代戦争 ④経済成長・富裕化／⑤少子高齢化・外国人の増加／⑥人権意識・価値意識の変化</p> <p>III 社会福祉の考え方 ①ナショナル・ミニマム論／②選別主義と普遍主義／③ノーマライゼーションの理念 ④「福祉生活の質」の考え／⑤最適福祉ミックス論／⑥分権化と参加</p> <p>IV 社会福祉諸制度の現状と問題点 ①公的年金保険制度の形成過程・現状・課題／②医療保険制度の形成過程・現状・課題／③生活保護制度の現状と問題点／④介護保険の現状・問題点／⑤日本の社会福祉制度政策における外国人の位置づけ</p> <p>V 総括 ①東アジアの福祉国家化と伝統文化との相乗・相剋 ②21世紀における日本型福祉国家のゆくえ</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①出席状況と②筆記試験（テキスト・配布資料・自筆ノート持ち込み可）</p>	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 前期	
【授業目標】 ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点から捕らえ直し、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係をさぐり、「男らしさ」「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。	
【テキスト】 テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。	
【参考書】 授業時に随時紹介する	
授 業 計 画	
<p>今日、家族や女性を取り巻く社会的状況は大きく変化した。男女共同参画社会が志向され、男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p>	
【授業内容】 1、 ジェンダーとは—性別役割分業とその問題点— 2、 女性のライフサイクルの変化 3、 ジェンダー統計に見る現状と課題 4、 労働とジェンダー 5、 福祉とジェンダー 6、 女性と人権—ドメスティックバイオレンス— 7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き	
【評価方法】 筆記試験(ノート、授業中の配布資料など参照可)、平常時の提出物、出席状況の総合評価。	

【授業科目】現代世界とマイノリティ	【担当者】中島好伸
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】 アメリカにおいてマイノリティと言われる民族の現状や現在にいたる歴史的背景を理解し、それが文学作品でどう描かれているのかを見してみる。</p>	
<p>【テキスト】 プリント</p>	
<p>【参考書】 必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>アメリカには、マイノリティと呼ばれる少数民族が多数存在する。黒人すなわちアフリカ系アメリカ人、インディアンすなわちネイティヴ・アメリカン、さらにはユダヤ系、中国系アメリカ人、そして日系。あるものは自らの土地を奪われ、そしてあるものは独自の文化を禁止された。またあるものは自主的にではあってもアメリカに渡ってきたために、同化政策ゆえに他者の言語を強制された。このような過去を持つマイノリティたちは、現代においてさまざまな問題を内に外に抱えていると言わざるを得ない。このような現代のマイノリティの状況や問題を以下のような順番で一つ一つ取り上げていく。そして、彼らマイノリティの描いた文学作品を見て、彼らの心にまで迫ってみよう。</p> <p>もちろんマイノリティの問題はアメリカに限ったことではない。民族紛争が多発していることからわかるように、マイノリティの問題は世界の問題である。そこで、アメリカからスタートして、世界のマイノリティまで視野を広げてみたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アフリカ系アメリカ人の歴史 2 1930年代から50年代の黒人小説 3 公民権運動内の性差別 4 19世紀のネイティヴ・アメリカン史 5 インディアンの自然観 6 ユダヤ人の歴史とアウシュビッツ 7 アメリカのユダヤ人 8 中国系アメリカ人 9 日系アメリカ人 10 世界のマイノリティ 	
<p>【評価方法】 レポート</p>	

【授業科目】女性労働の問題	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。(教養科2年「女性労働論」と同時開講)</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 近代日本における女性労働の歩み 2、 女性労働の現状と課題 3、 女性労働と法 4、 女性労働の国際比較 5、 家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 地域の生活と家族	【担当者】 民秋 言
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私々人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなりに生まれ出、育ち、生活し、老年を送る。この家族は地域のなりのある。地域のあり方と大きくかかわっている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義の中で必要に応じて指示する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>同 上</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のはたらき(機能) 3. 家族のなりの人間関係 (1) 夫婦関係 4. 同 上 (2) 親子関係 5. 同 上 (3) 近しい関係 6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度 7. 同 上 (2) 核家族と直系家族 8. 地域社会の変化・都市化 9. 地域のなりの生活・コミュニティ 10. 地域生活と家族のあり方 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと出席点による</p>	

現代保育教養専門科目（1年）

【授業科目】 基礎ゼミナール	【担当者】 村田保・富永・久保木
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代保育教養コースの基軸になる科目である。 幼児を巡る様々な問題や「教育とは」と言った根本的な問題などを、具体例に即して考えながら、幼児教育の実践者としての自覚を高める。 また、テーマ別に3つのゼミナールが開かれるので、自分の問題意識に近いゼミに所属して、2年間の研究のベースを作る。</p>	
【テキスト】	

【参考書】	
授 業 計 画	
<p>コース全体の合同授業と、各ゼミごとの学習を組み合わせで展開する。 各ゼミナールでは、ゼミのテーマに沿って（あるいはテーマを決めながら）、多様な形で研究を深めていく。 少人数の良さを生かして、積極的に調査や討論を進めてほしい。 運営を含めて、ゼミを作るのはあなた達である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席・平常点・レポート</p>	

【授業科目】日本語の表現	【担当者】東 喜 望
【開講期】1年前期	
【授業目標】ことばによる表現は、人間にとって最も大切な活動です。 この授業では、ことばによる表現の大切さと、殊に書きことばによる表現の基本を学ぶことを目標にします。	
【テキスト】用いない。講義資料を配布する。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>授業は講義と実作(制作)を併用してすすめる。 講義の内容と制作のジャンル・実習は下記を予定している。</p> <p><u>I. 講義</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ことばとはどんな働きをするか。 2. 文章表現の基本 3. 文章の構造 4. 文章のスタイルとジャンル <p><u>II. 制作</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エッセー 2. 評論 3. 文芸(詩・コントなど) 4. 文集作製 5. 校正実習 	
【評価方法】授業への参加と作品の提出を重視する。 評価は授業への参加の度合いと提出作品による。 小テストを実施する場合もある。	

【授業科目】 日本語の表現	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちは通常あまり意識をせずに、日本語で考え日本語で話をしてしています。 この授業では、あらためて日本語の特徴について意識化し、「正確でわかりやすい日本語とは？」という問題について考えます。 文章を書きながら、実地にこの課題に答えることを目指します。</p>	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. 表現とは？ さまざまな表現行為の特徴について考え、「書く」ことの意味を理解する。</p> <p>2. わかりやすい文章とは？ いろいろな用例を基に、わかりやすい文章について考える。</p> <p>3. 日本語の特徴を理解し、わかりやすい文章を書いてみる。</p> <p>4. いろいろな文章を書く。 ・観察したことを、簡潔にまとめる。 ・立場に即した文章を書く ・書式に沿って報告文を書く ・手紙文を書く ・自分の思いを簡潔に書く。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席・提出物</p>	

【授業科目】 情報科学（情報処理入門）	【担当者】 宮武 直樹
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>教養科の学生を対象に、やさしい情報科学として情報科学に関する基礎知識を習得させることと、実際にコンピュータを作動させることによって、情報科学をより一層理解させるための講義である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報科学とは新しい学問で、まだ十分に体系化されているとはいえない。情報科学の生い立ちを見ると、コンピュータの出現と期を同じくしていることから、コンピュータとは大いに関係があると考えられる。しかし、情報科学が即コンピュータ科学であるというのは正しくない。情報科学に関する基礎知識を論じたい。</p> <p>(2) 情報処理実習について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの構成と操作方法 2. 日本語ワープロ、Wordの基本操作（3級程度の文書作成） 3. 表や罫線を使う文書作成（2級程度の文書作成） 4. 図形や段組を使う文書作成（1級程度の文書作成） 5. 表計算機能の使い方 6. 作図機能の使い方 7. 表計算ソフト、Excelの基本操作 8. 成績表の作成 9. 各種の成績グラフの作成 10. 成績に関するデータベースの作成 11. 学内ネットワークへの接続と電子メールにつ 12. 電子メールの送受信 13. 簡単なホームページの作成 14. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】 保育内容・指導法演習	【担当者】 村田和子・藤井富貴子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様化している幼児教育において、人と育ることの本質を白梅幼稚園の実習を通して学ぶ 2. 実習での体験を生かして話し合い、レポート、討議等により確かなものへしていく。現場での保育に生かす。 	
【テキスト】	
<p>【参考書】「幼児教育の計画」「根と育つ思想」久保田浩（誠文堂新光社） 両方共絶版のため抜粋する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 白梅の教育について知る。 ・三層構造論 2. 生活の中での自立 3. あそびの重要性 ・年齢によるあそびのとりえ方 4. 総合的活動とは 5. 上記のことをふまえて、子ども同士の関わり方について学ぶ。 6. 子ども理解と、保育者のかかわりについて。 7. カリキュラムについて考える。 8. 幼児教育とは。（まとめ） 	
【評価方法】	

【授業科目】 現場で学ぶ幼児教育	【担当者】 村田保・富永・久保木																		
【開講期】 後期																			
【授業目標】 幼稚園実習を、長期（12週）に渡り週一回（終日）行うことにより、継続的に幼児の観察をし、対応の仕方の実際について学ぶ。 「保育内容 指導法演習」と連動して、実習の体験や問題点を整理し、幼児指導の方法を実践的に身につける。																			
【テキスト】 『実習ガイドブック』『実習日誌』その他																			
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】																			
授 業 計 画																			
<p>第1期実習に引き続き、後期は、下記日程で、第2期実習・第3期実習（2月）を行う。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> * 第2期実習（後期10月～1月） </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; text-align: right;"> 実施期間 </td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">10月第1週（1日～5日）を除く</td> <td style="text-align: right;">2 / 3 / 4 / 5週</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">11月第2週（11日～16日）を除く</td> <td style="text-align: right;">1 / 3 / 4週</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">12月</td> <td style="text-align: right;">1 / 2 / 3週</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">03 / 1月第1週（6日～11日）</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">4週（27日～31日）を除く</td> <td style="text-align: right;">2 / 3週</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">（除外期間は、実習のまとめの時間に当てる）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期実習では、火曜日実習・木曜日実習の2グループに分かれ、それぞれの曜日に、実習園のプログラムに従い、実習する。 ・ 実習担当者から実習の事前指導を受け、実習後は、実習日誌を基に事後指導を受ける。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-top: 20px;"> * 第3期実習（2月） 観察実習から「参加実習」に入る。絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行う。 </td> </tr> </table>		* 第2期実習（後期10月～1月）	実施期間	10月第1週（1日～5日）を除く	2 / 3 / 4 / 5週	11月第2週（11日～16日）を除く	1 / 3 / 4週	12月	1 / 2 / 3週	03 / 1月第1週（6日～11日）		4週（27日～31日）を除く	2 / 3週	（除外期間は、実習のまとめの時間に当てる）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期実習では、火曜日実習・木曜日実習の2グループに分かれ、それぞれの曜日に、実習園のプログラムに従い、実習する。 ・ 実習担当者から実習の事前指導を受け、実習後は、実習日誌を基に事後指導を受ける。 		* 第3期実習（2月） 観察実習から「参加実習」に入る。絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行う。	
* 第2期実習（後期10月～1月）	実施期間																		
10月第1週（1日～5日）を除く	2 / 3 / 4 / 5週																		
11月第2週（11日～16日）を除く	1 / 3 / 4週																		
12月	1 / 2 / 3週																		
03 / 1月第1週（6日～11日）																			
4週（27日～31日）を除く	2 / 3週																		
（除外期間は、実習のまとめの時間に当てる）																			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期実習では、火曜日実習・木曜日実習の2グループに分かれ、それぞれの曜日に、実習園のプログラムに従い、実習する。 ・ 実習担当者から実習の事前指導を受け、実習後は、実習日誌を基に事後指導を受ける。 																			
* 第3期実習（2月） 観察実習から「参加実習」に入る。絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行う。																			
【評価方法】 出欠席・実習態度・実習日誌・事前事後指導・学内反省会などを総合して評価する。																			

現代教養專門科目（1年）

【授業科目】ゼミナールⅠ	【担当者】東 喜 望
【開講期】1年前・後期	
<p>【授業目標】〔海と列島の説話〕 日本は広大なユーラシア大陸の東の海上に浮かぶ島国です。 この島国に口づてに伝えられている話には、島の外からやってきた話 や外の島々へ伝えられて行った話があります。そんな話をとりあげ、 歴史には描かれなかった、この列島内部の問題や周辺諸国との関係を考え ます。</p>	
【テキスト】資料プリントを配布する。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>1. <u>ゼミナールの準備</u></p> <p>(1) 映像資料を見る。 (2) 講義 — 口承説話について (3) 報告分担等の決定</p> <p>2. <u>とりあげる説話</u></p> <p>(1) 洪水神話 (2) 百合若説話 (3) 桃太郎説話 (4) 浦島説話</p> <p>※ 上記の順は、受講者と相談して決めます。</p>	
【評価方法】レポートによる。ゼミテストを実施する場合もある。	

【授業科目】 ゼミナールⅠ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年前・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期は歴史を専門的に学習していくための入門として、歴史学とは何かについて考えていく。その上で後期は、自分の関心のあるテーマについて、専門的に調べ、検討していくためにはどのように文献にあたり、史料を読み下していくかを実際に試みながら、問題関心を掘り下げていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>ゼミのメンバーが決まってから相談して決める。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>テーマに沿って、その都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは興味を持っている時代や出来事について、皆で出し合い、歴史のおもしろさについて話しあっていく。同時に歴史の研究法についても少しずつ学習していくが、そのためには、史料が収集され、展示されている資料館などの見学なども逐次行っていく。</p> <p>後期に向けては、皆でまとまった歴史の本を読み合い、問題点を出し合い議論する中で、一人一人が問題関心を深め、テーマを見つけだせるようにしていく。</p> <p>次のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇興味ある時代、出来事は？そしてそれは何故？ ◇歴史と歴史小説－三国志の世界を読み解く ◇時代小説に見る歴史観－司馬遼太郎、池波正太郎、藤沢周平の世界に通じるもの ◇日本近代史を見つめる眼－歴史的に見るということ ◇ローアングルから歴史を見る－民衆世界、とりわけ下層社会を視座に据えると ◇時代の基本は何か？－経済のしくみに注目すること ◇政治のしくみを理解する－時代と法制度、政治制度との関係 ◇人々の考えや文化の特徴は－時代と人々の生き方との関係 ◇史料とは？史料批判とは？－歴史研究の基礎 ◇近代に関するまとまった文献を読もう－分担して報告を ◇自分の問題意識を研ぎ澄まそう－歴史と現代の関係 	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ中の報告や小レポートによって評価する</p>	

【授業科目】ゼミナール I	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前後期	
<p>【授業目標】 アメリカという国について、まずは現在から、そして歴史的背景、さらには文化と理解を深めていくことを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】 差し当たっては使用しない。</p>	
<p>【参考書】 必要な時には指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>昨年9月11日、アメリカで起こった同時多発テロ、さらにその後のアフガニスタン爆撃を見ていろいろなことを感じただろう。アメリカはなぜ狙われたのか、またアメリカはなぜ爆撃をしたのか。そもそもアメリカってどんな国なのだろうか。このあたりの調査からゼミナールをはじめてみたい。</p> <p>方法としては、 毎週、アメリカに関するニュースを授業に持ってきてもらう。できれば一年間ニュースをファイルしていくといい。こうすることによって、アメリカの現在がどんな顔をしているのかを理解したい。また、それぞれのニュースが持つ歴史的背景や社会的問題を分析して、アメリカを多角的に捉えてみよう。アメリカに関することは何でもござれだ。</p> <p>アメリカに関することは何でも貪欲に知る、そして読む。こうしてアメリカという国の全体的なイメージを捉えた上で、本ゼミナールの柱である、アメリカの文学作品へと入っていく。後期になって、1、2冊読んでみたい。(でも、一年次はアメリカ学に徹してみよう。何が見えてくるか楽しみだ)</p>	
<p>【評価方法】 レポートに平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】現場で見る文芸	【担当者】東 喜 望
【開講期】1年後期	
【授業目標】「百聞は一見に如かず」ということは「があります。この授業では文芸や文芸家にかかわる現地と遺跡を實際に訪ね、具体的な調査記録をとおり、文芸専象や文芸家の芸術活動とその人生を探っていきます。東京(江戸)には、文人・墨客のたくさんの遺跡がありますが、探訪地は、大学周辺の武蔵野に限定します。下記参照。	
【テキスト】用いない。資料を配布する。	
【参考書】適宜紹介する。	
授 業 計 画	
授業は次の三領域から構成する。Ⅲの「野外調査」は受講者と相談の上、調査方法や踏査地(探訪地)をきめます。	
I. <u>調査準備</u>	
(1) 野外調査(Field Work)の仕方 (2) 調査記録の仕方	
II. <u>文献調査と予備調査</u>	
(1) 関係資料の収集と検討 (2) 調査地の選定と予備調査	
III. <u>野外調査(Field Work)</u>	
<踏査予定地>-----次のうち数ヶ所 (1) 国分寺跡周辺-----ハケの泉・小町の池・僧寺跡・万葉園・資料館・尼寺跡。 (2) 玉川上水・三鷹周辺-----国木田独歩詩碑・独歩逢ひきの掛茶屋・桜橋 太宰治入水跡・太宰旧宅跡・太宰の墓・森鷗外墓・ 鷗外碑=禪林寺。三木露風墓=大盛寺別院・旧宅。 (3) 小金井・境周辺-----小金井武蔵野郷土館・下村湖人歌碑・浴恩館。 上林暁「聖ヨハネ病院にて」(舞台)・多摩墓地。 (4) 京王線周辺-----徳富芦花旧宅(恒春園)・武者小路実篤旧宅・万葉歌碑。 (5) 立川-----牧山牧水歌碑・北川冬彦詩碑	
【評価方法】調査誌(調査記録)を提出させる。調査報告集を作成する 予定。講義および野外調査への出席を重視する。 ◎ 評価は、提出物と出欠によって、出す。	

【授業科目】 歴史・民俗遺跡を歩く

【担当者】 平賀明彦

【開講期】 1年後期

【授業目標】

今期は考古・歴史を中心に遺跡探索をする。過去の歴史的事実を物語ってくれる遺跡・遺物と接点を持つことは、歴史の学習にとってとても重要。事前学習によって基礎知識を得て、時代がつくられた現場に立ってみると、時代の息吹がよみがえってくる。是非、それを実感して欲しい。また、近現代の新しい歴史の場合は、そのころを同時代として生きた人々が、歴史そのものを再現してくれる。そういった経験を通じて、歴史像を豊かにすることを目指す。

【テキスト】

とくに定めない。

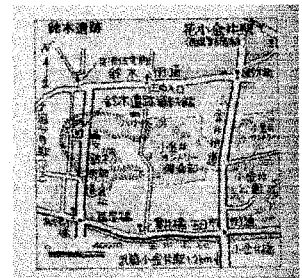
【参考書】

『歴史散歩事典』山川出版社、など多数あるのでその都度紹介する。

授 業 計 画

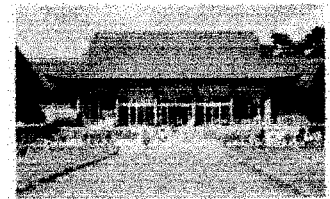
まずは身近な考古・歴史遺跡を訪れることから始めよう。そのためには、その遺跡と、その時代についての基礎知識を習得すること。そして、実地に現場を歩くための最低限の準備とマナーについて知っておくことが必要。以下のような探訪地を考えているが、でかける前に、事前準備の時間を設定する。

- ◇鈴木遺跡（小平市鈴木町）一石神井川の源流に沿った広い地域にわたる旧石器時代遺跡。約3万年前～1万3千年前までの生活の痕が残る関東地域を代表する旧石器遺跡。近くに遺跡資料館があり、磨製石斧などの遺物を見ることができる。
- ◇恋ヶ窪遺跡（国分寺市西恋ヶ窪町）一いわゆる「国分寺崖線」に沿って分布する遺跡の一つで、縄文時代中期の集落遺跡。装飾品や調理用具が出土し、それらは国分寺市文化財資料展示室で見ることができる。



- ◇武蔵国分寺跡（国分寺市西元町）一741年（天平13年）聖武天皇の詔によって建立された国分寺・国分尼寺の跡。武蔵野国府にほど近い地に建てられ東大寺式に準じた伽藍配置で、左写真の碑は金堂跡に建てられた。屋根瓦などが多数出土し上記資料展示室に陳列されている。ここを起点に万葉植物園、お鷹の道、真姿の池、旧鎌倉街道などを辿る歴史散策の道がある。

- ◇光華殿（小金井市・小金井公園）一現在「江戸・東京博物館分館」の正面入り口、ピジターセンターとして使われている右写真の建物は、1940年、国威発揚のために行われた紀元2600年式典の神殿として建てられたもの。奈良の橿原神宮を模してつくられており、式典後宮城外苑から移築された。



- ◇国際基督教大学本館（三鷹市大沢）一ICU本館の左写真建物は、戦時中中島飛行機製作所の三鷹研究所だったところ。戦後GHQが管理し後に国際基督教大学に売却された。当時の面影をそのまま残しており、キャンパス内には当時の防空壕なども残っている。



当時の面影を残すICU本館

○この他に、近隣の遺跡、遺構探訪を計画している。

武蔵国府跡（府中市） 殿谷ヶ戸庭園（国分寺市） 分倍ヶ原古戦場跡（調布市） 滝山城跡（八王子市）
陸軍技術研究所跡（小金井市） 泉蔵寺戦没者供養塔（小平市） 日立航空機変電所跡（東大和市）

【評価方法】

探訪地の事前調査、見学後のレポートによって評価する。

【授業科目】 博物館の現場	【担当者】 上野光子・平賀明彦
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて資料を配付します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。</p>	
授 業 計 画	
<p>広範に渡る学芸員の仕事の中から人文科学系にしぼり、下記の項目にそって、講義1実習3を目安に授業を進めてゆく。見学によりなるべく多くの実例を学び、同時に作品に対するより深い理解とマナーも身につけます。2年次には実際に博物館施設において実務実習を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法 (2) 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動 (3) 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出 (4) 資料作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次資料とは ・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本 ・ 裏打：くいざき、作図方法 ・ レプリカ作成 (5) 展示と保管 <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示環境 ・ 劣化と保存科学 ・ 展示施設と方法 ・ カタログ、作品解説 (6) 梱包と運搬 (7) 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法 <ul style="list-style-type: none"> 掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等 (8) 写真の基礎知識 	
<p>【評価方法】</p> <p>(1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。</p>	

【授業科目】日本語の表現	【担当者】東 喜 望
【開講期】 1年前期	
【授業目標】ことばによる表現は、人間にとって最も大切な活動です。 この授業では、ことばによる表現の大切さと、殊に書きことばによる表現の基本を学ぶことを目標にします。	
【テキスト】用いない。講義資料を配布する。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>授業は講義と実作(制作)を併用してすすめる。 講義の内容と制作のジャンル・実習は下記を予定している。</p> <p><u>I. 講義</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ことばとはどんな働きをするか。 2. 文章表現の基本 3. 文章の構造 4. 文章のスタイルとジャンル <p><u>II. 制作</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エッセー 2. 評論 3. 文芸(詩・コントなど) 4. 文集作製 5. 校正実習 	
【評価方法】授業への参加と作品の提出を重視する。 評価は授業への参加の度合いと提出作品による。 小テストを実施する場合もある。	

【授業科目】 日本語の表現	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちは通常あまり意識をせずに、日本語で考え日本語で話をしています。 この授業では、あらためて日本語の特徴について意識化し、「正確でわかりやすい日本語とは？」という問題について考えます。 文章を書きながら、実地にこの課題に答えることを目指します。</p>	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1, 表現とは？ さまざまな表現行為の特徴について考え、「書く」ことの意味を理解する。</p> <p>2, わかりやすい文章とは？ いろいろな用例を基に、わかりやすい文章について考える。</p> <p>3, 日本語の特徴を理解し、わかりやすい文章を書いてみる。</p> <p>4, いろいろな文章を書く。 ・観察したことを、簡潔にまとめる。 ・立場に即した文章を書く ・書式に沿って報告文を書く ・手紙文を書く ・自分の思いを簡潔に書く。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席・提出物</p>	

【授業科目】 ヒューマニズム論	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">「ヒューマニズムは間違っている！」と言う人は多くはないが、 では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。</p> <p>「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は、「世間的通念」に流されているだけなのではないか。「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に我々の「支え」になりうるのか。つまり、「現代に於けるヒューマニズム」は、可能なのか。</p> <p>「ヒューマニズムの精神」は、白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されねばならない。</p> <p>本講では、上記のような問題意識のもと、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点として、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか</u>、<u>何に抗って「人間を大切にする」のか</u>、というアクティブな問題に迫っていきたいと思っている。大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」こと ② 「自己」と「世界」 ③ 何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」 2 我々の状況——近代に於ける「人間」の問題 <ol style="list-style-type: none"> ① 「近代ヒューマニズム」思想と、その問題点 ② アイデンティティと共同体 3 現代の状況と人間 <ol style="list-style-type: none"> ① 「国家」と人間 ② 「資本」と人間 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、最初はメモの要点も指示しながら進める。大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。	

【授業科目】総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
【授業目標】 1 東→中島→佐々の順で講義する。 2 中島担当分について テーマ「経験（自己存在）と言語」	
【テキスト】 プリントを使用	
【参考書】 授業時に紹介	
授 業 計 画	
<p>私たち人間は、他の人に自分のことを伝えたくて仕方がない。それは、自分がこの世界に いることを相手に理解して欲しいからであり、また逆に自分が本当にこの世界に存在して いることを相手が反応してくれることによって確認できるからである。</p> <p>しかし、この伝達の問題には 1) 伝わる/伝わらない 2) メッセージの真/偽 という大きな問題が絡んでいる。</p> <p>例えば、性の違い、世代の違い、言語の違いによって話は伝わらないこともある。さらに 意識しておかなければいけないのは、強い性、強い世代、強い言語によって弱者に沈黙を 強いることもあるということだ（1回目）。この沈黙は、意識的なものである場合と、強 いトラウマなどによる無意識的なものである場合とがある（2回目）。時には、自分の経 験の触れたくない部分には触れないように、意識的に嘘をついたり、またこの嘘が無意識 に行われると狂気に陥ることすらあるかもしれない（3回目）。人間の発話、メッセージ にはこんなにもいろいろなヴァリエーションがある。が、この発話、メッセージこそが人 間を理解する鍵である。そして人そのものと言えるだろう。そこで最後に、言葉を磨くこ は自己を磨くことであるとまとめたい。言うまでもなく言語表現の達人は作家。そこで、 作家はなぜ書くのかを考えて、自分と比較してみよう（4回目）。以上の内容を具体的に 進めるため、次に挙げる文学作品を紹介しながら講義を進めていく。</p> <p>1回目 エイミー・タン『ジョイ・ラック・クラブ』 2回目 トニ・モリソン『ピラヴド』 3回目 ウィリアム・スタイロン『ソフィーの選択』 4回目 まとめ（サマセット・モーム『月と六ペンス』を題材に）</p>	
【評価方法】 前期を通して（三人の教員が各々の担当部分の評価を持ち寄り）全体として評価を出す。 中島担当部分→レポート	

【授業科目】 総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】 佐々 加代子
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日々言語を駆使しながら生活をしている一人の人間である自分から始め、生活のなかで生きていく言語を扱う。さまざまな場面での言語活動の実態から検討し、各人が言語を生かしていく方向を探れるようにする。</p>	
【テキスト】 用いない。適宜プリントを配布する。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、コミュニケーション能力弱者の QOL 援助、子どもからの贈りもの、発達臨床相談。</p>	
授 業 計 画	
<p>演習をふまえながら構成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ことばの正体を探る <p>日常のなかでのことばの実態。話しことばから書きことば。世代によることば;位相語。 人間の生活におけることばとそれを生み出す人間</p> 2. 見えないことばを読む <p>広げてみることばの世界。 ことばの意味を読みとる、その鍵になる内容</p> 3. ことばを育てる <p>乳幼児、障害児・者、失語症、重症心身障害児など筆者の経験・体験から、その筋道を考える</p> 4. ことばを育む <p>それぞれのプログラム</p> 	
<p>【評価方法】 平常点を重視する。 授業内で行うミニレポートとレポートによる評価</p>	

【授業科目】総合科目 生命	【担当者】柳下登・近藤正樹・明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。</p> <p>20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登：プリントを使用 近藤正樹：プリントを使用 明渡陽子：プリントを使用</p> <p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社） 近藤正樹：生産の生物学（開成出版） 明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命とはなにか：明渡陽子 2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登 3. 地球生物と進化：柳下登 4. 地球生物と環境：近藤正樹 5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹 6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子 7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか（それぞれの専門分野から） 柳下登 近藤正樹 明渡陽子 	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登：出席状況と筆記テスト 近藤正樹：出席状況と筆記テスト 明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>戦争と平和の問題を通じてヒューマニズムについて考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるというごとはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、昨年9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、その解決に向けての方法は適切であったのかを検討してみることは重要なてがかりとなるだろう。現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題は、そういったこととどのような関係があるのかといった点からも検討を深める必要がある。また、戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇同時多発テロは何故起きたかー歴史的経過を探る意味 ◇報復戦争の意味するものーテロへの対応は「戦争」か ◇現代の戦争、地域紛争とその原因ー民族、宗教、「文明の対立」を検討する ◇国民国家形成とナショナリズムーフランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合 ◇近代の平和思想の歴史ー『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜 ◇不戦への挑戦、その可能性はー日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える ◇構造的暴力の問題ー貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造 ◇平和への課題ー人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ（消費社会と欲望）	【担当者】大岡 聡
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>「最新のファッションに身を包むと、とても気分がいい!」「人が持っていないバッグをもっているとなんだか鼻が高いなあ」「ちょっと食べ過ぎちゃった、ダイエットしなきゃ」「洋服買い過ぎちゃったので、お昼はマクドの半額バーガーで我慢しよう」……。これらは「豊かな」日本社会に暮らす私たちの日常の一コマ。でも「何だか変だ」と思うことはないですか?。モノに振り回されていませんか?。「豊かな」私たちの一方で、飢えた人もいるのはなぜ?。「地球にやさしい」暮らし方ってなんだろう……。この講義を通じて消費社会といわれる現代の私たちの暮らしと社会を、反省的に考察してみましよう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いません。毎回プリントを配ります。</p>	
<p>【参考書】 講義中に紹介しますが、とりあえず、上野千鶴子『私探しゲーム』（筑摩書房）、見田宗介『現代社会の理論』（岩波新書）、エリック・シュローサー『ファーストフードが世界を食い尽くす』（草思社）、島村志津『スローフードな人生』（新潮社）、山本・西沢編『百貨店の文化史』（世界思想社）をお薦めします。</p>	
授 業 計 画	
<p>講義では、まず日本における消費社会の形成過程（消費社会化の歴史）をたどることで、現代の消費社会を相対化する歴史的視点の獲得を目指します。それに続き現代の消費社会の特徴や問題点を考察し、あるべき消費社会とかしい消費者像を展望します。</p> <p>構成は以下の通り。</p> <p>序 消費社会としての現代</p> <p>第一部 消費社会の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) リサイクル社会としての江戸 (2) 百貨店の誕生①—小売業の革新 (3) 百貨店の誕生②—消費社会の演出者 (4) 近代家族と文化生活—消費の主体 (5) 美と健康—消費と身体 (6) 高度成長と消費社会の確立 <p>第二部 消費社会の現在</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 消費社会と現代経済 (2) 記号としての消費 (3) 消費志向型人間—消費社会の人間像 (4) 消費社会と地球—南北問題と環境問題 (5) ファーストフードか、スローフードか (6) かしい消費者とは?—まとめにかえて 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・レポートにより評価する。</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)	【担当者】 柳下登・明渡陽子
【開講期】 前期	
【授業目標】 高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。	
【テキスト】 柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用	
【参考書】 柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね E. ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。	
授 業 計 画	
以下のテーマに沿って行う予定。 1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ	
【評価方法】 柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト	

【授業科目】 人物研究Ⅰ（和泉式部）	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】 紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。 和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪の乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。 時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
【テキスト】 プリントを配布	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館 増田繁夫 著 『冥き途—和泉式部伝—』世界文化社 清水好子 著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社 久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 悪女の評判さまざま すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。 2, 実人生を辿る 少女期の環境 最初の結婚と破綻 冷泉皇子兄弟との恋愛と死別 後宮出仕 再婚 娘との死別 3, 実体験から和歌表現へ 4, 恋歌と死の歌のあわい 恋歌を超える眼差し 5, 実存のテーマと方法・ 和歌の時空 「自己客体視」の方法 連作の方法 6, 歌集と日記 7, 仏教的心性の問題 8, 和泉式部和歌の評価をめぐる問題 <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ・「柳田国男」

【担当者】東 喜 望

【開講期】1年 後期

【授業目標】柳田(旧姓・松岡)国男<明治8・1875—昭和37・1962>を対象とする。柳田は貧しい医師の子として、兵庫県神崎郡福崎町に生まれた。大学を卒業してのち、彼は、それまで問題にもされなかった民衆の生活とその文化を研究し、日本民俗学の基礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。

【テキスト】資料プリントを配布する。スライド・ビデオ等映像資料を使用する。

【参考書】牧田茂『柳田国男』(中公新書)・中村哲『柳田国男の思想』(法政大学出版局)・谷川健一『柳田国男の民俗学』(岩波新書)。

授 業 計 画

講義の概要

1. 生いたち

- ・「日本一小さい家」-----松岡家の一つの不幸
- ・利根川畔・布川・徳満寺絵馬の衝撃

2. 就学と詩人松岡国男

- ・伊良岬への旅と島崎藤村『椰子の実』

3. 民俗学の夜明け

- ・農政学から民俗学へ——『後狩詞記』と『遠野物語』

4. 官界から言論界へ

- ・旅と学問-----大正デモクラシーと民衆文化の発掘

5. 日本民俗学の確立

- ・『海上の道』——壮大なる仮説

6. 柳田の学問と思想は「近代」を超えることができるか。

【評価方法】定期試験時の筆記試験による。配布プリント・ノート・参考書等参照可。

●2002年度シラバス変更(2)

【授業科目】 人物研究Ⅲ (有島武郎)	【担当者】 高原二郎
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎(ありしまたけお、1878-1923)という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見つめ、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見つめ「新たな人間らしい文明」を求め続けた有島。ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺(心中) = 挫折(玉砕)」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。	
<p>【参考書】 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』(右文書院) 高原二郎著『人と作品・有島武郎』(清水書院)</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> ① 「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。 ② 「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信 ③ 「家」と「国家」——反抗と訣別 2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> ① 「アメリカ=巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧 ② キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成 ③ 中世ヨーロッパと「自由なコンミュニオン」への憧れ 3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> ① 芸術・思想・革命・自由 ② 農場解放の理想と現実 ③ 恋愛と死 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、(予備知識が全く無くても)分かるはずである。大切なことは「知識」や「結論」ではない。興味を持つこと、考えること。有島を通して、諸君の中に「人間」への問題意識を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験(ノート等、何でも参照可)。講義に基づいて書く形式。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 情報科学（情報処理入門）	【担当者】 宮武 直樹
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>教養科の学生を対象に、やさしい情報科学として情報科学に関する基礎知識を習得させることと、実際にコンピュータを作動させることによって、情報科学をより一層理解させるための講義である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報科学とは新しい学問で、まだ十分に体系化されているとはいえない。情報科学の生い立ちを見ると、コンピュータの出現と期を同じくしていることから、コンピュータとは大いに関係があると考えられる。しかし、情報科学が即コンピュータ科学であるというのは正しくない。情報科学に関する基礎知識を論じたい。</p> <p>(2) 情報処理実習について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの構成と操作方法 2. 日本語ワープロ、Wordの基本操作（3級程度の文書作成） 3. 表や罫線を使う文書作成（2級程度の文書作成） 4. 図形や段組を使う文書作成（1級程度の文書作成） 5. 表計算機能の使い方 6. 作図機能の使い方 7. 表計算ソフト、Excelの基本操作 8. 成績表の作成 9. 各種の成績グラフの作成 10. 成績に関するデータベースの作成 11. 学内ネットワークへの接続と電子メールにつ 12. 電子メールの送受信 13. 簡単なホームページの作成 14. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】 コンピュータ基礎演習	【担当者】 宮武 直樹
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>最近のパソコン、ワープロ機器の普及はめざましいものである。この情報化社会の素養として、コンピュータの仕組み、操作からワープロ、表計算、図形処理、ネットワーク利用までの基礎を学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>〔授業計画〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの構成と操作方法 2. 日本語ワープロ、Word の基本操作（3 級程度の文書作成） 3. 表や罫線を使う文書作成（2 級程度の文書作成） 4. 図形や段組を使う文書作成（1 級程度の文書作成） 5. 表計算機能の使い方 6. 作図機能の使い方 7. 表計算ソフト、Excel の基本操作 8. 成績表の作成 9. 各種の成績グラフの作成 10. 成績に関するデータベースの作成 11. 学内ネットワークへの接続と電子メールについて 12. 電子メールの送受信 13. 簡単なホームページの作成 14. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】言語とコミュニケーション	【担当者】佐々 加代子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子、コミュニケーション能力弱者のQOL援助、犀書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、子どもからの贈りもの、発達臨床相談</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語の特性 2. コミュニケーションにおける言語 3. コミュニケーションの基本的過程 <ul style="list-style-type: none"> ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離—信号行動系 4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた 5. 対象児・者別によるコミュニケーション関係 <ul style="list-style-type: none"> 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人 6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容 7. 両者の関係とQOL 8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと <ul style="list-style-type: none"> ここでの1—8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。 	
<p>【評価方法】平常点を重視する。</p> <p>最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】 外国語Ⅰ・Ⅱ (英語)	【担当者】 川口 淑子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語で書かれた作品の講読を通し、読解力の向上と応用できる知識を増やすことを目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>R・カーヴァー著『レモンド・カーヴァー短編集』(鶴見書店、1000円)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の著名な作家の作品を講読することになるが、訳読のみでなく、作品の背景にある文化や習慣、あるいは自然な会話表現などを学ぶ機会としてもらいたい。</p> <p>授業では講読が中心となるが、リスニングや基本的なスピーキングを取り入れ、多角的な取り組みを予定している。</p> <p>作品を楽しみながら幅広い知識を身につけることを目的とするので、積極的な参加を期待する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常的及び学期末試験から総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 外国語 I・II (中国語)

【担当者】 陳 志華

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

この授業は、①中国語の発音、②中国語の文法、③中国語の日常会話、④簡単な中国語文章の読みかきを身につけることを目標とします。

【テキスト】

必要に応じて指示します。

【参考書】

必要に応じて紹介します。

授 業 計 画

1. 中国語の発音と簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、対話する練習を積み重ねていきます。
2. 現代中国の生活と文化を学ぶながら、中国語の教養を深めます。

【評価方法】

平常点 (出席、小テストなど) と期末テストで評価します。

【授業科目】 外国語 I・II (独語)	【担当者】 今野 礼子
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>初級ドイツ語の総合的な力(聞く、話す、読む、書く力)を身につけるとともに、ドイツ語圏の人々の生活、習慣、文化についても広く学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】 Neue Konversationsgrammatik (ビデオで学ぶ新しいコミュニケーションのドイツ語 一体験・発見・実践一) 朝日出版社</p>	
<p>【参考書】 必要な場合、授業時に指示。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回の授業で行う内容は、主として以下のとおり。</p> <p>《コミュニケーションの演習》</p> <p>日常表現や旅行時の表現に焦点をしばり、主に教科書の課題に沿ってペアーやグループでの会話練習を行う。「よく聞き、よく話す」練習を積みかさねながら、ドイツ語の音やリズム、基本的な言い回しに慣れ親しむことが目標。</p> <p>《文法の演習》</p> <p>初級文法の習得を段階的に進める。</p> <p>ドイツ語を一步一步確実に習得するために、上のコミュニケーションと関連づけて文法の練習を進めるのはもちろんのこと、その他、易しい読解や独作文の練習なども行う。</p> <p>《ドイツ語圏情報の紹介》</p> <p>ドイツ語を公用語とする地域の人々の生活、習慣、社会、文化などに関して、随時、具体的なテーマを定め、簡略な情報を分かち合う。音楽 CD や映画ビデオなどの鑑賞も計画している。言語の背景にある「お国がら」への理解を深めるなかで、受講者各自が異文化との対話を楽しみ、さらには日本との比較などをも試みることを期待したい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>前期・後期試験や小テストの成績、出席等を総合して評価する。</p>	

【授業科目】 外国語 I・II (仏語)	【担当者】 村山 知恵
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 英語は苦手だなと思っていた皆さんでも、初めて学ぶフランス語から、英語が好きになるかもしれません。日本に溢れているフランス語が少しでも分かると、フランス人にボンジュールの一言もかけたくになります。楽しみながらフランス語の基礎が修得できるように教材を選びました。</p>	
<p>【テキスト】 「モン・フランセ (Mon Français)」 : 数藤ゆきえ、酒井由紀代著 駿河台出版社</p>	
<p>【参考書】 フランス語辞典</p>	
授 業 計 画	
<p>英語とフランス語は、同じアルファベットを使い、文法もよく似ています。発音だけは全然違います。</p> <p>前期には、発音を中心に英語とは違うフランス語モードを修得していきましょう。</p> <p>後期には、実は中学生のころに初めて習った英語の文法と同じ文法でフランス語を習得していきましょう。難しく感じた英語の文法が、なんだこんなことだったのかって分かる喜びもまた格別でしょう。2年生になったとき、楽しくフランス語の本が読めるようになっていると最高です。</p>	
<p>【評価方法】 前期、後期とも、最終授業での試験</p>	

【授業科目】 海外語学研修	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 1. 英語を現地で体験して英語力を身につける。 2. 英語を通じてコミュニケーションの意味を理解する。	
【テキスト】 必要に応じて指示する。	
----- 【参考書】 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
<p>イギリスはリーズ市にあるメトロポリタン大学の語学センターで3週間のプログラムに参加する。その間の生活はホームステイ。ウィークデイは1日2コマの英語の授業があり、現地の教員が懇切丁寧に指導する。</p> <p>また世界中から集まる学生達とスポーツやパーティをする機会もあり、英語圏だけでなく、視野を世界に広げることできるだろう。週末には近くにある有名な史跡などを訪ね、イギリスの歴史や文化に親しめる。ロンドン観光を含めて約4週間のイギリス滞在は、英語の見方を変えてくれるだろう。</p> <p>出発に向けて、前期に5回事前指導を行い、パスポートの取得から渡航手続き、現地での生活の仕方、簡単なサバイバル英会話まで指導します。</p> <p>【予定】 (多少変わるところもあります)</p> <p>8月3日 (土) 成田出発、アムステルダム経由でリーズへ (ホームステイ先へ)</p> <p>8月5日 (月) ~ 23日 (金)</p> <p style="padding-left: 2em;">リーズ・メトロポリタン大学での語学研修</p> <p style="padding-left: 2em;">*午後・休日に課外活動</p> <p style="padding-left: 4em;">ヨーク・ウインダムミア (湖水地方：ピーターラビットの故郷)</p> <p style="padding-left: 4em;">ハワース (嵐が丘：ブロンテのルーツ)</p> <p>8月23日 (金) ロンドンへ</p> <p style="padding-left: 2em;">~26日 (月) ロンドン滞在</p> <p>8月26日 (月) アムステルダムへ</p> <p style="padding-left: 2em;">*アンネの家訪問等</p> <p>8月27日 (火) アムステルダム発</p> <p>8月28日 (水) 成田着</p>	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点 (出欠、予習、質問、意見発表など) とレポートで行う。	

【授業科目】 選択外国語：英会話（基礎）	【担当者】 サラ・ブロック
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>基本英語を復習し、使えるようにする。 自分のアイデアや意見が言えるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントと英語通信</p>	
<p>【参考書】 英和・和英辞典・電子辞書の本でも可</p>	
授 業 計 画	
<p>前「場面」に合せた文法や会話エクササイズ 期 (Drill-style conversations, variations)</p> <p>「自分」の会話をモデル会話をベースにして作り、書きだして保存する</p> <p>「発表」：×もった会話を再現し、スキットにして皆の前でやる（ポアード）</p> <p>後 自分の会話＝決まった質問リストから自由に 期 選択して相手に聞き、その返事によって自分の質問を作って、インタビュー形式になれてくる。</p>	
<p>【評価方法】 (前期)：先生の前でポアードの会話発表 (後期)：先生をインタビュするか、先生にインタビュされるかの選択できるテスト</p>	

●2002年度シラバス変更(3)

【授業科目】 選択外国語：ビジネス英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 1年 前期	
<p>[授業目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なビジネス英語を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。 3. 上記を通して21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。 	
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 ビジネスに必要なさまざまな形式の英文を使って、チャンク毎に文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 2. 国際的なビジネス問題の理解 現代世界の経済や政治など時事問題などの英語教材を用いて広い視野で学び、世界のビジネスにおける文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 3. 音声訓練 ビジネスで使う基本的な英会話のパターンに慣れるように音声教材を使いながら、練習をする。 4. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、対話や会議で用いる英語を音声で表現できる力をつける。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスに必要な平易なE-mailの英文の読み方、書き方を学び、実際に送受信してみる。 2. 保育、福祉、一般事務などさまざまな分野の実務的な英会話の基本を学び、訓練する。 3. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 4. 語句や意味の奥にある意味や発想の仕方を理解しながら外国人とのビジネスにおいて基本的に重要なコミュニケーションや異文化理解の方法を学ぶ。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 	
<p>[評価方法]</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点と小テスト、レポートおよび期末テストなどで総合的に評価する。</p>	

●2002年度シラバス変更(5)

【授業科目】 選択外国語：時事英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活、文化、環境、心理、保育、福祉問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、今後の社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて幅広い人間的な力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 4. 時事英語の英文を用いて速読に慣れるようにする。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造をチャンク毎に理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができる文章の内容理解の方法を学ぶ。 2. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、心理、保育、福祉、平和問題などを取りあげた英語教材を用いて、世界の多くの文化や歴史的背景を理解できる中広い視野を身につける。 3. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような対話練習を行い、重要表現を習得して、音声による自己表現力もつける。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ、英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. 英字新聞やインターネットでの英文を読解するためのルールを身につける。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 6. 自分でインターネットを使って英文ニュースを作ったり、自己表現文を作って実践的な英語力を身につける。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語：異文化コミュニケーション	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
----- 【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 * 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

[授業科目名] 造形美術とイマジネーション	[担当者] 八木 紘一郎
[開講期] 後期	
<p>[授業目標]</p> <p>イマジネーション(想像)をめぐる営みに、造形美術がどのような意味と働きをもっているのかを、実際の事例を通して考えながらイマジネーションの理解と造形美術そのものの理解を深めることを目的にする。</p>	
[テキスト・参考書]	
授 業 計 画	
<p>1) 対象認識の方法としてのイマジネーション 子どもの絵や、太古の時代の洞窟壁画など、具体的な造形美術作品を通して、表現者がイマジネーションをはたらかせてどう対象を捉えようとしているかを具体的に考えてみる。</p> <p>2) アイデアや夢や理想を生み出す方法としてのイマジネーション 創造的な活動に欠かせない豊かなイマジネーションを繰り広げる際に目に見える造形物が果たす役割について理解する。創造的思考の方法である。</p> <p>3) 共生的な人間関係をつくる方法としてのイマジネーション 互いの意思を的確に伝達交流には、イマジネーションを働かせる必要はもちろんだが、そのためには見えない、形のない互いの意思をできるだけ見えるようにする方法として造形美術を活用する知恵を考える。造形美術のコミュニケーションツールとしての側面を探る。</p> <p>4) イマジネーションの産物 乗り物・建築などを通してイマジネーションのはたらきを探る。</p> <p>5) 使用する造形素材がイマジネーションの仕方を左右する 粘土・紙・描画材・ブロックや積み木・空き箱などの廃材 描画材の違いによるイマジネーションの仕方への影響</p> <p>6) リアリティについて 進化するデジタル機器を道具にして広がるイマジネーション世界における現実性、本質性といったリアリティの問題について、目に見える造形美術を通して考える。</p>	
<p>[評価方法]</p> <p style="text-align: center;">平常点</p>	

【授業科目】 手話入門	【担当者】 細田 恵子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>初級程度の手話技能を修得し、聴覚障害者の生活等を知らねば よて自分の内面を見つめる一助とする。かつ、障害者と共生できる行動作 りにはどう関わっていくかを模索する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>そのつとプリントを配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. まず聴覚障害をもつ講師との意思疎通を図る方法について 2. 挨拶、自己紹介などの日常よく使用する手話を学ぶ。 3. 聴覚障害問題について学ぶ。 4. 聴覚障害とはどのような障害なのかを実体験する(擬似体験) 5. 聴覚障害者と健聴者が共生していくためにはどうしたらいいかの話し合う。もしくは卒業後、どう生かしていくかについて話し合う。 <p style="text-align: center;">(授業で学んだこと)</p> <p>※ 毎回レポート提出していただきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと授業態度により評価。</p>	

●2002年度シラバス変更(4)

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期 / 1年後期	
<p>【授業目標】 文学作品とは何か、この大きなテーマを作者、テキスト、読者の観点から眺めてみる。 そしてフィクションが生身の人間にどう作用するのかを考えてみよう。</p>	
<p>【テキスト】 プリントを使って講義する。</p>	
<p>【参考書】 必要に応じて講義の中で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品を読むのも人間ならば、その作品を生み出したのも人間である。そして、多くの場合、登場「人物」または主「人」公と呼ばれる存在も人間だ。従って、それらの誰もが「わたし」という思いを持っている。この「わたし」という得体も知れない存在を捉えることからこの講義を始めていく。</p> <p>はじめに「日記」を書いてみよう。これは事実あったこととそれに対する思いだ。もしも未来の日記を書くとしたら、それはフィクションということになってくる。フィクションは願望なのだろうか……？</p> <p>こんなふうに話を進めながら、文学作品(テキスト)と作者、文学作品と読者の関係を紐解いていく。話を具体的にするために、O・ヘンリの短編小説「賢者の贈り物」を細部にこだわりながら読みつつ、次の順で講義を進めていく。</p> <p>「わたし」と他者 視点・語り手 作品内空間(時間、場所) 人物描写(登場人物の性格) プロット(語り手の選択) 物語の蓋然性・フィクション 歴史的背景と作者 テキストと読者(印象批評) 批評と文学史 この世はフィクション?(メタ・フィクション) 「わたし」を構成する他者の言葉・乱読の勧め</p> <p>講義のあと文学作品の読み方がどう変わったか、自分の好きな作品を題材にしてレポートを書いてもらう。</p>	
<p>【評価方法】 レポートに出席点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】話言葉の伝承	【担当者】東 喜 望
【開講期】1年 前期 または 後期 (前期と同じ内容)	
【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち、口づてに話言葉によって語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。日本・沖縄奄美・東南アジアの説話を事例としながら大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。	
【テキスト】『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊) 他に資料プリント配布・スライド等映像資料上映。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p><u>講義の概要</u></p> <p>1. <u>序</u> — (1)人文科学の方法 (2)「わが国をニッポンというのはなぜか。」 — 背後に存在する国家「神話」(3)国号と環太平洋の太陽神話。</p> <p>2. 「神話」・「伝説」・「昔話」とは何か。</p> <p>3. <u>説話伝承の起源</u> (1)自然と人間の意識 (2)信仰と「語り」— 個人・ムラ、レベルから国家レベルへ。 (3)神話の発展— 伝説・昔話へ。</p> <p>4. <u>伝承文芸の現代的意義</u></p>	
【評価方法】定期試験時の筆記試験。(テキスト・ノート等参照可)	

【授業科目】 絵本・絵巻と物語表現	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 前期 金 3	
<p>【授業目標】</p> <p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの＜交響＞が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす＜交響＞が成り立つのか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に指示</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 次ような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻などを例に 2, 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に 3, お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』などを例に 4, 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『はらぺこあおむし』などを例に 5, 紙芝居 6, アニメーション 高畑・宮崎作品を例に <p>II 上記 I を通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵の視座・物語の視座 2, 絵の空間表現・物語の空間表現 3, 絵の時間表現・物語の時間表現 4, 見聞く人の位置と語り手の位置 <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, 絵・ことばの響き合いについて 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 源氏物語の世界	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、<どう生きるか>に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部に囚われず、『源氏物語』が、すごいことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>【参考書】 大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語： 瀬戸内寂聴・田辺聖子・円地文子・谷崎潤一郎・与謝野晶子 橋本治『窠変源氏物語』 源氏物語絵巻・アニメその他のビデオ etc</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1, 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。 2, 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。 3, 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対する女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。 4, 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③浮舟 etc について、それぞれの人物像を探っていく。 5, 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が天皇のようなそうでもないような地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとっていったい何が重要なことなのか、考えたい。 6, 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。 7, 源氏物語の笑いについて考える。 8, 物語表現の美しさについて考える。 9, 源氏物語の古代性と現代性について考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 比較文化論・近代文明と日本人	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">ペリーの黒船が来て、日本が「開国」してから、およそ150年。 僕は今、53歳。……もう、ペリー以後の歴史の1/3を生きてしまっている！ 「日本の近代」は本当に短い！</p> <p>この150年間、日本人は、欧米の「近代文明」と向き合い苦闘し、その中に呑み込まれてきた。 <u>諸君の生きている「今」も、諸君自身の「人生」も、その文化過程の中に存在している。</u> 「近代文明と日本人」を考えることは、我々が生きている「この、今の日本」を考えることだ。</p> <p>本講では、明治期にアメリカ・ヨーロッパに渡り、「近代文明」との緊張に満ちた出会いを体験した人々を紹介しながら、上記の問題に迫って生きたい。</p>	
【テキスト】 教科書は用いない。必要に応じ、プリントを用意する。	
<p>【参考書】 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカー（どこでもない所）への旅』（右文書院・刊）。 本学図書館にもあります。近所の公立図書館に、どしどしリクエストしよう！</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、 諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「最近150年の日本」をどう見るか。 <ol style="list-style-type: none"> ① 日本の歴史の中でも、8世紀前後と同じくらい「奇妙な時代」。 ② 「巨大な文明」と向きあうこと。 <ol style="list-style-type: none"> a 憧れと恐怖 b 「英語帝国主義」と日本人。 2 「国家的使命感」の中で出会う「近代文明」——「鹿鳴館世代」の欧米体験。 <ol style="list-style-type: none"> ① 内村鑑三・新渡戸稲造とアメリカ ② 森鷗外と「ドイツ帝国」 3 「個人」として出会う「近代文明」——夏目漱石と「日露戦争世代」の欧米体験。 <ol style="list-style-type: none"> ① 夏目漱石のイギリスと、有島武郎のアメリカ ② 日露戦争世代と「古きヨーロッパ」の発見 <ol style="list-style-type: none"> a 永井荷風と「ふらんす」 b 有島武郎と「ゴシック・中世ヨーロッパ」 4 「岡倉天心」という巨人 <ol style="list-style-type: none"> ① 「中国は二つ」——システムとしての文明 ② 「アジアは一つ」——西欧文明を相対化するシステム ③ インドとアメリカ——「日本＝現実」からの亡命先 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば（予備知識が全く無くても）分かるはずである。 大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、 最初はメモの要点も指示しながら進める。</p> <p>大切なことは「知識」や「結論」ではない。 自分自身の「現在」を、大きな「場」の中に置いて考えることだ。 諸君の中に、こうした「自分自身への問題意識」を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。 しっかりノートをとっておくこと。出席点を加味して、総合的に評価する。	

●2002年度シラバス変更(1)

【授業科目】 近現代の日本文学	【担当者】 高原二郎
【開講期】 1年・前期	
<p>【授業目標】</p> <p>近現代の歴史の流れの中で、文学はどのように責任を果たそうと努めてきたか、現実社会の困難な課題にどのように対応してきたのか。ここでは明治・大正・昭和(戦前・戦後)に渉る重い課題をいくつかとり上げ、作品理解をテコにしてそれぞれの課題について考える。</p> <p>出席者ひとりひとりの心が、どれかひとつの課題に衝突することを以って目標とする。なお、文学史的な流れは展開の中で触れる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>用いない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>展開の中で示すことはあるが、特に指定しない。「読書」は義務とはしない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>ひとまず以下の項目を用意するが、羅列的な講義はしない。出席者の興味・問題意識等を自由に出してもらって、自由に話がかけ巡って飛躍してくればありがたい。疑問、珍問、愚問の中から自分なりの心の衝突が生まれて欲しいのであって、講義はそのためのネタ提供と考えて欲しい。</p> <p>(1)開化と西洋－夏目漱石・永井荷風・有島武郎・高村光太郎 (2)個人・エゴとヒューマニズム－夏目漱石・武者小路実篤・志賀直哉・芥川龍之介 (3)大逆事件と人間－石川啄木・有島武郎 (4)愛と人間苦－自然主義・私小説・有島武郎・太宰治 (5)自然と人間－国木田独歩・有島武郎・宮沢賢治 (6)制度と人間－労働運動と文学 (7)伝統と近代－谷崎潤一郎・川端康成・「近代の超克」(→桑原武夫) (8)科学と人間(戦争と文学)－高村光太郎・峠三吉・井伏鱒二 (9)疎外と人間－石牟礼道子</p> <p>ノートは各項目の中の問題点を中心に要点をメモできるように配慮するが、各自の思考のひらめきによるメモにも期待したい。(項目すべてを消化するとは限らない)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、課題に取り組んで記述テスト。従って普段の展開の中で、何が面白いのか、注視して、できれば整理もつけていって、学期末にそのまま書き出せるようにするとよい。出席点はむろん評価する。</p>	

【授業科目】現代英米の文学	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】 20世紀以降のイギリス、アメリカの文学作品を分析しながら読み、時には文学の歴史や過去の作品との関係に照らし合わせながらその特徴を引き出し、イギリス、アメリカそれぞれの国民性を理解する。</p>	
<p>【テキスト】 プリント</p>	
<p>【参考書】 授業内で指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>イギリス文学を6回、アメリカ文学を6回、それぞれ具体的な作品を取り上げて分析的に読み込んでみる。その上で、それぞれの作品が出てくる社会的歴史的背景を考え、大きな英米の歴史、文学史を浮かび上がらせる。以下のような順番で講義していくので、できるだけ多くの作品に触れて欲しい。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』 イギリス第2回 D.H.ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第3回 コンラッド『闇の奥』 イギリス第4回 サマセット・モーム『お菓子とビール』 イギリス第5回 グレアム・グリーン『情事の終わり』 イギリス第6回 カズオ・イシグロ『日の名残り』 アメリカ第1回 ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第2回 フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』 アメリカ第3回 ヘミングウェイ『日はまた昇る』 アメリカ第4回 スタインベック『怒りの葡萄』 アメリカ第5回 フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』</p> <p>レポートのため、英米それぞれ最低1冊ずつ読んでおくこと。</p>	
<p>【評価方法】 レポート</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。	
【テキスト】 「児童文学を英語で読む」 (岩波ジュニア新書)	
【参考書】 「英米児童文学の系譜」 こびあん書房	
授 業 計 画	
1. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 2. 作品例として 1) 「不思議の国のアリス」 (イギリス) 2) 「あしながおじさん」 (アメリカ) 3) 「グリム童話」 (ドイツ) 4) 「絵のない絵本」 (デンマーク) など	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点 (出欠、予習、質問、意見発表など) とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 考古学の世界	【担当者】 田中 禎昭
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>近年、日本の考古学は、日本の古代社会のイメージをどのように塗り替えてきたのか。弥生時代から奈良時代にかけての長期にわたる「国家形成期」に時期設定し、新たな考古学の理論・方法を紹介しつつ、黎明期の日本社会の諸相を探求していく。</p>	
<p>【テキスト】 授業時にプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 大塚初重・白石太一郎他編『考古学による日本歴史』(全18冊)、雄山閣出版</p>	
授 業 計 画	
<p>近年、日本の考古学は、いわゆる弥生時代から奈良時代と呼ばれる時代について、多様なイメージを提起しつつある。また、この時期は、日本の古代国家形成期にあたるため、考古学の発掘成果が提供した具体的事例を基礎として、国家形成に関する新たな理論も提起され、活発に議論されるようになってきた。こうした考古学界の議論は、古代文献史学や文化人類学・国文学など、他分野の学問領域にも多大な影響を及ぼしている。授業では、最新の考古学の研究成果によって、日本における古代の国家と社会の諸相がどのように捉えられてきているのか、また、そこに孕まれている問題点はなんなのか、具体的素材を提示しながら考えてみたいと思う。</p> <p>考古学は、モノから考える学問と見られてきたため、人々の思想や意識、家族・親族関係などの人と人とのつながりといった問題は、従来、苦手な分野とされてきた。しかし、近年の研究は、様々な手法を援用しつつ、こうした問題にも積極的なアプローチが見られる。授業では、この中でも、考古学が明らかにする古代の婚姻・家族・親族の具体的な姿について、時間を割いて深く考えてみたいと思う。当面の授業計画は下記のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：序論—考古学の考え方と文献史学の考え方— 2：古代の「村」 <ol style="list-style-type: none"> ①弥生時代の環濠集落 ②古墳時代の村落と「豪族居館」 ③奈良時代の村落 <ol style="list-style-type: none"> (1)「計画村落」と条里制 (2)墨書土器が語る古代の「村」 (3)荘園図に描かれた「村」—考古学と文献史学の協業の成果 3：古代の婚姻と「家族」 <ol style="list-style-type: none"> ①考古学から見た「家父長制」と「双方制」 ②考古学から見た古代の婚姻のかたち ③考古学から見た年齢秩序 4：古代国家はどのようにして成立したのか <ol style="list-style-type: none"> ①初期国家論とその批判 ②英雄時代論とその批判 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験と平常点による総合評価。レポートを課す場合もある。</p>	

【授業科目】 国境を越える民俗学	【担当者】 東 喜 望
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らず、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では、古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に今年は、中国や東南アジアの島々、かつての日本の、「国境を越えて」生きた人々の生活を重視したい。	
【テキスト】 民俗事例の資料として、『沖繩・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)を使用する。	
【参考書】 適宜指示する。映像資料を使用する。	
授 業 計 画	
<h3>講義概要</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「伝承」「民俗」とは何か。 2. 西洋民俗学の発生・日本民俗学の発祥と展開 3. 自然と人類 4. 人類の智慧と技術と生活文化(食・住・衣) 5. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活) <ul style="list-style-type: none"> (1) 山人——日本の山人(マタギ・サンカなど)、ユーラシア大陸の遊牧民、中国・台湾・東南アジアの狩猟民 (2) 海人——日本の海人と家船・中国の蛋民・東南アジアの漂海民 6. 原初の定住生活——焼き畑農耕から稲作農耕へ。 7. ムラの形成とその基本構造 8. 村落祭祀と民俗行事など。 <p>まとめ——新たな「^カ結い」は可能か。-----「脱国家」の問題</p>	
【評価方法】 定期試験時の筆記試験。テキスト・配布プリント・ノート等参照可。(追再試験は参照不可。)	

【授業科目】 日本とアジアの近現代史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現在の日本とアジアの関係を考えるとき、近代以降の歴史的経緯は背景として重要である。韓国、中国の近隣諸国をはじめ、東南アジアの国々に対して、戦前の日本がどのような接し方をしたのか、そのことと日本の近代化とはどのような関係があるのか。これらについて、歴史事実を明らかにしながら検討するとともに、現在のアジアの中の日本の位置を確定していきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めなし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>近代化を開始した日本は、その当初から、琉球、台湾、朝鮮半島、そして中国に対して武力による侵略を行った。まだ国内の体制すら整備されていない段階から外に対して兵を送り出したのはなぜなのだろうか。明治維新直後の征韓論に象徴される対外膨張主義の検討からはじめ、最終的に東南アジア地域を含め、インドにまで占領地を拡げていった日本の行動について、その経過を明らかにする。そして、その過程でそれら国々との間にどのような関係ができ、それがまた、現在の日本とアジアとの関係にどのような影響を及ぼしているのかを検証したい。</p> <p>また、その間多くの人々がアジアとの直接的な関係を持ち、多くの悲劇に見舞われ、あるいは加害者としての立場に立ってしまった。その具体像についても、聞き取りや映像資料を用いてできる限り触れていきたい。</p> <p>おおむね以下のような内容で話を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇明治の始まりと「富国強兵」路線－植民地化の危機意識 ◇欧米列強の圧力と日本の選択－外へ外へと矛盾の転嫁 ◇征韓論と台湾出兵－何故、朝鮮半島、台湾への出兵なのか ◇福沢諭吉の果たした役割－「脱亜論」の影響力 ◇「一等国」日本の誕生－アジアへの足場＝韓国併合 ◇関東大震災の時に何が－アジア人に襲いかかる日本人 ◇中国大陸への積極政策－日本軍隊が残した爪痕 ◇大陸を目指す人々－満州移民と大陸の花嫁、そして残留孤児が ◇日本に連行されたアジア人－強制連行の記録は訴える ◇現在の、そしてこれからのアジアと日本の関係－何を語り継ぐか 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】近代女性史	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>昭和の歴史をジェンダーの視点から学び、戦争と平和・女性の解放等について考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>有斐閣選書『女の昭和史』</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>日本女性史を特に昭和の時代に中心をおいて学ぶ。女性にとって昭和という時代は「戦争と平和、進歩と反動がないまぜになりながら、女性が否応なしに社会とかかわりを持った時代」（『女の昭和史』初版あとがき）といえる。この時代の女性史を学ぶことによって戦争と平和の問題や戦後民主主義の発展のもとで女性たちがどのように社会参加を果たしてきたかなどを学ぶ。</p> <p>なお、当時女性たちがどのように戦争に動員されていったか、戦時下の女性の労働やくらしの様子、戦時下の子どもたちの様子など、戦争体験者のなまの声の聞き取りを課題に出す予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート(戦時体験の聞き取り)、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 社会福祉の考え方	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会における「社会福祉」とは何か。日本の社会福祉の特徴と問題点は何か。21世紀の日本型福祉国家はいかに改革されるのか。本講義は、歴史社会学の視点と国際比較の方法によって前述の諸問題を分析する。本講義は①現代日本における社会福祉の成立・発展過程、②日本の社会福祉諸制度の現状と問題点、③日本型福祉国家の特徴とゆくえ、についての理解を深めることを目標とする。本講義の受講によって、学生たちは現代社会における社会福祉の機能及び自分の人生への影響を、複眼的に考察するための基本知識・考え方及び分析能力を身につけることができる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『日本型福祉国家の形成と「十五年戦争」』ミネルヴァ書房、1998年。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>I 社会福祉に関する基礎概念 ①社会福祉／②社会保障／③社会保険／④公的扶助／⑤福祉国家／⑥社会政策</p> <p>II 社会福祉の成立発展の諸背景 ①産業構造・就業構造の変化／②労働運動・「社会主義」／③現代戦争 ④経済成長・富裕化／⑤少子高齢化・外国人の増加／⑥人権意識・価値意識の変化</p> <p>III 社会福祉の考え方 ①ナショナル・ミニマム論／②選別主義と普遍主義／③ノーマライゼーションの理念 ④「福祉生活の質」の考え／⑤最適福祉ミックス論／⑥分権化と参加</p> <p>IV 社会福祉諸制度の現状と問題点 ①公的年金保険制度の形成過程・現状・課題／②医療保険制度の形成過程・現状・課題／③生活保護制度の現状と問題点／④介護保険の現状・問題点／⑤日本の社会福祉制度政策における外国人の位置づけ</p> <p>V 総括 ①東アジアの福祉国家化と伝統文化との相乗・相剋 ②21世紀における日本型福祉国家のゆくえ</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①出席状況と②筆記試験（テキスト・配布資料・自筆ノート持ち込み可）</p>	

[授業科目]	家族福祉論	[担当者]	沖倉智美
[開講期]	1年 後期		
[授業目標]	<p>私たちの生活とその生活と重要な拠点としての家庭は、社会福祉と非常に関連性があります。少子高齢化を始めとした社会の変動は、家族にさまざまな影響を与えています。この授業では、実際の事例を紹介しながら、児童・障害者・高齢者等を含む家族のあり方を皆さんと一緒に考えます。</p>		
[テキスト]	授業中に随時資料プリントを配布する予定です。		
[参考書]	必要に応じて、授業中に紹介します。		
授 業 計 画			
<p>第 1回 ガイダンス (私たちの生活と社会福祉)</p> <p>第 2回 高齢者と家族 (高齢社会の現状と課題)</p> <p>第 3回 高齢者と家族 (施設福祉サービスの現場で)</p> <p>第 4回 高齢者と家族 (在宅福祉サービスの現場で)</p> <p>第 5回 子どもと家族 (少子化の現状と課題)</p> <p>第 6回 子どもと家族 (結婚と出産)</p> <p>第 7回 子どもと家族 (子育てと社会福祉)</p> <p>第 8回 障害者と家族 (家族の立場から)</p> <p>第 9回 障害者と家族 (当事者の立場から)</p> <p>第 10回 障害者と家族 (施設福祉サービスの現場から)</p> <p>第 11回 社会福祉サービスと家族</p> <p>第 12回 家族支援の社会化 (成年後見制度の現場から)</p> <p>第 13回 地域社会と家族</p> <p>第 14回 まとめ</p>			
[評価方法]	<p>期末にレポート課題を出しますが、授業中に提出してもらう小レポートの提出状況を勘案し、最終的な評価を決定します。</p>		

【授業科目】 地域の生活と家族	【担当者】 民秋 言
【開講期】 後期	
【授業目標】 私々人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなりに生まれ出、育ち、生活し、老年を送る。この家族は地域のなりにある。地域のあり方と大きく関わっている。	
【テキスト】 講義の中で必要に応じて指示する	
【参考書】 同 上	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のはたらき(機能) 3. 家族のなりの人間関係 (1) 夫婦関係 4. 同 上 (2) 親子関係 5. 同 上 (3) 近しい関係 6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度 7. 同 上 (2) 核家族と直系家族 8. 地域社会の変化・都市化 9. 地域のなりの生活・コミュニティ 10. 地域生活と家族のあり方 	
【評価方法】 100-100テストと出席点による	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点から捕らえ直し、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」・「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>今日、家族や女性を取り巻く社会的状況は大きく変化した。男女共同参画社会が志向され、男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー 2、 女性のライフサイクルの変化 3、 ジェンダー統計に見る現状と課題 4、 労働とジェンダー 5、 福祉とジェンダー 6、 女性と人権ードメスティックバイオレンスー 7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験(ノート、授業中の配布資料など参照可)、平常時の提出物、出席状況の総合評価。</p>	

【授業科目】女性労働の問題	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。(教養科2年「女性労働論」と同時開講)</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近代日本における女性労働の歩み 2、女性労働の現状と課題 3、女性労働と法 4、女性労働の国際比較 5、家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 現代社会と人権	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちを取り巻く社会の中で、まだまだ取り払われることなく横たわっている多くの問題、すなわち、不平等や差別、自由を束縛する圧力、暴力といったものについて、その原因を突き詰め、解決策を模索しようとする人権の問題に行き当たる。また、社会福祉の考え方や子どもの権利義護といった問題にも人権意識は欠かせない基本的要素である。しかし、人として生きる権利が人間すべてに生まれながらにそなわっているという考え方が成立したのは、実はそんなに古いことではない。そういった人権思想の歴史にも触れながら、現在の人権意識にかかわる問題を取り上げていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>日本弁護士連合会編『ところで、人権です』岩波ブックレット、など多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>人間として生きる権利を、すべての人が平等に生まれながらにして持っているという考え方がしっかり定着したのはいつかということになると、現在ですら不十分という答えになるかもしれないが、少なくともごく最近であることは確かである。この生存権保障が人権の基本であり、それは国民主権の成り立ちと密接な関係を持っている。また、平和の問題と相互保障的な関係にあるとも言える。この生存権の成り立ちを歴史的に突き止めることからはじめ、それがどのようにして現在の基本的人権の考え方に至ったかを明らかにする。その上で、現在の人権問題の不十分な点、平和との問題で解決しなければならない点、あるいは「知る権利」や環境権のような今日的な新しい権利の問題についても触れていく。</p> <p>以下のような柱立てで進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「人を殺しては何故いけないか」－素朴な疑問が人権意識の基本 ◇「万人対万人の戦争状態」－ホップズ『リヴァイアサン』は主張する ◇アメリカ「独立宣言」とフランス革命「人権宣言」－人権思想の源流 ◇人権としての団結権－「自由人の自由な連合」の主張 ◇社会保険から社会保障へ－「すべての者に人間たるに値する生活を」 ◇民族自決の原則－植民地の人権宣言 ◇女性解放運動と女性の人権－ウルストンクラフトの『エミール』批判 ◇「子どもの権利条約」への道－まずは子どもを育てる母親の権利から ◇平和的生存権の明文－日本国憲法の先駆性 ◇人権の国際化－世界人権宣言から国際人権規約へ 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】 憲法と私たち（日本国憲法）	【担当者】 松田 浩
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、日本国憲法の仕組みと働きの大枠を理解することを目標にします。みなさんがこれから市民として、職業人として生活していくうえで、最低限必要な憲法や法についての基本的な考え方を、この授業を通じて身につけて下さい。</p>	
<p>【テキスト】 無</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 さしあたり、芦部信喜『憲法』（岩波書店）。「面白い本」ではありませんが、日本国憲法についてのスタンダードな知識を得たい方は手にするといいでしょう。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、日本国憲法とは何か 2、日本国憲法の基本原則 3、国民主権・天皇制 4、平和主義 5、基本的人権総論 6、精神的自由権 7、経済的自由権 8、人身の自由・国務請求権・参政権 9、社会権 10、統治機構総論・国会 11、内閣・財政・地方自治 12、裁判所・違憲審査制 13、憲法改正 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席）と期末試験で評価</p>	

【授業科目】現代世界とマイノリティ	【担当者】中島好伸
【開講期】1年後期	
【授業目標】 アメリカにおいてマイノリティと言われる民族の現状や現在にいたる歴史的背景を理解し、それが文学作品でどう描かれているのかをしてみる。	
【テキスト】 プリント	
【参考書】 必要に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<p>アメリカには、マイノリティと呼ばれる少数民族が多数存在する。黒人すなわちアフリカ系アメリカ人、インディアンすなわちネイティブ・アメリカン、さらにはユダヤ系、中国系アメリカ人、そして日系。あるものは自らの土地を奪われ、そしてあるものは独自の文化を禁止された。またあるものは自主的にではあってもアメリカに渡ってきたために、同化政策ゆえに他者の言語を強制された。このような過去を持つマイノリティたちは、現代においてさまざまな問題を内に外に抱えていると言わざるを得ない。このような現代のマイノリティの状況や問題を以下のような順番で一つ一つ取り上げていく。そして、彼らマイノリティの描いた文学作品を見て、彼らの心にまで迫ってみよう。</p> <p>もちろんマイノリティの問題はアメリカに限ったことではない。民族紛争が多発していることからわかるように、マイノリティの問題は世界の問題である。そこで、アメリカからスタートして、世界のマイノリティまで視野を広げてみたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アフリカ系アメリカ人の歴史 2 1930年代から50年代の黒人小説 3 公民権運動内の性差別 4 19世紀のネイティブ・アメリカン史 5 インディアンの自然観 6 ユダヤ人の歴史とアウシュビッツ 7 アメリカのユダヤ人 8 中国系アメリカ人 9 日系アメリカ人 10 世界のマイノリティ 	
【評価方法】 レポート	

【授業科目】 現代の企業	【担当者】 市原 祐則
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の経済を支えている「企業＝会社」について、業種と会社、会社の存在基盤、会社の組織、会社と社員、社員意識と社員の責任——など 一般的知識を修得、会社と個人の関係につき 一定の識見を持つ、ことを目標にする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント・レジメを配布して行う</p>	
<p>【参考書】</p> <p>市原祐則著 就職活動のための「やさしい会社入門」(日経事業出版社)</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・産業界には業界があり、個々の会社は業界を構成している ・会社には大企業と中小企業、株式会社と有限会社などの区別がある ・会社員は働くことで会社を通じて社会に貢献し、自己を生かしている ・会社には部・課・係などの組織があり、所属により仕事の内容が違ふ ・会社は新卒者を採用して「若い感性」を経営に生かそうと努力している ・女性に優しい会社が増えていることの意味を考えよう ・会社の採用計画に対応するため、自己流の就職対策を立てる必要がある <p>などについて得た知識で、今すぐにも社長秘書として第一歩が踏み出せる「識見」を持ちたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小テスト……………60%</p> <p>期末レポート……………40%</p>	

【授業科目】 時事・社会特講	【担当者】 市原 祐則
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本経済の実力、産業界、会社の活動状況などについて基礎的な知識を修得、社会人として生きていくための常識を身に付けることで就職活動、会社選びをスムーズに行える能力獲得を目標にする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント・レジメを配布して行う</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>市原祐則著 就職活動のための「やさしい会社入門」(日経事業出版社)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済は世界第二位の実力だが、会社は構造改革を進めている ・好調な会社も業績不振の会社も共に生き残るため一生懸命 ・これから伸びる会社と不況対策に悩む会社を見分ける日を持ちたい ・会社が求める人物像と、新卒者が描く会社像との差を見極めよう 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小テスト.....60%</p> <p>期末レポート.....40%</p>	

【授業科目】 時事・社会特講	【担当者】 今井 博
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>マスメディア、特に新聞報道の実態を学び、新聞を読み、ニュースを追う楽しさを知ってもらい。具体的にホットなニュースを切りあげて解説する。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>担当：今井 博</p> <p>① 新聞はどのようにつくられるのか。一人前の記者はどのように育つのか。ニュースが集まり、締切りをむかえてその日の新聞が出来上がるまでを説明する。</p> <p>② 新聞は同じでは無い。各紙が日々取りあげるニュースは大同小異だが、その報道姿勢は微妙にちがう。実際のニュース報道はどのように違っているのかをみる。</p> <p>③ 国際報道における各メディアの姿勢の違いを検証する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中のレポート。</p>	

【授業科目】 時事・社会特講	【担当者】 小林 洋子
【開講期】 1 年 後 期	
【授業目標】 社会人、企業人として求められている人材を知り自己啓発していく方法を学ぶ	
【テキスト】 <p style="text-align: center;">プリント</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
1.最近の就職状況と社会的背景を知る 学生と社会人の違いを認識し、社会人の行動や責任について学習する 企業の組織とチームワークが仕事を進める上で重要なことを理解する 職業の選択と、企業側採用担当者の視点について知る 2.社会人としてのコミュニケーションの基本を習得する 交流分析によるエゴグラムで自画像を知り、自己改善の気づきにする 3.人の印象を作り出すものを考察し、自己表現の仕方を体得する 言語的・非言語的メッセージの読み方、伝え方を学ぶ 4.対話の基本である傾聴の技術を身につけ、対面コミュニケーションの実習をする 交流分析のストローク理論を理解し実践に結びつける	
【評価方法】 <p style="text-align: center;">出席状況、授業中の課題</p>	

【授業科目名】 家庭介護総論	【担当者】 関谷榮子、八木紘一郎 佐野英司、秋山治子
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>福祉の理念を理解するとともに、ヒューマンケアサービス（対面的対人援助サービス）に必要な技術、特に、家庭における介護の技術を学ぶ。家庭介護技術には、老人・障害者の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し、家族を含めた相談援助も含まれる。この授業では、これら家庭における介護を行なうに必要な知識と技術が習得できるように講義を進める。この授業と、「家庭介護演習」「家庭介護実習」を履修することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」得ることが出来る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業の始めに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、福祉理念とケアサービスの意義 2、サービス提供の基本視点 3、老人福祉の制度とサービス 4、障害者（児）福祉の制度とサービス 5、ホームヘルプサービス概論 6、ホームヘルパーの職業倫理 7、障害・疾病の理解（1） 8、高齢者、障害者（児）の心理 9、障害・疾病の理解（2） 10、高齢者、障害者（児）等の家族の理解 11、介護概論 12、相談援助とケア計画の方法 13、医学の基礎知識 I 14、在宅看護の基礎知識 I 15、住宅・福祉用具に関する知識 16、共感的理解と基本的態度の形成 17、リハビリテーション医療の基礎知識 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点及びレポートにより評価する。</p>	

【授業科目名】 家庭介護演習	【担当者】 森山 千賀子
【開講期】 1、2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヒューマンケアサービス（対面的対人援助）に必要な技術、特に、家庭における介護の技術を実際に学ぶ。</p> <p>この授業と、「家庭介護総論」「家庭介護実習」を履修することによって「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることが出来る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業の始めに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基礎介護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴等の生活の介護 ・ 肢体不自由者の歩行の介護 ・ 視覚障害者の歩行の介護 ・ ベッドメイキング ・ 緊急時の対応法 ・ 援助者の健康管理 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点及びレポートにより評価する。</p>	

【授業科目名】 家庭介護実習	【担当者】 西方 規恵 他
【開講期】 1、2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヒューマンケアサービス³（対面的対人援助）に必要な技術を、施設及び在宅介護の現場で実習する。</p> <p>この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を習得することによって「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることが出来る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業の始めに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>施設等における実技講習の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、施設介護の現場実習 2、在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者の家庭における在宅介護の同行訪問見学実習 3、在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点及びレポートにより評価する。</p>	

【授業科目名】 発達心理学 I	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>発達心理学 I は乳幼児期と児童期を対象とする。特に、その心理的発達の側面、知的発達、感情的・情緒的発達、社会性や自我の発達を、多くの実証的研究と知見をもとにたどって行く。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>武藤 隆・久保 ゆかり・遠藤 利彦著</p> <p>「発達心理学入門」 岩波書店</p>	
<p>【参考書】</p> <p>「発達心理学入門 I」 武藤・高橋・田島編 東京大学出版 「発達心理学への招待」 落合正之行他 サイエンス社</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児の知的世界 <ul style="list-style-type: none"> 乳児の基本的能力 乳児の世界の広がり 言語の獲得 2. ことばと認識 <ul style="list-style-type: none"> 記憶と思考の発達 さまざまな世界の認識の発達、拡大 3. 親子関係から仲間関係へ <ul style="list-style-type: none"> 愛着の成立と発展 親子関係と仲間関係のつながり 4. 情動の発生と自己の成長 <ul style="list-style-type: none"> 情動の発生 自己の発達と情動 自他の理解と自律性 5. 学校生活と対人関係の発達 <ul style="list-style-type: none"> 学校への移行 対人関係の発達と自我理解の進歩 6. 科学性の成長 <ul style="list-style-type: none"> 科学的思考の成立 社会についての理解の成立 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験にペーパーテストを行う。</p>	

【授業科目】 教育学概論	【担当者】 中嶋 みさき
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代の日本における子どもの問題の背後には、地域社会や家族のあり方の変化が指摘されている。その一例として、子どもの遊びの変化、育児不安や児童虐待などの問題をあげることができるだろう。</p> <p>それらは改めて近代以降の歴史の中で、「子育て」や制度的な「教育」のあり方に根本的な問いを投げかけている。この講義では、近代教育学にもとづき、教育的なものの方、考え方の基礎を学び、日本における「子育て」をテキストによりながら学習し、現代において「教育とはなにか」を考察できるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>太田堯『教育とはなにか』岩波新書</p>	
<p>【参考書】</p> <p>J・J・ルソー『エミール』岩波文庫</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のような流れで順次テーマをとりあげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近代における子どもの発見と自己教育の思想 2. 近代家族の成立とジェンダー問題 3. 日本における「子育て」 <p>等を予定しているが、受講者の関心により、内容が変更されることがある。</p> <p>講義形式の授業であるが、できるだけ学生のみなさんの問題関心に配慮して授業を進め、現代教育の諸問題とむきあうための手がかりを提供できるよう努力したい。講義内容に関する積極的な質問、意見、感想を期待している。</p> <p>上記に示したような資料の他、使用した資料などについては、随時時間内に指示する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席とレポートをもとにした総合的評価をおこなう。</p>	

【授業科目】 庶民の生活文化	【担当者】 高橋 徹
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのだろうか。戦後日本人の生活の歴史を理解し、また、みなさんが自分自身の生活についても、考えるきっかけを得ることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で紹介していきます。</p>	
授 業 計 画	
<p>生活文化といっても、「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、時代をたどりながら、テーマに沿った、古い映画や関連するドラマの一部分、ドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。</p> <p>テーマとしては、次のようなものを予定しています（資料の関係で、変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) イントロ～都市化と大衆文化の誕生 (2) 第二次世界大戦 (3) 戦後復興、民主主義、映画スター (4) 東京オリンピックと大阪万国博 (5) 相撲と野球 (6) 旅行と寅さん (7) テレビとアイドルの時代 (8) テレビゲーム、マンガ、アニメ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポート、期末試験をあわせて評価します。</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	【担当者】 先川 直子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 わが国の文化や風俗には若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションをつくりだしていくようになった。本講義ではその中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものに焦点を当てて、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
【テキスト】 使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史－近現代の移り変り－』（光生館）他 その他のものについては、テーマに応じて、必要な都度紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義を行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイカラさん－洋風の導入と和風との折衷－ 2. モダンガール 3. あこがれのアメリカ文化－自由で豊かな生活の象徴－ 4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> 団地の誕生と核家族の増加 家庭裁縫から既製服へ 3種の神器と3C－家電製品の普及－ インスタント食品の登場 5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論 6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> ミニスカート－街角から生まれた若者のファッション－ ジーンズ－労働着から反抗・反体制のシンボルへ－ 新人類文化とDCファッション ディスコ文化とボディコン・ギャル コギャル文化と携帯電話の普及 7. 大量生産・大量消費への反省－「もの」とどう向き合うか－ 8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点 	
<p>【評価方法】 学期末のレポート・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】 現代社会と教育	【担当者】 民 友 言
【開講期】 前 期	
【授業目標】 現代社会は、多様な相をみせ、大きく変化してきている。その ために私たちは生活する、充実した毎日を送るためには「教育」は欠か せない。本講では幼児教育(保育)に限定し、社会との切りわりを考えていく。	
【テキスト】 平成14年改訂 ハンドブック 教育・保育・福祉関係法令集 北大路書房	
【参考書】 講義の中で必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって「教育」はどのような意味をもつか 2. 乳幼児期の「教育」としての保育の意味 3. 現代社会の特徴 (1) 家族生活 4. 同 上 (2) 地域生活 5. 現代社会における保育の意味 (1) 幼稚園 6. 同 上 (2) 保育所 7. 同 上 (3) 学童保育所 8. 現代社会における「教育」 (1) 福祉と教育 9. 同 上 (2) 国際化と教育 	
【評価方法】 ペーパーテストと出席点による	

【授業科目】 博物館を学ぶ	【担当者】 柘植 信行
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>博物館は、私たちの生活や文化にどのような関わりをもっているのでしょうか。 ますます多様化する現代の博物館の現状を学びます。博物館の楽しさを発見し、 その仕事や学芸員の役割について一緒に考えましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義に必要な資料は、適時配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>博物館学シリーズ 1『博物館概論』[樹村房]</p>	
授 業 計 画	
<p>“博物館”てどんなところ？ 身近になった博物館—地域博物館の現状— 博物館いろいろ！ 都市型水族館、野外へ出る美術館、体験・体感の科学館 歴史と対話する博物館、平和を訴える博物館、テーマパーク 町ぐるみ博物館、エコミュージアム、デジタルミュージアム……</p> <p>博物館は生涯学習の舞台 博物館の出来るまで 博物館の施設と運営 学芸員の仕事 博物館ボランティアの活躍 “博物館資料”発見 展示は博物館の顔 特別展に挑戦 博物館でインターネット 博物館行こう。 何回か博物館や美術館に見学に行きます。</p>	
<p>【評価方法】 レポート・博物館見学感想文</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅰ（心のしくみ）	【担当者】 専任教員
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学という学問の歩みや基本的な考え方を学びます。また、これから勉強していく心理学の各分野を概観します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>----- 個々の授業の中で紹介します。 -----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 心理学の歴史と基本的立場-----金子</p> <p>2. 知覚心理学-----金子</p> <p>3. 実験心理学-----多喜乃</p> <p>4. 学習心理学-----荻野</p> <p>5. 発達心理学(青年心理学)-----林</p> <p>6. 人格心理学-----金</p> <p>7. 臨床心理学-----林</p> <p>8. 健康心理学-----金</p> <p>9. 生理心理学-----多喜乃</p> <p>10. 社会心理学-----倉澤</p> <p>11. 心理学の研究法-----荻野</p> <p>12. 心理学と社会-----倉澤</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ（性格と人間関係）	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 性格について、今日の心理学の見方を紹介します。	
【テキスト】 なし	
----- 【参考書】 随時紹介します。	
授 業 計 画	
<p>いろいろなタイプの人がありますね。 同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。 どうしてなのでしょうか。 なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経験を重視する (2) ものの見方を重視する (3) 過去の経験、特に幼児期の経験を重視する 2. 「血液型と性格」は？ 3. 今日の性格についての考え方 4. 人間関係について考える <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
【評価方法】 平常点、指定図書レポート、中間試験、期末レポートで評価します。	

【授業科目】 体の不思議	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1) 人間の身体と生命活動に対する知的探求心を喚起し、身体の特徴的なしくみと働き、外界との繋がりに関する基礎知識について理解させる。</p> <p>2) 自らの体の不思議さと巧みさを知ることによって、「生命活動の主体」として自分自身を認識する基盤を形成させる。</p>	
<p>【テキスト】 使用せず</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>菊池俊英：人間の生物学、理工学社、1976年。 香原姿勢：人類生物学入門、中公新書、1975年。 佐藤方彦：人間と気候、中公新書、1987年。 藤田紘一郎：共生の意味論、講談社ブルーバックス、1997年。 宮城重二：女性はなぜ長生きか、講談社ブルーバックス、1996年。ほか</p>	
授 業 計 画	
<p>今日、いじめや児童虐待、自殺、薬物使用、買春、売春など、他人や自分自身の生命及び健康、人権に関わる諸問題が社会的問題としてクローズアップされてきている。これらの背景には様々な事柄が考えられている。その1つとして「自他の体に対する尊厳の念が希薄で、自他の体や命を大切にするという意識が薄れているのではないか」という指摘もされている。</p> <p>教科目「体の不思議」では、人間の体の仕組みと働きの理解を通して、「ヒトの体の不思議さ」や「人間のからだのすばらしさ」に触れる。そして、人間の、自分自身や他人の生命や健康、人権の大切さについて考える契機とする。</p> <p>1 温度に対する恒常性</p> <p>1) ソウはなぜ水浴びをするか</p> <p>2) ヒトはなぜ汗をかくか</p> <p>3) ヒトはなぜ鳥肌が立つか</p> <p>2 気候と人類の適応</p> <p>1) らくだはなぜ砂漠に強いのか</p> <p>2) ヒトの体温はなぜ37℃か</p> <p>3) ヒトはなぜ人種によって体型が違うか</p> <p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <p>1) ヒトはなぜばい菌の中で生きていけるか</p> <p>2) 寄生虫が減ってアレルギーが増えたのはなぜか</p> <p>3) 心配事があるとなぜ胃が痛むのか</p> <p>4 男女の不思議</p> <p>1) 女性はなぜ長生きか</p> <p>2) なぜ男と女がいるの</p> <p>3) ヒトはなぜ異性を求めるか</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（2回のペーパーテスト。学習意欲と出席を重視する。）</p>	

【授業科目】 生物の世界と人間	【担当者】 吉川 研二
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 生物の命を育むのは地球の大気、水、土壌環境であり、その環境は生物の働きによって維持されている。地球上には多様な生物が生活している。この生物多様性の世界は長い時間をかけてつくられてきたものであり、多くの生物が様々な関係を持って共存している。ヒトも他の生物が存在することによって生きていけるのであって、生物のひとつひとつの命はかけがえのないものである。今、人間の活動が地球環境システムに急激な変化をおよぼしている。生物多様性にも危機が迫っている。私たちにできることはなんだろうか。生物の世界を知ることは自分の生き方を考え直すことにつながっている。	
【テキスト】 プリント等による。	
【参考書】 書籍、ビデオなど、授業中に適宜紹介する。	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境と生物 環境とは 生物と環境との相互作用 環境の変遷 ・生物多様性 種とは 多様性 種の進化 生物の分布 ・植物の世界 動物の世界 生産と消費 食べること 増えること 循環すること ・種間関係 植物と植物との関係 植物と動物との関係 動物と動物との関係 捕食 共生 寄生 共進化 ・種内関係 オスとメス 親と子 ・生物群集 食物網 ニッチ ・人間と生物 生態系 熱帯林の破壊 大気汚染 水汚染 土壌汚染 	
【評価方法】 平常点＋筆記試験	

【授業科目】 人間と環境	【担当者】 吉川 研二
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 海洋生物学者の Rachel L. Carson は、その著『Silent spring』の中で合成殺虫剤が生物の世界にもたらす危険性について警告した。その警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか。以来30年以上経ったが人工化学物質による環境汚染は地球規模で深刻さを増している。熱帯雨林など地球上の各所では多くの生物が絶滅の危機に直面している。環境の激変と種の消滅は、生態系の単純化につながりヒトの生存を危うくする。環境問題は地球レベルのものから、私たちひとりひとりの生活レベルのものまで深く考えることが必要である。	
【テキスト】 プリントなど	
【参考書】 授業中に適宜紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境とは 2. 生態系の構造と機能 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 生態系の構造 非生物的要素と生物群集 2.2 物質の循環とエネルギーの流れ 3. 地球環境汚染と生態系 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 環境ホルモン 食物連鎖 生物濃縮 3.2 森林の破壊 熱帯雨林 生物多様性 3.3 地球温暖化 温室効果ガス 温暖化の影響 3.4 水の汚染 酸性雨 陸水汚染 海洋汚染 3.5 オゾンホール フロン 紫外線と生物 4. 生活の中の環境問題 <ol style="list-style-type: none"> 4.1 資源量、消費量、廃棄物量 4.2 リサイクル 自然生態系と人工生態系 4.3 二つのエコ 4.4 環境倫理 	

【授業科目】生活と健康	【担当者】明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康の定義 ② 個人・集団の健康指標 ③ 健康の成立条件：疾病の成り立ちや疾病予防の段階・対策などの理解を通して考える 2. 高齢社会とわが国の健康水準 3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など） ②アレルギー疾患 ③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等） 4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> ① 食事 ② 運動 ③ 休養とストレス ④ 飲酒・喫煙の健康への影響について 5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について） 6. わが国の保健医療体制 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 生と死を考える	【担当者】 嶋根 久子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】人は死に直面した時、生きているという実感を一層強くもつと言われている。しかしながら、核家族化が進行するにつれて、寿命の飛躍的に伸び、加えて病院で死を迎える昨今、我々は死を体験する機会が非常に減少してしまっている。従って、この講義では、人の持つ「死体験」という能力をフルに活用して、充実した生を目指して、様々な角度から死について考えてみたいと思います。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】死の社会学(副田義也編)岩波書店、生と死を考へよ(A.ドゥーケン他)春秋社 死の瞬間(フェーアラース)読売新聞社、現代、死にふれて生よ。(R. J. リフトン)有信堂、 死とは何か(ウヰンゲル・ジンケルマン)青弓社</p>	
授 業 計 画	
<p>1) 死の諸相。 a. 病死、 b. 事故死、 c. 災害に於ける死、 d. 自死 e. 自然死</p> <p>2) 家族と看護、あるいは死の看取り a. 死の諸相=お家族への影響、 b. 子供の死 c. 親の死 d. 高齢者の死、 e. 配偶者の死</p> <p>3) 死者の年齢別にみた、残された家族の問題 a. 配偶者の死、 b. 子供の死、 c. 親の死、</p> <p>4) 死の受容の諸形態 a. 死にゆく人 b. 残された家族</p> <p>以上のテーマについて、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進めます。</p>	
<p>【評価方法】 主にレポート</p>	

【授業科目】	人間の生と性	【担当者】	浅井 春夫
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	性を明るく、おおらかに、そして科学的に語れる基礎的な力をつけてもらいたいと願っている。具体的には、①人間の性に関するミニマム・エッセンスを学ぶことを通して、性的自立と性的共生能力をはぐくんでいくことを大切にする。私たちが自分らしく、そしてお互いを大切に生きる上でどのような性行動を選択するかが問われているからである。②セクシュアル・マイノリティの人権の現実を学ぶ。性に関する偏見をなくしていくことは共生の重要な条件であるからである。③タイムリーな性に関する問題を討論できる場を設けたい。この時代に生きる一人ひとりの生と性を見つめ直す機会としたいからである。人間の生と性の科学的な理解と性をめぐる人間関係を真摯に学んでほしい。		
【テキスト】	浅井春夫『セクシュアル・ライツ入門』（十月舎、2000年、2500円）		
【参考書】	浅井春夫・伊藤悟・村瀬幸浩共編『日本の男はどこから来て、どこへ行くのか』（十月舎、2001年、2500円） 浅井春夫『子ども虐待の福祉学』（小学館、2002年、1800円）		
授 業 計 画			
<p>テキストをもとに以下のような計画をたてているが、タイムリーな問題を取りあげて講義することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本授業での問題意識と授業の運営についての共通確認 ② セクシュアリティに関する基本的な用語の説明 ③ マイノリティ（ゲイ、トランス・ジェンダー、インターセックス e t c）のセクシュアル・ライツ—いまも平然と行われる差別と偏見、それは性と政をめぐる問題 ④ 子どものセクシュアル・ライツの現状—わが国と世界の現実から— ⑤ 子どもの性的発達の特徴と性をはぐくむ課題—とくに男性形成の問題を考える ⑥ 性暴力の力学—ドメスティック・バイオレンスにみる女と男の関係学 ⑦ 恋愛のススメ—恋愛の発展プロセスを考える ⑧ 性器の生理学—男と女の性器はもとは同じだった！性器の構造を学ぶ。 ⑨ 性交の人間学—性交は人間にとって、二人の関係にとってどのような意味をもっているのか。二人の関係性を反映した性交の現実を考える。 ⑩ 生殖医療の最前線（体外授精、代理母など）をめぐる討論—あなたは賛成？反対？ ⑪ エイズの政治学—その南北問題としての側面 ⑫ セクシュアリティの過去・現在・未来—性の主体者として生きるために 			
<p>キーワード</p> <p>セクシュアル・ライツ（性的人権）、性における平和と平等、性の多様性、セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）、同性愛、トランス・ジェンダー、グラデーション</p>			
【評価方法】	定期試験		

【授業科目】 労働・健康特講	【担当者】 木元 稔
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯を通じて自立心と生きがいをもった生き方が期待されているが、精神的にもそのように明るく活力ある健全な心の豊かさを築くために、ボランティア、就労、健康づくり、余暇、生涯学習、経済金融、福祉相談などに関する幅広い情報提供の知識を学ぶ。</p> <p>また福祉援助学科の学生はパソコンを駆使する「生きがい情報士」の資格取得を目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>生きがい情報士養成テキスト1・2</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と生きがいづくり 2. 社会参加とボランティア 3. 就労と企業の中高年対策 4. 健康づくりと生活習慣病 5. 余暇と生涯学習 6. 経済金融相談と税金・年金 7. 食生活と運動・休養 8. 福祉ニーズと介護保険 9. 相談援助技術、集団参加援助技術、地域参加援助技術 10. 調査広報技術、イベント技術 11. ライフプラン技術 12. CD-ROMによるパソコン演習 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験により評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育（実技） ／バレーボール／ニュー・スポーツ	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年前期＋後期前半	
【授業目標】 身体運動やスポーツの体験を通して、自らの身体を実感的に意識させるとともに、健康に関する認識を深めさせたり体力を高めて、「健やかに生きる基盤」を形成することを旨とする。	
【テキスト】 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>	
【参考書】 西川 順之助：バレーボール、成美堂、1995年。 日本バレーボール協会：バレーボールルールブック、2002年度版	
授 業 計 画	
<p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。</p> <p>適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に継続して活動することが可能なスポーツである。また、ニュースポーツとして取り上げるいくつかのスポーツは誰にでも手軽に汗を流せる運動である。</p> <p>教養体育（実技）の授業では、これらの観点から将来にわたってスポーツや身体運動が継続できるように、楽しい授業や技術の向上がわかる授業、自ら活動し創り出す授業をめざす。</p> <p><u>バレーボール</u></p> <p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能：パスとトス、サーブとレシーブ、スパイクとブロッキング ・集団的技能：攻めと守りのフォーメーション、トスゲーム、3段攻撃、ルールづくり ・指導技術：技術指導法、体力トレーニング法、審判法 <p>授業の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体活動：共通課題の解決 ・グループ活動：班別課題の練習と解決、指導法、練習法の習得 ・ゲーム：練習成果の確認、新しい課題の発見、審判法の習得 <p><u>ニュースポーツ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットバードゴルフ ：バトミントンのシャトル様のボールをゴルフクラブで打って競う。 ・グランドゴルフ：ゴルフボールをゲートボール様のクラブで打って競う。 ・フリーテニス：テニスボールを卓球様の大判ラケットで打って競う。 ・カーリング：氷上カーリングを通常の床で可能にしたもの。 	
【評価方法】 平常試験（平常点、実技等）。活動意欲と参加体験（授業出席）を重視する。	

【授業科目】 教養体育（実技） / テニス	【担当者】 池森 隆虎
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主にダブルスのゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲームによる応用技術、戦術の獲得へと移行し、なるべく早い段階からゲームを行いルール、マナーの理解を深めたい。 後半はリーグ戦を行い、より高い技術、戦術の習得とテニスの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ラケット操作に慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) ストローク（フォアハンド&バックハンド）</p> <p>サービス（アンダー&オーバー）</p> <p>ボレー（ロー&ハイ）</p> <p>ロビング、スマッシュ等の基礎技術の練習</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義（応用技術獲得の手がかりとして）</p> <p>(1) ルール、コートマナー、エチケット及び試合の進め方について</p> <p>(2) ダブルスペアの決定</p> <p>4. ゲーム技術の習得（主にダブルスゲーム）</p> <p>(1) スポンジボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践（戦術、ポジション、コンビネーション）</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p> <p>*雨天時には、屋内において軽スポーツを行う場合があります。</p> <p>*ラケットは貸し出しますが、持参してもかまいません。</p>	
<p>【評価方法】 評価点（40点）…実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上（実習初回から終了までの過程における個人の上達度）、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点（60点）…欠席-10点、遅刻（15分まで）-5点、早退-5点</p> <p>なお、開講時間数の1/3以上、欠席がある場合には、単位の取得を認めない。</p>	

【授業科目】教養体育（実技） / バレーボール	【担当者】池森 隆虎
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>6人制のゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲーム、ソフトバレーボール等による応用技術、戦術の獲得へと移行し、早い段階からゲームを行い、ルール、ポジションの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、バレーボールの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ボールに慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) 基本動作の練習</p> <p style="padding-left: 40px;">レシーブ（オーバー&アンダー）、スパイク、サービス</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義（応用技術獲得の手がかりとして）</p> <p>(1) ルール、マナー及び試合の進め方について</p> <p>(2) 戦術、ポジショニングの反省</p> <p>4. ゲーム技術の習得（6人制）</p> <p>(1) ソフトバレーボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践（戦術、ポジション、コンビネーション）</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p>	
<p>【評価方法】評価点（40点）... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上（実習初回から終了までの過程における個人の上達度）、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点（60点）... 欠席-10点、遅刻（15分まで）-5点、早退-5点</p> <p>なお、開講時間数の1/3以上、欠席がある場合には、単位の取得を認めない。</p>	

【授業科目】 教養体育（講義）	【担当者】 池森 隆虎
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会における健康問題について幅広い知識を身につけ、氾濫する健康情報、流行に対して真偽を的確に判断する能力、それを活かすことのできる応用力を備えられるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>青年期の健康科学、鈴木 明、共栄出版株式会社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考図書、文献等は講義のなかで紹介していく。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. あなたの将来は？ —生活習慣病、骨粗鬆症等の予防と対策—</p> <p>2. 薬をじょうずに使いましょう。 —薬の有効な利用法、問題点—</p> <p>3. スマートな健康美人になろう！ —ダイエットの方法、問題点—</p> <p>4. 楽しい海外旅行をするために。 —海外での健康問題、安全対策—</p> <p>5. 他人事？エイズや性病について考えよう。 —性感染症の現状と予防—</p> <p>6. 人が苦しんでいます…。その時、あなたは何ができますか？ —応急処置法、ケガへの対応—</p> <p style="text-align: right;">（順不同）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>小レポート（不定期）および、試験</p>	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 海外語学研修	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 前期	
【授業目標】 1. 英語を現地で体験して英語力を身につける。 2. 英語を通じてコミュニケーションの意味を理解する。	
【テキスト】 必要に応じて指示する。	
----- 【参考書】 必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
<p>イギリスはリーズ市にあるメトロポリタン大学の語学センターで3週間のプログラムに参加する。その間の生活はホームステイ。ウィークデイは1日2コマの英語の授業があり、現地の教員が懇切丁寧に指導する。</p> <p>また世界中から集まる学生達とスポーツやパーティをする機会もあり、英語圏だけでなく、視野を世界に広げることできるだろう。週末には近くにある有名な史跡などを訪ね、イギリスの歴史や文化に親しめる。ロンドン観光を含めて約4週間のイギリス滞在は、英語の見方を変えてくれるだろう。</p> <p>出発に向けて、前期に5回事前指導を行い、パスポートの取得から渡航手続き、現地での生活の仕方、簡単なサバイバル英会話まで指導します。</p> <p>【予定】 (多少変わるところもあります)</p> <p>8月3日 (土) 成田出発、アムステルダム経由でリーズへ (ホームステイ先へ)</p> <p>8月5日 (月) ~ 23日 (金)</p> <p style="padding-left: 40px;">リーズ・メトロポリタン大学での語学研修</p> <p style="padding-left: 40px;">*午後・休日に課外活動</p> <p style="padding-left: 80px;">ヨーク・ウインダミア (湖水地方: ピーターラビットの故郷)</p> <p style="padding-left: 80px;">ハワース (嵐が丘: ブロンテのルーツ)</p> <p>8月23日 (金) ロンドンへ</p> <p style="padding-left: 20px;">~26日 (月) ロンドン滞在</p> <p>8月26日 (月) アムステルダムへ</p> <p style="padding-left: 40px;">*アンネの家訪問等</p> <p>8月27日 (火) アムステルダム発</p> <p>8月28日 (水) 成田着</p>	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点 (出欠、予習、質問、意見発表など) とレポートで行う。	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－１、２

【担当者】 藤田 久美子

【開講期】 ２年 前期・後期

【授業目標】

リスニングおよびリーディングを中心にして、英語の基本的技能を維持し、向上させていくことを目的とする。

【テキスト】 Why Is That? (金星堂)
— Background to American Culture —

【参考書】

授 業 計 画

今までの学習を通して培ってきたはずの英語の基礎知識を確認しながら、実際の場面でも活用できるコミュニケーション能力を、是非少しでも獲得できるような授業をしたいと思っている。

また、比較的易しい英文を読んで、短い時間で要点を押さえる練習をしていきたいと考えている。学生には是非毎回の積極的な参加をお願いしたいと思う。

【評価方法】

出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 長尾 主税
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聞き取りとそれを生かした読み解きを中心に、英語運用能力の向上をめざす。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>日本語の発音とは決定的に異なる英語のごく基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して、映画のシークエンスにおける会話の成立について学ぶ。</p> <p>さらに、平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ-1、2 (英語)	【担当者】 藤田 久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今までに培ってきた英語の基本的技能を、コミュニケーションな面を中心にバランスよく向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 News Watch (金星堂) — NHK BS English News Stories —</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>年間を通して、ビデオ教材を使って楽しくスムーズに、リスニングと内容理解の勉強を進めていきたい。テキストはビデオを見ての内容理解のための問題、書き取り、会話練習などで構成されている。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのニュースを扱っていて、出来れば1回の授業で一つのユニットというペースで進めていきたいので、学生は十分な予習の上、毎回の授業に出席してほしいと思う。</p> <p>* 授業の進め方</p> <p>ビデオを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題をやっていく。問題を皆で解決した後には、必ずどれかを提出してもらう。学生は“自分が主役”という気持ちでいつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらう練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度(発言、質問への応答)と共に、最後の成績の主なポイントとしたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ-1、2	【担当者】 清野 茂子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>グローバルな問題に対する市民によるNGOの取り組みが盛んになっています。様々な形で努力をしている人々のドラマから、自分の未来を見据えることを目標にしたい。</p>	
<p>【テキスト】 Taking Action on Global Issues ¥1800 三修社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>20のUnitから成り立っているので、受講者の希望で、どのUnitから読み出すかを決めていきたい。授業には、受身のスタイルでなく、積極的に参加して楽しんでほしい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末テスト、平常のテスト及び出席日数などを総合して決める。</p>	

[授業科目名] 選択語学II-1, 2 独語	[担当者] 田中 安行
[開講期] 2年前期・2年後期	
<p>[授業目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオを見ながらドイツ語の基礎の復習と簡単な会話、表現の仕方などを発展させる。 2. グリム童話やドイツ語の詩などを学びながらドイツ文化への理解と親しみを深める。 3. ドイツの社会や文化に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 	
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>使用教材等については開講時に説明する。</p>	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と表現—ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。 2. ドイツ語会話—会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。 3. ドイツ語の文構造理解—基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。 4. 文化理解—ドイツで作られたスライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。 5. 文章理解—辞書を使って、やさしいドイツ語の童話などを読んで、ドイツ語の文に慣れる。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。 3. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。 4. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動を行い、ドイツに対する正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気ですたした学習ができるようにする。 	
<p>[評価方法]</p> <p>学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ-1、2 (仏語)	【担当者】 村山 知恵
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>少しでもフランス語を学んだ人が、フランス語で文学作品と一緒に楽しみながら読み、歴史や文化に触れ、生きにくい現代社会を、私たちがどう生きていくか共に考えていければいいなと思っています。</p>	
<p>【テキスト】 「星の王子さま」 Le petit Prince : Antoine de Saint-Exupéry Edition Gallimard Jeunesse Collection Folio junior</p>	
<p>【参考書】 「知ってるつもり (星の王子さま)」等、ビデオ教材</p>	
授 業 計 画	
<p>1年を通して読む教材は「星の王子さま」にしました。全部を読むと言うことはせず、大切な箇所を抜粋して訳していきましょう。</p> <p>前期には、「星の王子さま」の背景を描いたビデオ、同時代のフランス映画などを鑑賞し、「星の王子さま」の時代的背景を学んでいきたいと思います。</p> <p>後期には、「星の王子さま」が現代に伝えたいことは何かを、共に考え探究したいと思います。現代のフランス映画も一緒に鑑賞しながら、暗く重くなりそうな現代をどう生きていくか考えられると嬉しいです。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各学期末にレポート</p>	

專門教育科目（2年）

【授業科目】教養演習Ⅱ	【担当者】東 喜 望
【開講期】2年前・後期	
【授業目標】昨年度のゼミを継承する。ただし、当初は学外研修にかかわる学習と研究を行う。 次いで、昨年残した課題をとりあげる。	
【テキスト】資料を配布する。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>1. <u>学外研修準備</u></p> <p>(1) 準備うちあわせ</p> <p>(2) 資料収集</p> <p>(3) 遺跡・歴史等学習</p> <p>2. <u>研究課題</u> — 桃太郎伝承</p> <p>(1) 現代の絵本</p> <p>(2) 近世の絵草子</p> <p>(3) 古代の伝承譚</p> <p>(4) 伝承地の検討</p> <p>(5) 『桃太郎の誕生』(柳田国男)と『桃太郎の母』(石田英一郎)</p> <p>(6) 桃太郎説話の源流</p>	
【評価方法】提出レポートによる。ただし、ゼミテストを実施する場合がある。	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>一年次の学習の上に立ち、『源氏物語』第二部（若菜上～幻）までを扱う。六条院態勢の内部崩壊という主題に関わって、物語の方法は大きく変わる。</p> <p>六条院はなぜ崩壊するのか。どう崩壊していくのか。紫の上の心理の解明を計りつつ、仕組まれた物語の方法について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>日本古典文学全集『源氏物語』4（小学館）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 物語の舞台設定は、二条院・二条東院から六条院へと拡大する。この二つの場の距離が、第二部の構想を支えることになる。先行論文により場の問題を考えることから始めたい。 2, 五月、京都への研修旅行。源氏物語の舞台となったところを実地にまわり、<土地勘>を養う。事前準備が重要。 3, きわめて読みにくい所であるが、「若菜上」を取り上げる。六条院体制の崩壊の仕組みをとらえたい。 4, 授業を越えて、「若菜下」まで目を通すことが課題となる。 <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 第二部最後の「幻巻」を読む。退場直前の老いた源氏の目に映るものは何か。これを批判的に検討することで研究のまとめをしていきたい。 2, 卒業研究と併せて、検討を深めたい。 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次学んだことを基礎として、次の目標に向かいたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 徹底的な作品精読。……2年次で目指す「研究的な読み方」の基盤作り。 2 作品分析の「方法」の修得。……1年次の学習を「研究」に飛躍させる鍵。 3 研究史の理解。 	
<p>【テキスト】</p> <p>演習の進展の中で、その都度、指示する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>同上</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1年次の教養演習と、基本的には同様のやり方で進む。 上記「授業目標」との関連で述べれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 徹底的な精読……作品の一字一句をおろそかにせず、とことんこだわって読むこと。 <ol style="list-style-type: none"> ① 1年次後期と同様、ゼミの場で「読み合わせ」をしながら訓練する。 ② 森鷗外『舞姫』（つづき）、樋口一葉『たけくらべ』からはじめ、主として明治期の作品を選ぶつもりだ。 2 作品分析の「方法」の修得 卒業論文への努力と結合させながら、作品分析の方法を、いよいよ本格的に学んでいく。 3 研究史を理解すること ……卒業論文を書くための一つの基礎力として、「研究論文」を読む訓練をする。 これは、具体的には、後期の課題になる。 諸君の卒業論文のテーマ（扱う作品）が決定したら、そのテーマに関わる代表的研究論文を選び、皆で「読む」ことから始める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次からのそれぞれの作品研究を続け発展させる。 2. 英米児童文学史を1年次とは別の角度から学んで、立体的に理解する。 3. 各自のテーマ研究を深めるための文献研究を進めていく。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>神宮輝夫監訳「オックスフォード世界児童文学百科」原書房 定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房 百々佑利子「児童文学を英語で読む」岩波ジュニア新書 タウンゼント「英米児童文学の歴史」岩波書店</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学史と評論を読んで自分の研究の位置を把握していく。 2. ゼミ旅行などを利用して先人達の研究方法を学んだり、卒業研究のための資料収集を行う。 3. 各自の進行状況をゼミで発表し、ゼミ全体でお互いから学びあっていくために討論を続ける。 4. 夏休みに各自の取り上げた作品についてのレポートを15枚以上を書いて、卒業レポートの構成をまとめていく。 5. 英米児童文学史を学んで、各自の作品の生まれた社会背景や歴史的な意義などについても研究して幅広い理解ができるようにする。 6. インターネット等を使って外国の図書館や研究期間から資料を検索して利用する。 7. 卒業レポートの個人指導と並行しながら、ゼミでの中間報告を行い批評しあって研究を深める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。</p>	

【授業科目】教養演習Ⅱ	【担当者】富永静枝
【開講期】2年 前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>まもなく就職活動をはじめ、やがて社会人として就職していく学生たちに、経済的自立の重要性と、働く女性が抱える諸問題を考えさせ、問題解決に向けて努力する態度を養う</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>前年度に引き続き、現代女性の抱えている諸問題について考察するが、2年次では学生自身の将来設計における就労の位置付けを明確にするため、特に「女性と職業」に重点をおいて学習をすすめる。なお職場における女性の状況を認識し問題解決の方法を探るために、調査や見学なども行う予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】教養演習Ⅱ	【担当者】中島好伸
【開講期】2年前後期	
<p>【授業目標】 アメリカ関連のニュースを分析しアメリカという国の理解を深めながら、アメリカの文学作品を歴史軸に添って読み込むことで、アメリカ文学の特徴を捉えることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】 読む作品以下に示す。作品は各自で用意すること。</p> <hr/> <p>【参考書】 必要に応じて指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業は二つの作業を通して展開する。</p> <p>一つは、アメリカ関連のニュースを毎週報告してもらおう。できれば一年を通してファイルしていくことが望ましい。こうすることによって、現代のアメリカがどんな国であるか理解できるであろう。さらに、一つ一つのニュースの歴史的背景や社会的問題を知ることによって、アメリカを多角的に捉えてみよう。</p> <p>もう一つの作業は、本ゼミナールの柱である、アメリカの文学作品を読み込んでいく作業である。大いに読んで、感想から分析まで大いに語り合いたい。一つの作品を読み終わったら、その作品に関する論文も読んでみよう。後期に予定されている「卒業研究」に応用できるようにするためである。一年を通して、次の作品を読んでいく。</p> <p>ホーソン『緋文字』（岩波文庫） （メルヴィル『白鯨』（新潮文庫）→余裕があれば読んでみたい） マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』（岩波文庫） ドライサー『シスター・キャリー』（岩波文庫） フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』（新潮文庫） ヘミングウェイ『日はまた昇る』（新潮文庫） フォークナー『八月の光』（新潮文庫） スタインベック『はつかねずみと人間』（新潮文庫） サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』（白水Uブックス） アリス・ウォーカー『カラーパープル』（集英社文庫） エイミー・タン『ジョイ・ラック・クラブ』（角川文庫）</p>	
<p>【評価方法】 レポートに平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次の課題を引き継ぎ、さらに時代を進める。その過程で、近現代史の中で、とくに取り上げてみたいテーマについて絞っていく。 後期には、それぞれのテーマについて報告し合い、討論をしながら日本近代の全体像に迫る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>前期は引き続き『国際政治下の日本近代』を使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは、日本近代全体のアウトラインをつかみ、その上で、個別テーマについて絞り込みを行う。6月から7月頃に、それぞれテーマを決定する。 その上で、夏休み中に文献や史料の収集、検討を行い、後期の卒業研究に向けての準備を進める。また、同時に日本近代の全体像について、テキストを題材に議論を深め、個別テーマを深めるための基礎づくりを完成する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ中の報告と小レポートによって評価する。</p>	

【授業科目】 卒業研究	【担当者】 専任教員
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学生各自が自主的に研究テーマを決めて、研究レポートを作成する（ただし、共同研究も可）。所属ゼミでの学習を基礎にすることが望ましい。</p>	
【テキスト】	

【参考書】	
授 業 計 画	
<p>執筆に先立ちガイダンスを行い、研究の意義や叙述のしかたなど、一般的な事柄について指導する。ゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など、具体的に個別指導を行う。</p> <p>個別面談や中間発表会などで検討を加えながら、400字30枚以上のレポートにまとめていく。レポート提出後、例年、教養科全体の発表会を行っている。</p>	
【評価方法】	
レポートによる。レポートについての面接を行うゼミもある。	

【授業科目】 英会話II	【担当者】 サラ・ブロック
【開講期】 前期	
【授業目標】 基本英語を復習し、使えるようにする。 自分のアイデアや意見が言えるようにする。	
【テキスト】 プリントと英語通信	
【参考書】 英和・和英辞典・電子辞書も本でも可	
授 業 計 画	
前 期	<p>「場面」に合せた文法や会話エクササイズ (Drill-style conversations, variations)</p> <p>「自分」の会話をモデル会話をベースに して作り、書きたてて保存する</p> <p>「発表」: ×もった会話を再現し、スキットに して皆の前でやる (ポアード)</p> <p>後 期</p> <p>自分の会話: 決まった質問リストから自由に 選択して相手に聞き、その返事によって 自分の質問を作って、インタビュー形式に なれてくる。</p>
【評価方法】 (前期): 先生の前でポアードでの会話発表 (後期): 先生をインタビューするか、先生にインタビュー されるかの選択できるテスト	

●2002年度シラバス変更(8)

【授業科目】 ビジネス英語(時事英語含む)	【担当者】 田中 安行
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なビジネス英語を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。 3. 上記を通して21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 ビジネスに必要なさまざまな形式の英文を使って、チャンク毎に文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 2. 国際的なビジネス問題の理解 現代世界の経済や政治など時事問題などの英語教材を用いて広い視野で学び、世界のビジネスにおける文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 3. 音声訓練 ビジネスで使う基本的な英会話のパターンに慣れるように音声教材を使いながら、練習をする。 4. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、対話や会議で用いる英語を音声で表現できる力をつける。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスに必要な平易なE-mailの英文の読み方、書き方を学び、実際に送受信してみる。 2. 保育、福祉、一般事務などさまざまな分野の実務的な英会話の基本を学び、訓練する。 3. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 4. 語句や意味の奥にある意味や発想の仕方を理解しながら外国人とのビジネスにおいて基本的に重要なコミュニケーションや異文化理解の方法を学ぶ。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点と小テスト、レポートおよび期末テストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】英語圏の歴史と文化	【担当者】太田典子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカ合衆国のマイノリティの歴史を学び、その文化・社会の特色を理解することをねらいとする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>本田創造『アメリカ黒人の歴史』(岩波新書、1991年)</p>	
授 業 計 画	
<p>アフリカ系アメリカ人、先住民、女性の歴史を中心に、「自由」と「平等」への闘いという視点からアメリカ合衆国の歴史を講義する。具体的には、植民地時代から、1960年代の公民権運動にいたるまでの歴史を、以下のようなテーマについて概観していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コロンブスの「発見」と先住民 2. 黒人奴隷制の発展 3. 奴隷制廃止運動と女性解放運動 4. 南北戦争 5. 人種隔離制度の確立 6. ハーレム・ルネッサンス 7. 女性参政権運動 8. ニューディール 9. 第二次大戦 10. 公民権運動 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点と期末試験の総合評価</p>	

【授業科目】 インターネットの英語	【担当者】 衣川 清子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ホームページを作ってみよう</p> <p>ホームページはいまや、もっとも安価で手軽で効果的な情報発信とコミュニケーションの手段である。インターネット上の事実上の共通語である英語を使えば、世界の人々との交流が可能である。この授業では、英語のホームページ作成を通じて、インターネットおよびインターネットの英語についての知識、HTML（いわばホームページの設計図）の基礎、ネチケット（ネット上のエチケット）などを学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業中に紹介</p>	
授 業 計 画	
<p>インターネットおよびインターネットの英語の基礎知識をまず学び、英語のホームページを作る「ホームページ制作プロジェクト」に取り組むが、学生のインターネット・スキル、興味、関心に応じてフレキシブルに授業を進める予定。</p> <p>扱うトピックは</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インターネットの基礎知識 ② インターネットの英語の基礎知識 ③ ホームページを見る、探す ④ ホームページ制作（HTML タグの基礎、画像の扱い方、わかりやすく効果的なホームページを作るためのヒント） ⑤ ネチケット <p>*コンピュータやインターネットの初心者でも OK だが、キーボードでタイプする機会が多いので、日常的にタイピング練習をすること。</p> <p>*詳しくは学内ホームページにある衣川のページを参照してください。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点</p>	

【授業科目】 英米の文学	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 イギリス、アメリカの文学を歴史的背景を盛り込みながら流れを追い、具体的な作品を分析することによって英米文学の特徴を理解する。	
【テキスト】 プリントを使用。	
【参考書】 授業にて指示する。	
授 業 計 画	
<p>イギリス文学を6回、アメリカ文学を6回、それぞれ大きな流れを歴史的背景も含めて講義する。それぞれの授業では、講義する時代の代表的な作家作品を取り上げて、分析してみ、文学作品がいかにか深い意味を持っているかを見てみたい。以下のような順番で講義していくので、できるだけ多くの作品に触れて欲しい。</p> <p>イギリス第1回 ルネッサンス：シェイクスピア『ハムレット』 イギリス第2回 ロマン派：ブロンテ姉妹『嵐が丘』 イギリス第3回 19世紀：ハーディ『テス』 イギリス第4回 20世紀前半：D.H.ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第5回 20世紀後半：カズオ・イシグロ『日の名残り』 イギリス第6回 児童文学 アメリカ第1回 アメリカン・ルネッサンス：ホーソン『緋文字』 アメリカ第2回 リアリズム：マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 アメリカ第3回 自然主義：ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第4回 ロストジェネレーション：フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』 アメリカ第5回 南部文学：フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 黒人文学：アリス・ウォーカー『カラーパープル』 英米（予備） 現代小説</p> <p>レポートのため、英米それぞれ最低1冊ずつ読んでおくこと。</p>	
【評価方法】 レポート	

【授業科目】異文化コミュニケーション	【担当者】瀧口 優
【開講期】 後期	
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 * 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 詩歌の鑑賞	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の詩歌について、その抒情の特質について考える。 特に「女歌」の流れを、近現代の短歌・詩を見ることで、女性と文学の関係性について考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリントによる。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>ジェンダー（社会文化的な男女の性差）が論じられるようになって、詩歌の世界でも、あらためて表現と性差の問題が、「女歌」論としてクローズアップされるようになった。</p> <p>この講義では、まず、近・現代の詩歌をとりあげ、恋愛・性・家・家族・産む育てる、ことがどのように詠われてきたかを見たい。</p> <p>* 「女性」性、「母性」性は、どう捉えられていたのだろうか。</p> <p>また「女歌」は視野が狭く、気宇壮大な「男歌」に劣るものという見方も根強い。</p> <p>* はたしてそうなのか。</p> <p>* 文学作品の評価と、ジェンダーの問題。</p> <p>以下の詩歌を「鑑賞」しながら、考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近代以前の「女歌」 ・ 与謝野晶子（山川登美子）の歌と詩 <ul style="list-style-type: none"> 『みだれ髪』（チョコレート語訳で、万智ちゃんの歌も一緒に見てしまおう）、『恋衣』など ・ 金子みすず ・ 『昭和万葉集』から、戦時下の女たちの歌 ・ 河野裕子『森のやうに獣のやうに』 ・ 道浦母都子『無援の抒情』 ・ 石垣りん・茨木のりこの詩から 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験により評価。</p>	

【授業科目】説話文学	【担当者】東 喜 望
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】この授業では、日本の古典や現代小説となって、広く知られている説話をとりあげます。 国内で近代まで伝えられている口承説話や海外の類話とを比較しながら、その原話の姿やその後の変容の意味を考察していきます。</p>	
【テキスト】資料を配布する	
<p>【参考書】『沖繩・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)</p>	
授 業 計 画	
<p>「説話」とは、口承または書承によって伝承された、さまざまな話のことである。神話・伝説・昔話・世間話・逸話・歴史話・童話などがこれにあたる。時間の制約もあり、下記の作品を資料とし</p> <p>(1) <u>羽衣説話・天人女房・白鳥伝説</u></p> <p>(2) <u>棄老伝説</u></p> <p>を考察する。</p> <p><作品></p> <p>(1) 謡曲『羽衣』、『丹後国風土記・香具社』 民話「天人女房」、海外の白鳥伝説</p> <p>(2) 『大和物語』、『今昔物語』 民話「姥捨て」、海外の棄老説話・深沢七郎『樞山節考』</p> <p>※上記のうち、古典作品は精読する。</p>	
<p>【評価方法】定期試験時の筆記試験。配布資料(プリント)・参考書)を参照可。(追再試験は参照不可)</p>	

【授業科目】 平安文学	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>平安時代の文学の基本は、和歌にある。古今集の正統性からは外れた位置で、したたかに自己の抒情の方法を模索した和泉式部に焦点を当てて、その文学の特質について考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリント・岩波文庫『和泉式部日記』</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>和泉式部の作品研究を行う。</p> <p>1、和泉式部の和歌（『和泉式部歌集』）</p> <p>歌集は1500首ほどの歌を含むが、代表的な歌を紹介しながら、和泉の詠法の特徴をつかみ、短詩型文学の達成について考えたい。</p> <p>2、『和泉式部日記』</p> <p>平安時代の日記文学の中でも、140首以上の和歌を含む特異な作品。ほとんどが教道親王との恋の贈答歌である。和歌により、身分差を越えたコミュニケーションの可能性を切り開く、日記の展開に注目していく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。ワンポイント・メモ、定期試験時レポート</p>	

【授業科目】 中近世の文学	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。</p>	
【テキスト】武蔵野書院『大経師普暦・心中天の網島』	
<p>【参考書】邦楽資料(浄瑠璃)・映像資料(大坂・京都の近世遺跡のスライドほか)を適宜使用する。</p>	
授 業 計 画	
<p><u>授業の概要</u></p> <p>I. 講義 — 中・近世期の文芸(特に演劇)について</p> <p>II. 作品講読(近世) — 近松門左衛門『心中天の網島』</p> <p>III. 作品研究 上記の作品を緻密に分析することによって、矛盾にみちた封建社会の中で真剣に生きようとした人びと(とくに女性)の人間像をとらえていきたい。</p>	
【評価方法】定期試験時の筆記試験。テキスト・ノート参照可(追再試験は不可。)	

●2002年度シラバス変更(7)

【授業科目】 近現代の文学	【担当者】 清水 潤
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 明治二十年代から昭和十年代までの代表的な小説を取り上げ、各作品の文学史的な位置づけについて概説すると共に、表現手法などにも着目して作品読解の可能性を検討する。	
【テキスト】 近代日本文学のすすめ(岩波文庫)	
【参考書】 講義の中で紹介する。	
授 業 計 画	
取り上げる予定の主要な小説は以下の通り 二葉亭四迷「浮雲」 樋口一葉「たごりえ」「たけくらべ」 国木田独步「武蔵野」 泉鏡花「高野聖」 徳田秋声「あらくれ」 有島武郎「或る女」 谷崎潤一郎「春琴抄」「盲目物語」 志賀直哉「暗夜行路」 幸田露伴「幻談」	
【評価方法】 レポート、授業で取り上げた小説についての作品論(3000字前後)。	

【授業科目】 比較文学	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">ペリーの黒船が来て、日本が「開国」してから、およそ150年。 僕は今、53歳。……もう、ペリー以後の歴史の1/3を生きてしまっている！ 「日本の近代」は本当に短い！</p> <p>この150年間、日本人は、欧米の「近代文明」と向き合い苦闘し、その中に呑み込まれてきた。 <u>諸君の生きている「今」も、諸君自身の「人生」も、その文化過程の中に存在している。</u> 「近代文明と日本人」を考えることは、我々が生きている「この、今の日本」を考えることだ。</p> <p>本講では、明治期にアメリカ・ヨーロッパに渡り、「近代文明」との緊張に満ちた出会いを体験した人々を紹介しながら、上記の問題に迫って生きたい。</p>	
【テキスト】 教科書は用いない。必要に応じ、プリントを用意する。	
<p>【参考書】 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカー（どこでもない所）への旅』（右文書院・刊）。 本学図書館にもあります。近所の公立図書館に、どしどしリクエストしよう！</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、 諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「最近150年の日本」をどう見るか。 <ol style="list-style-type: none"> ① 日本の歴史の中でも、8世紀前後と同じくらい「奇妙な時代」。 ② 「巨大な文明」と向きあうこと。 <ol style="list-style-type: none"> a 憧れと恐怖 b 「英語帝国主義」と日本人。 2 「国家的使命感」の中で出会う「近代文明」——「鹿鳴館世代」の欧米体験。 <ol style="list-style-type: none"> ① 内村鑑三・新渡戸稲造とアメリカ ② 森鷗外と「ドイツ帝国」 3 「個人」として出会う「近代文明」——夏目漱石と「日露戦争世代」の欧米体験。 <ol style="list-style-type: none"> ① 夏目漱石のイギリスと、有島武郎のアメリカ ② 日露戦争世代と「古きヨーロッパ」の発見 <ol style="list-style-type: none"> a 永井荷風と「ふらんす」 b 有島武郎と「ゴシック・中世ヨーロッパ」 4 「岡倉天心」という巨人 <ol style="list-style-type: none"> ① 「中国は二つ」——システムとしての文明 ② 「アジアは一つ」——西欧文明を相対化するシステム ③ インドとアメリカ——「日本＝現実」からの亡命先 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば（予備知識が全く無くても）分かるはずである。 大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、 最初はメモの要点も指示しながら進める。</p> <p>大切なことは「知識」や「結論」ではない。 自分自身の「現在」を、大きな「場」の中に置いて考えることだ。 諸君の中に、こうした「自分自身への問題意識」を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。 しっかりノートをとっておくこと。出席点を加味して、総合的に評価する。	

【授業科目】「民俗学」

【担当者】 東 喜 望

【開講期】 2年・前期

【授業目標】 古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らず、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では、古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に今年は、中国や東南アジアの島々、かつての日本の、「国境を越えて」生きた人々の生活を重視したい。

【テキスト】 民俗事例の資料として、『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)を使用する。

【参考書】 適宜指示する。映像資料を使用する。

授 業 計 画

講義概要

1. 「伝承」「民俗」とは何か。
 2. 西洋民俗学の発生・日本民俗学の発祥と展開
 3. 自然と人類
 4. 人類の智慧と技術と生活文化(食・住・衣)
 5. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活)
 - (1) 山人——日本の山人(マタギ・サンカなど)、ユーラシア大陸の遊牧民、中国・台湾・東南アジアの狩猟民
 - (2) 海人——日本の海人と家船・中国の蛋民・東南アジアの漂海民
 6. 原初の定住生活——焼き畑農耕から稲作農耕へ。
 7. ムラの形成とその基本構造
 8. 村落祭祀と民俗行事など。
- まとめ——新たな「^カ結び」は可能か。-----「脱国家」の問題

【評価方法】 定期試験時の筆記試験。テキスト・配布プリント・ノート等参照可。
(追再試験は参照不可。)

【授業科目】 中近世の歴史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の中世というと「乱世」を思い浮かべる人がいるだろう。だが、書院造の建物や茶の湯・いけばな・能狂言・お伽草子などの民衆文化が花開いた時代でもあった。暗さと明るさが同居しており、今日とはだいぶ様相のちがうこの時代に、人々ことに庶民の男女や老人、子どもたちがどんな暮らしをし、どんな思いを抱いていたか、考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『史料に見る日本女性のあゆみ』総合女性史研究会編 吉川弘文館</p>	
<p>【参考書】 『大系日本の歴史』 6.内乱と民衆の世紀（永原慶二） 7.戦国大名（脇田晴子） 8.天下一統（朝尾直弘） 小学館 1981年</p>	
授 業 計 画	
<p>近年、中世史研究では具体的な生活への関心が高まり、説話や絵巻物などから時代を復元する試みも行われている。講義でもそのような成果をとりいれつつ授業をすすめていきたい。</p> <p>第1章 日本中世史の研究から</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中世とは何か 2. 日本中世史の諸問題 <p>第2章 古代から中世への転換</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院政期の問題 2. 治承寿永の内乱と鎌倉幕府の成立 <p>第3章 中世の家族と下人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女の役割分担と家族の経営 2. 下人の実態 <p>第4章 花ひらく民衆文化と民衆の意識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 能狂言から 2. お伽草子から <p>第5章 民衆の自治組織の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 惣の成立から一揆へ 2. 町衆の組織 <p>第6章 中世の老人と子ども</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中世の老人観と老人の扶養 2. 子どもと親、老人の関係 <p>第7章 宣教師が見た17世紀の日本</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フロイス『日欧文化比較』から 2. フロイス『日本史』に見る女性の宗教活動 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 近現代の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代は何故、15年戦争とファシズムに帰結してしまったのだろうか。その一つ前の時代である大正期のデモクラシー状況は何故、正常な発展をとげなかったのだろうか。このような何故を解き明かすことは、現代の私たちを取り巻く、政治的、社会的環境を見つめるときにも重要な視点を提供してくれる。幕末・維新という日本近代の幕開けを出発点に、その後の歴史的経過を追いながら、二つの何故を明らかにしていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>藤原彰・今井清一編『15年戦争史』青木書店、など多数あるので、その都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>幕末・維新时期からはじめ、最初の数回で明治期を概観する。日本近代の出発が、その後の歴史を大きく軌道づけたと考えるからである。1920年代以降については、政治・経済の動きをベースに戦時体制へと突き進む中で、人々の生活がどのように変化していったかを、できるだけ時間をかけて話をしたい。その場合、文献資料だけでなく、写真や映像など目に見える資料を使って当時の様子を再現しようと思う。とくに、当時大流行した映画は、その記録性、迫真性において、非常に貴重な資料であり、また、臨場感をもって時代像に触れることのできる格好の素材なので、出来る限り活用したいと考えている。</p> <p>主要なテーマは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇外からの圧力と倒幕のエネルギー―ペリー来航の意味と尊皇攘夷 ◇維新政権の課題―「富国強兵」「殖産興業」の意味するもの ◇「脱亜論」と日清・日露戦争―対アジア強硬論の背景 ◇明治憲法・教育勅語の体制―立憲制の外皮と内実 ◇「天佑」と成金―総力戦としてのI大戦と日本の経済発展 ◇自由・平等、政治参加を求める人々の声―米騒動と労働、農民運動 ◇モダニズム文化と大衆社会―デモクラシーの基底にあるもの ◇普選・治安維持法体制―大正デモクラシーの意義と限界 ◇経済不況と対外侵略―軍部台頭を準備したもの ◇エロ・グロ・ナンセンスと軍国熱―不況下庶民の実相 ◇歯止めのない戦争体制―マス・メディアと熱狂する人々 ◇ファシズムの完成―その時人々は 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。その他、小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】 アジアの歴史	【担当者】 佐藤 いずみ
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 東南アジア近現代史…ベトナムを中心に	
【テキスト】	
【参考書】 講義の中で紹介する。	
授 業 計 画	
<p>東南アジアのことは、高校までの教育ではほとんど触れられません。距離的にも歴史的にも、そして今日の経済関係から言っても日本と大きな関係があるのですから、関心を持って学びましょう。</p> <p>講義では①～③で東南アジア全体の前近代史を概観し、④～⑦でベトナムの近現代史を学びます。</p> <p>① 東アジア前近代の交易体制…… 「海禁」と「鎖国」の交易網？</p> <p>② 中国の支配を受けた東南アジア大陸部…… 日本語とベトナム語は兄弟？</p> <p>③ 「港市国家」の島嶼部東南アジア……ヒンドゥー化・イスラム化の波と 東南アジア文化の多様性</p> <p>④ ベトナムにおける植民地支配とは？ ……ファン・ボイ・チャウの告発から人々の暮らしを考える。</p> <p>⑤ 近代日本へのまなざし ……日露戦争とベトナム人の日本留学運動の挫折</p> <p>⑥ 15年戦争における「仏印進駐」の位置づけ ……8月15日何故日本軍はコタバルに上陸したか。</p> <p>⑦ 1945年のトンキン200万人の餓死 ……戦争による米交易ネットワークの破壊</p>	
【評価方法】 ノート、プリント持ち込み可で、テストを行います。	

【授業科目】現代女性論	【担当者】富永静枝
【開講期】2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>男女がともにそれぞれの能力を生かし、ともに人間らしく生きるためにはどうしたらよいか。性別役割分業の社会システムの問題性を明らかにし、男女共同参画社会を実現していくための課題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>少子・高齢社会を迎えて女性を取り巻く社会環境は大きく変化し、女性の生き方も多様化している。しかし「男は仕事・女は家庭」という性別役割分業意識と性別役割分業を基本とした社会システムは依然として存在し、女性が自立して生きることはまだまだ難しい状況にある。そのことは同時に男性の人生にも大きな問題を投げかけています。そこでこの授業では、家族・家庭、教育、労働、福祉などの諸問題を、ジェンダーの視点から捉えることによって、現代の男女がおかれている問題状況を把握し、問題解決への理解を深める。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性の権利の歴史 2. 女性の自立と性別役割分業 3. 女性と家族・家庭 4. 現代社会と女性労働 5. 女性と社会保障 6. 男女平等を求める世界の動き、日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】女性労働論	【担当者】富永静枝
【開講期】2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。(教養教育1年後期「女性労働の問題」と同時開講)</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近代日本における女性労働の歩み 2、女性労働の現状と課題 3、女性労働と法 4、女性労働の国際比較 5、家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 現代企業論（現代の企業）	【担当者】 市原 祐則
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の経済を支えている「企業＝会社」について、業種と会社、会社の存在基盤、会社の組織、会社と社員、社員意識と社員の責任——など 一般的知識を修得、会社と個人の関係につき 一定の識見を持つ、ことを目標にする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント・レジメを配布して行う</p>	
<p>【参考書】</p> <p>市原祐則著 就職活動のための「やさしい会社入門」（日経事業出版社）</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・産業界には業界があり、個々の会社は業界を構成している ・会社には大企業と中小企業、株式会社と有限会社などの区別がある ・会社には働くことで会社を通じて社会に貢献し、自己を生かしている ・会社には部・課・係などの組織があり、所属により仕事の内容が違う ・会社は新卒者を採用して「若い感性」を経営に生かそうと努力している ・女性に優しい会社が増えていることの意味を考えよう ・会社の採用計画に対応するため、自己流の就職対策を立てる必要がある <p>などについて得た知識で、今すぐにでも社長秘書として第一歩が踏み出せる「識見」を持ちたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小テスト……………60%</p> <p>期末レポート……………40%</p>	

資格科目
情報科目（2年）

【授業科目】 情報処理論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報というものをどのような視点から眺め、どの様に取り扱えばよいかという観点から講義を試みたいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報と人間の関わり合いについて 2. 情報と生活との関わり合いについて 3. 情報と「もの」との関係について 4. 情報と概念 5. 情報とメディア 6. 情報とデータ 7. ビジネスアプリケーションと情報活用 8. その他 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】 情報ネットワーク論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>高度情報社会では、情報ネットワークの知識は、いまでは教養の範囲を越えて、社会や企業が求める重要な基礎知識になっている。本講義では、この情報ネットワークについてわかりやすく平易に説明したいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会とは 2. 情報ネットワークの発展について 3. コンピュータと情報ネットワークについて 4. WANとLANについて 5. 情報ネットワークの利用形態について 6. ネットワークとコミュニケーションについて 7. その他 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

資格科目
ビジネス実務士科目（2年）

【授業科目】 ビジネス実務総論		【担当者】 杉浦 允	
【開講期】 2年 前期			
【授業目標】 ビジネスは、経営管理を支える重要な業務として捕らえることが出来ます。 ビジネスには何が必要か、組織はどう機能すれば良いか、そこで働く人々はどの様に行動すべきかなど、ビジネスについての基礎知識と業務処理技術について習得出来るようにする。			
【テキスト】 テキストは、使用せず。プリントを毎時間配布します。			
【参考書】			
授 業 計 画			
回数	講 義 項 目	主 な 講 義 内 容	備考
1	1. ビジネスとは、	ビジネスとは、ビジネスの形態・種類	
2	2. ビジネス組織	組織とは、組織の階層、管理責任、	
3	2. 3. ビジネスの基本	システム概念、管理の諸要素、PDS	
4	3. ビジネス倫理と方針	経営理念、社会的責任、PR.	
5	4. ビジネスの職場	職場とは、仕事、執務に就いて、	
6	5. 企業が必要とする人材	望まれる人柄性格、仕事に必要な技能	
7	6. 仕事の基本姿勢	上役を助け、同僚と協調、仕事の基本	
8	7. 環境変化への対応	情報化時代の環境変化、人間関係、	
9	8. 命令の受け方、報告	命令の受け方と報告の仕方、	
10	8. 3. 報告書の作り方	計画・実行・検討、報告ミスについて	
11	9. 行動予定の管理	日程管理、予定表、アポイントメント、	
12	10. 交際業務	交際とは、慶事とお祝い、表書き、	
13	11. ビジネスマンの問題 全体の復習・予備	問題解決ステップ、手順・種類・活用 全体のまとめ、試験の予知	
【評価の方法】 出席条件を満たしたものに対して、期末試験を実施し合格点に到達したものについて平常点を勘案して評価します。			

【授業科目】ビジネス実務演習	【担当者】富永静枝
【開講期】2年 後期	
【授業目標】 職業意識を高め、職業人としての基本的な心構えと、ビジネス実務を効果的に行うための能力を養う。	
【テキスト】 テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。	
----- 【参考書】 授業時に随時紹介する	
授 業 計 画	
<p>I、コミュニケーション実務や情報の評価・収集・活用の方法、表現活動などオフィスワークの基本を、ビデオ教材などを活用して理解する。</p> <p>II、ビデオ『日本経済の軌跡』を使って戦後から現代までの日本経済のあゆみを理解するほか、経済記事の読み方などの学習をする。</p> <p>III、企業で求められるワーカーの要件を理解するために、企業見学や、「女性と仕事の未来館」の見学を行うほか、本学先輩たちを招いて職場の実態や仕事の内容、家庭と職業の両立などについて聞く予定。</p>	
【評価方法】 授業への参加状況、レポートなどの総合評価	

【授業科目】 オフィス・マネジメント		【担当者】 杉浦 允	
【開講期】 2年 後期			
【授業目標】 オフィスにおける事務活動について、事務のシステムあり方や事務の効率化の問題、事務と情報との関連などを明確にし、業務処理知識・技術を活用できるようにする。			
【テキスト】 杉浦 允著「オフィス・マネジメント」学文社			
【参考書】			
授 業 計 画			
回数	講 義 項 目	主 な 講 義 内 容	備 考
1	1. 事務とは、	事務の定義、事務の内容、	
2	2. 事務管理と経営管理	事務管理の概要、事務管理の歴史、	
3	事務システム	システムの概念構成、生産・販売	
4	各システムの内容	人事管理システム	
5	3. 事務の合理化	合理化の目的・内容、進め方、	
6	4. 事務統制	事務手続標準化、事務の品質管理	
7	5. O A化の影響	EDPの機能、管理者の課業変化、	
8.	6. 文書業務	文書事務とは、文書の作成、書式、	
9	社内文書	会議の案内・回覧・通達・伝言票、	
10	社外文書	取引に関する文書、社交的な文書、	
11	7. ファイリング・システム	FS (ファイリング・システム)の意味・概要・	
12	ファイリング	保管とまとめ、ファイルの並べ方、	
13	8. 情報管理	情報の定義・概要・価値、	
14	情報管理	情報管理機能の結びつき	
15	9. オフィス環境の整備	環境の整備、事務用機器の知識	
【評価方法】 出席条件を満たしたものに対して、期末試験を実施し合格点に到達したものについて平常点を勘案して評価する。			

資格科目
博物館科目（2年）

【授業科目】博物館実習	【担当者】上野・平賀
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】 1年次の学内実習を受けて、見学実習と館務実習に取り組む。見学実習は、それぞれ目的、性格を異にする、3～4の館に赴き、学芸員の仕事内容について詳しく説明を受け、資料収集、収蔵、展示のプランニング、ディスプレイの工夫、展示スペースのデザインなどが実際にどのように進められ、またどういった点で苦労や問題点を抱えているかを理解する。館務実習は、学内実習や見学実習の集大成として、それぞれが2週間程度、博物館での実務研修を行い、学芸員の仕事を体得することを目指す。</p>	
<p>【テキスト】 特に定めない。</p>	
<p>【参考書】 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『博物館学 実習マニュアル』芙蓉書房 など。</p>	
授 業 計 画	
<p>見学実習の日時、場所などについては後日決定する。館務実習に臨んでは、実習オリエンテーション及び事前学習を行う。とくに、館務による研修の心得や実習日誌の記載方法などを中心に学習する。 それぞれ、掲示によってスケジュールを発表するので見逃さないように。</p>	
<p>【評価方法】 1年次の学内実習、見学実習レポート、館務実習日誌などにより総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 視聴覚教育メディア論	【担当者】 深水 浩司
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会的に情報化が進む中、図書館や博物館においても、様々な資料や情報が、統合的にコンピュータ上で利用可能となっている。本講義(実習)では、マルチメディアを念頭に置き、コンピュータで扱えるツールを中心に、各自が情報発信をできる知識を学び、その能力を習得する。</p>	
【テキスト】 授業で指定する	
【参考書】 必要に応じ紹介する	
授 業 計 画	
<p>コンピュータの世界において、ここ数年の特筆すべき技術のひとつに「Web 技術」を挙げることができる。新しいメディアとしてもさまざまな形態が試行され利用されている。それを加速するように、デジタル・マルチメディア技術も発展してきた。図書館や博物館が使用する資料も、当然ながらこれらの影響を受けている。</p> <p>本講義(実習)では、図書館や博物館において使用される(または今後使用されるであろう)資料を概括し、その中から、自主作成できるものとして、プレゼンテーションツール(たとえば Powerpoint など)を利用した資料の作成、Web ページの作成による HTML 言語の基礎理解、さまざまなマルチメディアやコミュニケーションツールの扱い方等を学び、それらの技術を習得する。</p> <p>特に、HTML については、「タグ」という概念を学ぶことで、XML への基礎的な地盤を作り、メタデータについても、その考えを学べるように進めていく予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート等</p>	

資格科目
司書科目（2年）

【授業科目】 図書館サービス論	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する社会的機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p>	
<p>[参考書]</p> <p>『図書館サービス論』前園主計編著 東京書籍 1998 199p (新・現代図書館学講座 4)</p> <p>『図書館サービス論』金中利和ほか編 樹村房 1999 181p (新・図書館学シリーズ 3)</p> <p>『図書館サービス論』森智彦編著 日本図書館協会 1997 (JLA図書館情報学テキストシリーズ 3)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 図書館サービスの意義と理念</p> <p>(2) 公共図書館におけるサービス</p> <p>(3) サービスの種類と方法 資料提供 読書案内 情報サービス 複写サービス 利用者援助 利用教育</p> <p>(4) 利用対象者別サービス 児童 青少年 一般成人 高齢者 障害者 アウトリーチサービス 多文化サービス</p> <p>(5) 館種別図書館サービス</p> <p>(6) 図書館サービスの協力</p> <p>(7) 図書館サービスと著作権</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 情報サービス概説	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結びつけ、人々の研究・学習を援助することである。図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報サービス等について学習する。</p>	
<p>[参考書]</p> <p>『レファレンスサービス 図書館における情報サービス』長澤雅男 丸善 1995 『情報サービス概説』小田光宏 日本図書館協会 1997 (JLA図誌情報テキストシリーズ 4) 『情報サービス概説』渋谷嘉彦編 樹村房 1988 (新・図誌情報テキストシリーズ 4) 『情報サービス概説』田村俊作編著 1999 (新 現代図誌学講座 5)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスとは何か</p> <p>(2) 情報サービスの構造と機能</p> <p style="padding-left: 2em;">図書館機能と情報サービス機能</p> <p style="padding-left: 2em;">直接的サービスと間接的サービス ほか</p> <p style="padding-left: 2em;">高度情報社会と情報サービス</p> <p style="padding-left: 2em;">図書館を取り巻く社会環境の変化</p> <p style="padding-left: 2em;">図書館の情報サービスの変化 (NII 電子図誌 など)</p> <p>(3) 情報サービスの種類</p> <p style="padding-left: 2em;">直接的サービス</p> <p style="padding-left: 4em;">質問回答 利用指導 文献リスト作成 案内・紹介サービス</p> <p style="padding-left: 4em;">カレント・アウェアネス・サービス</p> <p style="padding-left: 2em;">間接的サービス</p> <p style="padding-left: 4em;">情報提供環境の整備</p> <p style="padding-left: 4em;">相互協力とネットワーク形成</p> <p>(4) 情報検索とサービスの展開</p> <p style="padding-left: 2em;">情報検索の定義と種類</p> <p style="padding-left: 2em;">オンライン書誌情報検索</p> <p style="padding-left: 2em;">図書館における情報検索サービスの展開</p> <p>(5) 情報探索行動とレファレンスプロセス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『情報源としての レファレンス・ブックス』 長澤雅男 日本図書館協会 2001(6訂版) 『問題解決のための レファレンス・サービス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) レファレンス・プロセスの実際</p> <p>(2) 情報探索の方法 レファレンス・インタビュー 質問の分析から情報(源)の提供まで</p> <p>(3) 情報源の種類と特性</p> <p>(4) 参考図書とレファレンス・コレクション</p> <p>(5) 電子メディアの活用</p> <p>(6) 二次資料の作成</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時の演習レポートと期末レポート</p>	

【授業科目】 専門資料論	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 『専門資料論』中森強編著 東京書籍 1998 (新・現代図書館学講座9)</p> <p>『専門資料論』戸田光昭ほか 樹村房 1998 (新・図書館学シリーズ8)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 専門分野の特性 人文科学、社会科学、自然科学等、各専門分野の概念と特性</p> <p>(2) 各専門分野の資料の特性と種類 人文科学情報 社会科学情報 自然科学技術情報 工学・工業技術情報</p> <p>(3) 主要な一次資料と二次資料</p> <p>(4) 専門資料とメディアの多様化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 資料特論	【担当者】 深水 浩司
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会的に情報化が進む中、図書館や博物館においても、様々な資料や情報が、統合的にコンピュータ上で利用可能となっている。本講義(実習)では、マルチメディアを念頭に置き、コンピュータで扱えるツールを中心に、各自が情報発信をできる知識を学び、その能力を習得する。</p>	
【テキスト】 授業で指定する	
【参考書】 必要に応じ紹介する	
授 業 計 画	
<p>コンピュータの世界において、ここ数年の特筆すべき技術のひとつに「Web 技術」を挙げることができる。新しいメディアとしてもさまざまな形態が試行され利用されている。それを加速するように、デジタル・マルチメディア技術も発展してきた。図書館や博物館が使用する資料も、当然ながらこれらの影響を受けている。</p> <p>本講義（実習）では、図書館や博物館において使用される（または今後使用されるであろう）資料を概括し、その中から、自主作成できるものとして、プレゼンテーションツール（たとえば Powerpoint など）を利用した資料の作成、Web ページの作成による HTML 言語の基礎理解、さまざまなマルチメディアやコミュニケーションツールの扱い方等を学び、それらの技術を習得する。</p> <p>特に、HTML については、「タグ」という概念を学ぶことで、XML への基礎的な地盤を作り、メタデータについても、その考えを学べるように進めていく予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">出席、レポート等</p>	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
【授業目標】 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。	
【テキスト】 特に指定しません。 【参考書】 授業時に紹介します。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. 悪質商法やカルト教団に見る「マインドコントロール」 	
【評価方法】 マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

特別選択科目（2年）

【授業科目名】 家庭介護総論	【担当者】 関谷榮子、八木紘一郎 佐野英司、秋山治子
【開講期】 前期	
【授業目標】 福祉の理念を理解するとともに、ヒューマンケアサービス（対面的対人援助サービス）に必要な技術、特に、家庭における介護の技術を学ぶ。家庭介護技術には、老人・障害者の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し、家族を含めた相談援助も含まれる。この授業では、これら家庭における介護を行なうに必要な知識と技術が習得できるように講義を進める。この授業と、「家庭介護演習」「家庭介護実習」を履修することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」得ることが出来る。	
【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、福祉理念とケアサービスの意義 2、サービス提供の基本視点 3、老人福祉の制度とサービス 4、障害者（児）福祉の制度とサービス 5、ホームヘルプサービス概論 6、ホームヘルパーの職業倫理 7、障害・疾病の理解（1） 8、高齢者、障害者（児）の心理 9、障害・疾病の理解（2） 10、高齢者、障害者（児）等の家族の理解 11、介護概論 12、相談援助とケア計画の方法 13、医学の基礎知識 Ⅰ 14、在宅看護の基礎知識 Ⅰ 15、住宅・福祉用具に関する知識 16、共感的理解と基本的態度の形成 17、リハビリテーション医療の基礎知識 	
【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する。	

【授業科目名】 家庭介護演習	【担当者】 森山 千賀子
【開講期】 1、2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヒューマンケアサービス（対面的対人援助）に必要な技術、特に、家庭における介護の技術を実際に学ぶ。</p> <p>この授業と、「家庭介護総論」「家庭介護実習」を履修することによって「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることが出来る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業の始めに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基礎介護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴等の生活の介護 ・ 肢体不自由者の歩行の介護 ・ 視覚障害者の歩行の介護 ・ ベッドメイキング ・ 緊急時の対応法 ・ 援助者の健康管理 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点及びレポートにより評価する。</p>	

【授業科目名】 家庭介護実習	【担当者】 西方 規恵 他
【開講期】 1、2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヒューマンケアサービス³(対面的対人援助)に必要な技術を、施設及び在宅介護の現場で実習する。</p> <p>この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を習得することによって「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることが出来る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業の始めに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>施設等における実技講習の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、施設介護の現場実習 2、在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者の家庭における在宅介護の同行訪問見学実習 3、在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点及びレポートにより評価する。</p>	

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
教務課 042(346)5619